

飛驒市民病院年報

第 11 号

2021 年度（令和 3 年度）

国民健康保険飛驒市民病院

巻頭言

国民健康保険 飛騨市民病院
病院長 黒木 嘉人

2019 年末に中国武漢市から原因不明肺炎として報告された新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大し、変異株の出現で次々と流行の波が襲い未だ終息に至らないまま 2021 年度が過ぎました。我が国では岸田総理大臣に、アメリカでもバイデン大統領へと政権交代があり、新型コロナウイルス感染流行の中で、東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。当院においては、2021 年 5 月に入院中の患者さんに 5 名の新型コロナウイルス感染者が発生し、一時新規の入院患者受け入れを中止しました。感染された患者さんやそのご家族には心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。その後は感染予防対策を一層強化し現在に至るまで、入院患者さんに陽性者は幸い発生しておりません。一方では新型コロナワクチンの接種事業として院内個別接種推進を精力的に行ない、職域接種や大規模接種事業にも積極的に協力し、また院内での PCR 検査や抗原検査体制をしっかりと整えました。とにかく新型コロナ感染対策に苦労した一年でありましたが、感染予防対策を講じながらも一般診療を継続するなかで、2021 年に大きく落ち込んだ患者数も、どうにか今年度は回復の兆しをみせて、ついには単年度黒字の収支を達成することが出来ました。それも職員一人ひとりの努力と、地域住民の皆様からの温かい応援、周辺関係機関各位のご支援の賜と思っております。2 年ぶりにも病院祭も開催しました。今回は新型コロナウイルス対策として、来場者人数を限定した会場（船津座）と同時にネットにて配信するハイブリッド方式という初めてのスタイルでしたが、多くの皆さんが遠方からも参加していただき、成功裏に終わることが出来ました。さて 2021 年度は富山大学総合診療部から佐藤悠紀先生派遣の継続と、自治医大出身の草壁駿輝先生を迎え常勤医師 5 名体制でした。初期研修医 34 名を受入れ、医師不足対策の一助ともなっています。岐阜大学および富山大学の医学生の地域医療実習は引き続き 10 年目となりました。さらに看護師教育と人材確保については「里山ナース院内認定制度」を推進しながら、看護学校や看護大学とも連携強化し、看護学生の実習受け入れも実現しました。さらには 2022 年度から大学新卒の看護師の採用につながったことはまさに快挙です。ウイズコロナ時代の状況となりつつありますが、今後も地域住民の皆様常に安心安全な医療を提供すべく更なる努力を続ける所存でありますので、宜しくご理解とご支援をお願い申し上げます。

2022 年 6 月吉日

飛騨市民病院年報 目次

基本理念、基本方針	3
2021（令和3）年度活動目標と成果、総括 研修、研究業績等	
■ 第Ⅰ診療部	
医局	4
■ 第Ⅱ診療部	
薬剤科	7
検査科	7
放射線科	8
リハビリテーション科	10
栄養科	12
■ 看護部	
看護部管理委員会	14
看護部教育委員会	16
看護基準・手順委員会	18
看護記録委員会	18
転倒転落対策チーム	19
第1病棟	20
第2病棟	23
外来	24
手術室	26
透析室	27
地域連携室	28
看護部学会等研究発表状況	29
表彰	29
看護部研修会	30
■ 病院管理室	
管理課	35
2021（令和3）年度決算の概況	37
■ 院内委員会	
緩和ケアチーム	40
栄養サポートチーム（NST）	41
ICLS 研修チーム	43
システム管理委員会	44
診療録管理委員会兼 DPC コーディング委員会	45
リスクマネジメント・透析機器安全管理委員会	45
院内感染委員会	47

輸血療法委員会	50
広報・ホームページ委員会	51
サービス委員会	52
S P D委員会	52
医療ガス・医療廃棄物委員会	53
衛生委員会	54
5 S委員会	55
災害対策委員会	56
■ 人材育成プロジェクト（JIP）チーム	59
■ 月例朝礼	61
■ 高原郷ケアネット	61
■ 飛騨市健康コミュニティ・メディカルデザイナー養成講座	62
■ 研修医・学生実習状況	
初期臨床研修医 地域医療研修	62
後期研修医	63
学生実習	64
■ 神通川プロジェクト	64
■ ボランティア受入	66
■ ボランティア等活動への参加	67
■ 2021（令和3）年度 飛騨市民病院行事・事業等	68
資料	
病院祭 チラシ、日程表等	73
病院祭 病院長プレゼンテーション資料	74
病院組織 機構表（令和3年4月1日）	86
委員会名簿（令和3年4月1日）	87
飛騨市病院管理室事業概況	92
目次	93
施設の概況	94
業務の概況	112
財務の概況	121
経営分析	130

◆基本理念◆

- 一、思いやりの心
- 一、信頼される医療
- 一、地域を愛し愛される病院

◇基本方針◇

1. 地域に寄り添い、医療・介護・福祉・保健・生活が一体となった「地域包括医療・ケア」を実践します
2. 医療水準の向上に自助努力します
3. 安全で確実かつ温かいチーム医療を目指します
4. 患者さんの権利と尊厳を重視し、その人らしい生涯を過ごせるよう支援します
5. 存続可能な健全な経営を目指します

2021（令和3）年度活動目標と成果、総括 研修・研究業績等

■第Ⅰ診療部

●医局

1. 活動目標と成果

- 1) 健全な経営体制づくり：（数値目標）／（成果）について以下に示す。入院患者数＞1日あたり63人／59.1人、外来患者数＞1日あたり211人／224人、入院単価¥27,400／¥28,793、外来単価¥7,899／¥7,813と外来患者数と入院単価は目標値を達成した。
- 2) 自宅支援体制の強化：訪問診療・往診件数＞年間300件／248件と未達成。グループホームなどの訪問が新型コロナウイルスの影響で減少したのが原因かと推察された。高原郷ケアネットの開催は目標3回に対して4回開催でき、オンラインシステムを利用して医療・介護・福祉・行政との連携をさらに強めることが出来た。
- 3) 予防活動の推進：ひとり年1件以上を目標にしたが達成できず。一方では新型コロナウイルスワクチン接種を精力的に実施したことで疾病予防の推進が図れた。
- 4) プロフェッショナル人材の涵養：学術発表ひとり年間1回以上の目標は達成された。研修医の満足度調査において目標80%以上のところ、92.8%と達成した。
- 5) 時間外診療の削減：時間外勤務＜45時間/月（36協定）の目標は54.1時間と達成されなかった。年次休暇取得5日以上の目標は全員達成した。

2. 総括

今年度は優秀な派遣医の活躍で良質な医療が提供でき、新型コロナウイルス感染が拡大するなかでも、病院経営改善への成果が認められた。研修や人材育成については順調に継続された。今後の課題は医師の働き方改革であるが、年度の終盤にて試行開始した病棟主治医チーム制によって改善今後は改善される見通しが立ってきた。

3. 学会等研究発表状況

1. 黒木嘉人、中林玄一、岩崎美幸、中口幸恵、巢之内大輔、上葛健介、高原郷ケアネット世話人会メンバー：高原郷ケアネットによる医療・介護・複視・行政の事業所枠を超えた新型コロナウイルス対策。第26回岐阜県国保地域医療学会；2021.11.13-21. オンライン開催
2. 黒木嘉人、工藤 浩、中林玄一、佐藤悠紀、草壁駿輝、上葛健介、佐藤直樹：研修医は地域医療研修に何を期待して何を得ていくのか～神通川プロジェクトの成果～。第36回岐阜県病院協会医学会；2021.10.1-31. オンライン開催
3. 中林玄一、黒木嘉人、工藤 浩、佐藤悠紀、草壁駿輝、佐藤直樹、徳田溪祐、上葛健介：初動から医療者と行政が伴走した飛騨市における新型コロナウイルス対策の迅速展開。第26回岐阜県国保地域医療学会；2021.11.13-21. オンライン開催
4. 草壁駿輝：患者中心の医療技法を用いて phase に応じた共通基盤の形成により治療を行った1例。第26回岐阜県国保地域医療学会；2021.11.13-21. オンライン開催

5. 佐藤悠紀：頸部痛を主訴に受診し、特発性血胸の診断に至った1例。第26回岐阜県国保地域医療学会；2021.11.13-21. オンライン開催

4. 表彰

1. 該当なし

5. 論文・執筆等発表状況

1. Kudo H, Kusakabe S, Sato Y, Nakabayashi M, Kuroki Y. The complete lateral position method reduced the mortality rate among elderly patients with severe dysphagia. Intern Med 2022, in press

6. 学会新規認定資格等取得状況

1. 2021.12.8 工藤 浩 消化器病学会認定消化器病指導医

7. 院内研修会状況

(場所：飛騨市民病院内)

開催日	講師	内 容
2021. 7. 12	工藤 浩	飛騨市民病院における5S活動
2021. 7. 5	中林 玄一	新型コロナウイルス第5波を乗り切る感染対策 UpDate
2022. 1. 23	中林 玄一	院内勉強会 (onWEB) オミクロン株の特徴と対策

8. 院外教育研修の運営・支援活動

開催日	講師	内 容	場 所
2021. 10. 30	黒木嘉人	第92回 JPTEC プロバイダーコース	神岡公民館
2021. 11. 13	黒木嘉人	第46回 ICLS さるぼぼコース	神岡町ふれあいセンター
2021. 11. 27	黒木嘉人	第13回飛騨地域緩和ケア研修会	高山赤十字病院
2022. 3. 24	工藤 浩	第1回飛騨市民病院 NST 摂食・嚥下研修会 完全側臥位法で切り開くこれからの嚥下障害診療	医局
2021. 6. 14	中林 玄一	第14回高原郷ケアネット Zoom (アドバイザー/メインコメンテーター)	飛騨市
2021. 9. 6	中林 玄一	第15回高原郷ケアネット Zoom (アドバイザー/メインコメンテーター)	飛騨市
2021. 9. 9	中林 玄一	講習会 病児保育たんぽぽキッズ「COVID-19 状況での対応」	飛騨市
2021. 10. 12	中林 玄一	講習会 富山 PAC (Paediatric Allergy Conference) 発表 on Zoom 「飛騨地域における食物経口負荷試験 (OFC) の工夫～non-medical な工夫も包含した medical な成績向上への取り組み～」	富山県

2021. 11. 29	中林 玄一	第 16 回高原郷ケアネット Zoom (発表者/メインコメンテーター)「オミクロン株を考慮した第6波対策～空気感染??に要注意～」	飛騨市
--------------	-------	--	-----

9. 一般市民向け出前講座

開催日	参加者	内 容	場 所
2021. 4. 28	中林 玄一	講演 飛騨市新型コロナウイルス感染症抗原迅速検査の自施設集団実施に係る研修会「新型コロナ第4波への新検査戦略」	飛騨市
2021. 5. 26	中林 玄一	講演+ハンズオン 飛騨市エッセンシャルワーカー向け抗原定性検査実践研修会「新型コロナ第4波にまけない検査戦略」	飛騨市
2021. 6. 9	中林 玄一	講演+ハンズオン 飛騨市一般向け抗原定性検査実践研修会「新型コロナ第4波(新型変異コロナ第1波)に耐える検査戦略」	飛騨市
2021. 7. 6	中林 玄一	講演+ハンズオン 飛騨市新型コロナウイルス感染予防および宿泊事業者向け抗原定性検査実践研修会「ウィズ変異株でも活動再開の対策と戦略」	飛騨市
2021. 7. 8	中林 玄一	講演+ハンズオン 飛騨市食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会 in 神岡「食物アレルギー/アナフィラキシー対応と学校生活における対応について」	飛騨市
2021. 7. 21	中林 玄一	講演 民生委員児童委員協議会合同研修 in 河合・宮川地区「変異株に対抗できる新型コロナウイルス対策」	飛騨市
2021. 8. 24	中林 玄一	講演+よろず相談 よちよち学級「知って迷わないワクチンの話」	飛騨市
2021. 10. 21	中林 玄一	講演 民生委員児童委員協議会合同研修 in 古川町「長期戦でも社会活動を再開するための新型コロナウイルス対策」	飛騨市
2021. 10. 21	中林 玄一	講演自分たちで考えて安心して思い出に残る行事にしようの会 in 神岡小学校「新型コロナウイルスなんかにマケない楽しい活動を一緒に考えよう～修学旅行・社会科見学に向けて～」	飛騨市
2021. 11. 19	中林 玄一	講習会(ハンズオン含む)「エビペン講習会 in 旭保育園」	飛騨市
2021. 11. 26	中林 玄一	岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会講演「第6波を見据えた安全な新型コロナウイルス対策～防疫イロハと共生プラン～」	岐阜県全体

■第Ⅱ診療部

●薬剤科

1. 活動目標

＜薬事委員会＞

- 1) 医薬品の使用変化に対応した採用薬品の見直しを行うとともに、一般名処方への切り替えを進めていきます。
- 2) 薬品説明会を利用して、採用薬品および採用中止薬品の選定や医療安全情報等を参照に副作用・配合禁忌など薬事に関する協議を進めていきます。
- 3) 医局の協力のもと、後発医薬品の採用や使用促進を進めていきます。

＜薬剤科運営委員会＞

- 1) 在庫薬品の定数・発注点を随時見直し、在庫金額の軽減を進めます。
- 2) 各部門の定数薬品の見直しや有効期限管理を進め、安全な医薬品供給体制を進めていきます。
- 3) 院内委員会に積極的に参加し、医療品質の向上を進めていきます。

2. 成果・総括

2021年度は後発医薬品採用を継続的に行い、後発品使用体制加算の最上位点数を維持しました。

外来診療における院外処方せん疑義照会不要プロトコールを実施推進しました。

3. 研修会

研修会、学会への参加（オンラインも含む）をしました。

●検査科

1. 活動目標

- 1) 検査件数の維持、減価償却費の抑制
- 2) 外部精度管理評価の維持、測定作業記録の充実
- 3) (新型コロナ)陽性者発生時への備え、タスク・シェアの準備

2. 成果・総括

＜検体検査部門＞

- 1) 前年度件数の維持（年間 24 万 2700 件）を達成した。
不飽和鉄結合能、フェリチンを院内検査項目に導入した。
赤血球沈降速度測定装置 Quick eye-8 を購入、迅速な報告が可能となった。
遠心機の電源不良・開閉部の故障のため、新規機器を購入した。
経年劣化による部品の交換を除き、重大なメンテナンスは発生しなかった。

- 2) 外部精度管理に参加、総合評価で日本臨床衛生検査技師会精度管理調査 98.9%、岐阜県臨床検査技師会精度管理調査 95.5%を取得した。
- 3) 新型コロナウイルス核酸検出検査の報告体制を整備し、結果リストを作成した。
試薬キット不足による検査規制が起こらない様に試薬等の確保に留意した。

3. 研修会

開催日	参加者	研修会名	場 所
2021. 11 ～2022. 2	中桐あさ子	厚労省 院内感染対策講習会	WEB 開催
2022. 1. 23	中桐あさ子	(一社) 岐臨技精度管理調査報告会	WEB 開催
2022. 2. 5	中桐あさ子	HORIBA 血液 WEB セミナー	WEB 開催

●放射線科

1. 活動目標

- 1) 検査件数の維持
- 2) 患者の人権を尊重した接遇をし、医療安全に努める
- 3) 業務のスリム化
- 4) 被ばく線量管理

2. 成果・総括

- 1) CT検査今年度実績は 3011 件で 121%達成率
内臓脂肪解析CTの今年度実績は 16 件で 66%達成
MRI 検査今年度実績は 919 件で 97%達成率
他医撮影の写真診断料今年度実績 121 件で 112%達成
一般撮影の今年度実績は 9886 件で 101%達成率
マンモグラフィの今年度実績は 222 件で 112%達成率
骨密度今年度実績は 214 件で 105%達成
- 2) クレーム 0 件、レベル 3 b のアクシデント 0 件は継続中
- 3) 職場や科内にとって” ためになること” を提案、実行する一人一つ以上→達成
AI 認定資格更新、被ばく線量調査(線量過多の原因調査)、学習会に参加
汚染防止ディスプレイホルダ作成、CT エキスパートプランの見直し、車椅子に乗車
のまま頸椎撮影、MRA 撮像時に起こる血流によるアーチファクトを低減した撮像法(応
用途中)、画像サーバー更新に合わせてサーバー室の整理整頓等
- 4) CT の被ばく線量の記録、管理を専用ソフト導入の代わりに電子カルテに手入力で記録、
保存

被曝線量の管理について、半期に一度、記載モレ、数値の誤記入、線量オーバーの原因の調査を行っている。

調査結果：頭部の被曝線量の指標（対象患者：体重 50 kg～70 kg）

CTDIvol：77>当院（対象患者数の 90%で範囲内）

DLP：1350<当院（対象患者の 1/3 が線量オーバー）

→CTDIvol が超過する主な原因は撮影範囲にインプラントが含まれている。

→DLP が超過する理由：撮影範囲が長くなると線量オーバーとなる。

頭部単純 CTルーチンオーダーでの撮影範囲が上顎洞を含めて撮影する、しないがいまいになっていたことが判明。

→対策として指示コメント等から撮影範囲を判断し、検査の最適化についてスタッフ間で再確認した。

→上顎洞を含める場合は”副鼻腔撮影”のプログラムを使用する。

12 月からの職員検診では被ばく低減のため軟 X 線除去フィルターをとおした胸部 X 線撮影を行った。

放射線安全利用のための講習会を WEB にて開催した。2021/09/13～10/12

全国自治体病院協議会 2021 放射線部会オンラインセミナー

群馬パース大学大学院 渡邊 浩

出席者 放射線科 西 達也、久保 満、田口 リエ

2021.11 8～11.30

“診療用放射線の安全管理について”

古畑 綾子

該当職種：医師 1/5、放射線技師 3/3、放射線診療を受ける者への説明等を実施する看護師等 55/58(94%) → 59/66 該当部署参加率 89% その他：リハビリ 4/9、栄養科 1/1

☆ 画像サーバー更新、サーバー移行作業完了 2022/02/22

☆ 田口リエ：AI 認定診療放射線技師 審査合格 2022/04/01

☆ コロナ禍でも WEB での学会、勉強会等に参加し知識や技術を習得、実務に取り入れるように心がけた

3. 学会・研修会

開催日	参加者	学会・研修会名	場 所
2021. 5. 29	西 達也	第 62 回岐阜県 MRI 技術研究会	WEB 開催
2021. 6. 5 ～ 6. 6	西 達也 田口 リエ	第 22 回 NTRT 全国 X 線撮影技術研究会 in 兵庫	WEB 開催

2021. 6. 26	西 達也 田口 リエ	第 19 回三重胸部 CT 技術研究会	WEB 開催
2021. 7. 11	田口 リエ	フジフィルムエクセレントカンファレンス	WEB 開催
2021. 8. 21	西 達也	第 16 回 GE DWIBS 研究会	WEB 開催
2021. 8. 21	田口 リエ	第 21 回東海 MRI シナジーミーティング	WEB 開催
2021. 8. 28	西 達也 田口 リエ	第 14 回岐阜県 X 線撮影技術読影研究会	WEB 開催
2021. 9. 13 ～10. 12	西 達也 久保 満 田口 リエ	全国自治体病院協議会 2021 放射線部会オンラインセミナー	WEB 開催
2021. 10. 30	西 達也	第 4 回 body MRI 技術研究会	WEB 開催
2021. 11. 25	田口 リエ	第 5 回 Master's eye seminar	WEB 開催
2022. 1. 25	田口 リエ	令和 3 年度第 1 回骨関節撮影分科会セミナー	WEB 開催
2022. 1. 29	西 達也	第 18 回栃木 C T 情報交換会	WEB 開催
2022. 2. 5	西 達也	第 48 回神奈川 MRI 技術研究会 2021 年度第 3 回関東 MR 研究会	WEB 開催
2022. 2. 18	西 達也	診療放射線技師画像解析セミナー 第 123 回” 技師にわかって欲しい疾患、画像の読影	WEB 開催
2022. 3. 5	西 達也	第 17 回 GE DWIBS 研究会	WEB 開催
2022. 3. 11	西 達也	第 49 回神奈川 MRI 技術研究会	WEB 開催
2022. 3. 20	西 達也	第 12 回東海 MRI 技術研究会	WEB 開催

●リハビリテーション科

1. 活動目標

- 1) リハビリ単位数の増加
- 2) 安全で的確なリハビリテーションの提供
- 3) 医療水準向上、新人教育、業務の平準化

2. 成果・総括

- 1) 院内リハビリ業務では、一人 1 日 18 単位(1 単位 20 分)を目標とし、達成できた。
訪問リハビリについては、新規受け入れや、祝日等の振替日などの調整が難しく、訪問回数減少に繋がった。今後は 1 日、5～6 人を限度とし、空いた時間にスムーズな新規受け入れ、祝日などの振替日を設けることで、スタッフも無理なく、利用者も休むことなく効果的なリハビリが受けられることを期待したい。

2) 研修会や勉強会への参加は、コロナによる影響で Web 開催が多くみられ、全体で 26 件の参加となった。今後も自助努力に励みたい。

安全についてはレベル 3 以上が 0 件と目標達成した。今後もリスクに注意して安全に努める。また、今後も感染対策に気を付け、患者様の意見も参考にして適切な感染対策を続けたい。

3) 院外事業への積極的参加

① 高原郷ケアネットへの参加

地域ケアへの関わりとして理学療法士 1 名が参加した。

② 新人教育も兼ね、毎月のリハビリテーション部会にて勉強会を開催。

③ 介護事業所支援

ケアマネ・たんぽぽ苑・まごの手からの要請により、カンファレンス参加やリハビリ指導を理学療法士 2 名が行っている。また業務の水準可を図るためカンファレンスについては業務時間内を提案中。

院外事業 まごの手訪問 山之村 1/月 神岡 1/月

たんぽぽ苑特養 ポジショニング指導 1/月

院外研修、発表

開催日	参加者	学会・研修会名	場所
2021. 5. 29～30	洞口拓也	第 55 回日本理学療法学術大会	WEB 開催
2021. 5. 23	古沢晃也	第 33 回活動分析研究大会	WEB 開催
2021. 7. 10～11	今井亮貴	臨床実習指導者講習会	WEB 開催
2021. 7. 24	古沢晃也	第 10 回ボバース研究学術大会	WEB 開催
2021. 9. 18	洞口拓也	これで完璧 インソールのすべて	WEB 開催
2021. 11. 6～7	今井亮貴 井本愛李	飛騨フォーラム 「乳幼児期と成人期から再考する地域生活 支援の理想のかたち」	WEB 開催
2021. 11. 20	新家祐太郎 谷口敬康	岐阜県国保地域医療学会 新家発表	WEB 開催
2021. 11. 21	巢之内大輔	災害リハビリテーションフレイル予防	WEB 開催
2021. 11. 27	古沢晃也	滋賀県神経理学療法研究会令和 3 年度 第 3 回定例研修会	WEB 開催
2021. 11. 27	巢之内大輔	地域包括システム推進研修 介護予防推進リーダー研修	WEB 開催
2021. 11. 28	巢之内大輔	地域包括システム推進研修 地域ケア会議研修	WEB 開催
2021. 12. 5	古沢晃也	岐阜県理学療法士会研修部主催研修会	WEB 開催
2021. 12. 5	古沢晃也	令和 3 年度長野県理学療法士会北信 ブロック研修会	WEB 開催
2021. 12. 18～19	巢之内大輔 洞口拓也	臨床実習指導者講習会	WEB 開催

2022. 1. 10	洞口拓也	インソールと筋膜から構築する運動連鎖	WEB 開催
2022. 1. 22	巢之内大輔	推進リーダーネットワーク研修	WEB 開催
2022. 1. 23	古沢晃也	岐阜県理学療法士会生涯学習部研修会 西濃地域	WEB 開催
2022. 1. 28	古沢晃也	ITT 勉強会（「直観」について発表）	WEB 開催
2022. 2. 1	今井亮貴	全国自治体病院協議会 「新型コロナとリハビリテーション」	WEB 開催
2022. 2. 5	巢之内大輔	岐阜県介護予防推進指導者養成研修	WEB 開催
2022. 2. 6	今井亮貴	フードケアオンラインセミナー 「ジェントルスティムを用いた感覚刺激療法 法伸しよう事例について」	WEB 開催
2022. 2. 13	洞口拓也	臨床研究の進め方発案から論文執筆まで	WEB 開催
2022. 2. 18	古沢晃也	課題分析講習会（階段昇降動作）	WEB 開催
2022. 3. 6	古沢晃也	愛知県理学療法士協会 名古屋支部勉強会	WEB 開催
2022. 3. 9	巢之内大輔	東京大学高齢社会総合研究機構 2021 年度 シンポジウム	WEB 開催
2022. 3. 20	洞口拓也	第 27 回日本徒手理学療法学会学術大会	WEB 開催

●栄養科

栄養科では、給食業務を㈱日清医療食品に業務委託しており、病院管理栄養士 1 名、
㈱日清医療食品は、栄養士 1 名、調理師 4 名、短時間調理員 3 名、応援 2 名の合計 10 名
で業務に従事している。

1. 目標

<給食管理部門>

- 1) 研修参加による自己研鑽を行う
- 2) デザートの日の制定
- 3) 衛生管理の徹底

<栄養管理部門>

- 1) 研修参加による自己研鑽を行う
- 2) NST 加算の実施継続
- 3) 栄養指導の実施継続

2. 成果・総括

<給食管理部門>

- 1) 厨房業務を止めることができないため、チーフが代表で研修を受け後日職場へフィードバックさせる体制をとった。

- 2) 毎月 1 回、行事の日もしくは第 2 水曜日に季節のデザートを出す取り組みを行った。
- 3) 厨房には衛生点検者が定期的に来てチェックをすることで衛生管理及び T/T 管理（時間と温度を組み合わせることで食品の衛生面と品質を管理すること）等の徹底を図っている。

<栄養管理部門>

- 1) 今年度は、新型コロナウイルス感染症のため多数の研修会が中止となった。しかし WEB での開催があったため参加し自己研鑽を行った。
- 2) NST 加算の実施継続 実施数 12.8 件/週
昨年度は 551 件(44 回実施)だったが、今年度の件数は 537 件(42 回実施)となった。1 回平均は 12.8 件と前年より若干増加した。算定数は 297 件と少ないが、包括病床も NST 対象としているためである。
- 2) 栄養指導の実施継続 実施数 6.8 件/月(82 件/年)
下半期からは予約なしで栄養指導を行うワンコール栄養指導を実施したが、採用件数は 3 件と伸び悩んだ。来年度はもっとわかりやすく、また新任の医師などにも周知を行って件数を増やしたい。

3. 学会・研修会

開催日	参加者	学会・研修名	場所
2021. 4. 21	日比野 一輝	コロナ禍における感染防止に配慮した食支援	WEB 開催
2021. 5. 1 ～31	日比野 一輝	日本栄養士会 生涯教育（基幹教育）基本研修	WEB 開催
2021. 5. 22	日比野 一輝	臨床現場におけるフルーツ系ゼリーの応用の可能性	WEB 開催
2021. 6. 1 ～30	日比野 一輝	NST 専門療法士受験必須セミナー	WEB 開催
2021. 6. 2	日比野 一輝	癌治療における栄養の力	WEB 開催
2021. 8. 7	日比野 一輝	早期栄養介入管理加算、NST 活動におけるモニタリング	WEB 開催
2021. 9. 10	日比野 一輝	特定給食施設等関係者研修会	WEB 開催
2021. 10. 25	日比野 一輝	ネスレヘルスサイエンスカンパニー10 周年記念 「管理栄養士」向けセミナー	WEB 開催
2021. 11. 20	日比野 一輝	第 33 回愛知 NST 研究会	WEB 開催
2021. 12. 11	日比野 一輝	医療事業部第 2 回研修会（岐阜県栄養士会）	WEB 開催
2022. 2. 26	日比野 一輝	医療事業部第 3 回研修会（岐阜県栄養士会）	WEB 開催
2022. 3. 10	日比野 一輝	東海 Geriatric Nutrition 研究会	WEB 開催
2022. 3. 14	日比野 一輝	経腸栄養の合併症とその対策	WEB 開催
2022. 3. 25	日比野 一輝	第 7 回ヘルシーフード WEB セミナー	WEB 開催

■看護部

●看護部管理委員会

1. 理念

私たちは患者さん中心の看護を目指します

2. 基本方針

- 1) 患者さんに満足される安全で安心な看護を提供します
- 2) 地域と連携した看護を推進します
- 3) 看護水準の向上に努めます
- 4) 接遇の向上に努めます
- 5) 看護の立場で経営に参画します

3. 2021 年度看護部目標

- 1) 倫理観と安全を大切に思いやりのある看護をしよう
- 2) 自ら学びやりがいを見つけ成長し続けよう
- 3) 対話を大切にお互いを尊重し合う職場をつくろう
- 4) 自分事として有事に備えよう
- 5) 患者・家族の生活に寄り添い地域に目を向けよう
- 6) 看護の立場で経営に参画しよう

4. 活動報告と成果

- 1) 倫理観と安全を大切に思いやりのある看護をしよう

入院、外来患者の高齢化が著しく、認知症患者の増加に加え転倒転落の危険リスクが高まり、一番近くでケアする看護師・看護補助者は、安心・安全な療養環境の提供のために細心の注意を払っている。それでも防ぎきれない現状があり、ヒヤリハットの中で最も多いのが転倒転落である。積極的なチーム活動と病棟では転倒転落カンファレンスを行い、患者の尊厳と安全を守る視点でその人に合ったケアを導き出し、スタッフの意識変化が身体拘束件数の減少に繋がっている。看護部のすべてのヒヤリハット事例は、毎月の管理委員会でも取り上げ再発防止対策を行っているが、防ぎきれず転倒による骨折事例が発生してしまう。スタッフ皆で知恵を出し合い転倒しても骨折に至らないような工夫をして、安全で質の高い看護の提供ができるようハード面とソフト面の両面から検討を行なっていきたい。

- 2) 自ら学びやりがいを見つけ成長し続けよう

看護協会が推奨しているクリニカルラダーの導入を行って3年が経過した。クリニカルラダーレベルⅡ・Ⅲは当院の看護提供として必要であるため、正規職員全員が申請し課題に取り組んでもらっている。看護部の目標として掲げ、各部署で目標として個々の目標に落とし込むことで学習する姿勢に繋がっている。里山ナース院内認定制度は、2019

年6月に「SUPER」レベルを28名が申請し2020年3月5日には飛騨市長が来院されての修了式を無事に終えることが出来た。2020年度は「HYPER」レベルに23名が申請し5分野（慢性期・急性期・終末期・在宅看護・地域理解）それぞれ個人が研修計画を立て受講し自己研鑽を積んでいる。これらの制度の導入は、看護部全体が継続して学習する雰囲気につながっており、頑張っていることを可視化し次のステージに向けてのモチベーションアップにつながっている。2021年度は「SUPER」レベル5名、「HYPER」レベル7名が修了した。

3) 対話を大切にお互いを尊重し合う職場をつくろう

人事評価の機会を活用し各部署の部署長とスタッフと目標面談を丁寧に行いながら、スタッフ個々の強みを活かす事ができるように情報共有を行っている。また、看護部長個人面談を行い問題・課題への早期対応ができる開かれた看護部を目指している。

4) 自分事として有事に備えよう

災害対策委員会主催の病院全体災害訓練や各部署でも有事に備えた活動を行っている。3名の災害支援ナースが積極的に参画し活動をしている。防災士資格試験は、病院全体で10名、そのうち看護師5名が受験し全員が合格できた。

5) 患者・家族の生活に寄り添い地域に目を向けよう

地域連携室と病棟看護師が連携し、家族背景など個別性を重要視した退院支援を実施している。病棟看護師がさらに具体的に退院後の生活のイメージができるよう、退院前訪問や退院後訪問を積極的に実施できる体制を構築したい。

6) 看護の立場で経営に参画しよう

看護師も病院経営を意識し参画することが大切であるので、この目標を掲げている。加算取得や病床利用率など経営に対する意識が持てるようになってきている事を実感する。今年度は「認知症患者ケア加算」取得を開始し、対応力とケアの質向上を目的として担当チームが積極的に活動できている。看護部会では、看護の立場で経営に参画する重要性を理解するための現況の情報共有を行っている。さらに新たな加算取得が追い風となってケアの質向上に繋がられるような取り組みを行っていききたい。

5. 総括

2021年度は、師長1名、主任2名が昇格し外来・透析・内視鏡が連携をとっていけるよう総合看護体制の構築を行った。外来スタッフと総合看護師が互いに協力し頑張っていたお陰で新型コロナウイルスワクチン接種と通常外来受診が平行し実施できた。

また、現在頑張っている看護師の活動を可視化する事と教育体制を整え看護協会の推奨するクリニカルラダーに加えて「里山ナース院内認定制度」の導入3年目となった。岐阜県看護協会が主催する研修もZOOMの体制が整い順調に研修の受講ができている。

朝礼（師長会）では、各部署の人員配置や予定などの情報交換を行い、看護部全体の状況把握を行い応援体制の強化をはかった。自分の部署のみならず、他の部署に対しての気

遣いができることは、互いに助け合う風土の看護部となりスタッフ皆に心から感謝している。療養病棟での食事介助は、病院を守る会の方々、ボランティアの皆さまに助けていただき、スタッフ一同ご厚意に感謝している。このご支援はケアの負担軽減と、社会の風が入る意味でも患者さんも楽しみにしておられる。また、住民の方々とスタッフが顔の見える関係性を築くことができ、地域に寄り添い愛し愛される病院としての良い機会となっている。

人材確保に向けては、2019年開始した「オープンホスピタル」と中部学院大学看護学科の実習受け入れは間近になって新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、2021年度は受け入れ開始ができた。ホームページ更新、看護師採用DVD活用、看護職員採用パンフレット・チラシ内容の更新、就職サイトでの職員紹介や就職フェアへの参加、飛騨市の地域包括ケア課と連携し、地域の人材確保に向けての取り組みの検討など出来る事は積極的に行っている。人は財産であるので、ひとり一人を大切に遣り甲斐をもって働ける環境、労り合い助け合いながらの休暇取得しやすい雰囲気、安全で安心な看護の提供のための学習の継続、少しゆとりを持ってケアにあたれるような人材確保、さらには先を見据えた地域の医療をまもることができるよう魅力的な組織の維持・向上に向けて今後もスタッフと共に創り上げていきたい。

●看護部教育委員会

1. 目標

看護専門職としての自覚を持ち、論理的思考と正確な看護技術を身に着けるため、研修会や看護部会の参加を支援する。

2. 活動報告・成果

1) クリニカルラダーⅡ・Ⅲ全員申請し取り組んだ。 (Ⅱ：5名 Ⅲ：28名)

クリニカルラダーⅡ：5名課題終了

クリニカルラダーⅢ：7名課題終了 *各レベル課題修了者には看護部長より認定証交付済み

引き続き次年度継続していく予定である。

2) 看護部会開催 (奇数月開催 今年度5回/年) 平均参加率 90.4%

3) クリニカルラダーⅡ・Ⅲ対象院内研修開催

①栄養士による院内研修：栄養付加食品について 講師 日比野管理栄養士

②看護師による院内研修：コミュニケーションについて 講師 岩崎看護部長

③看護師による院内研修：看取り看護について 講師 岩崎看護部長

④医師による院内研修：疾患や病態の理解・把握など 講師 佐藤医師

⑤事務職員等による院内研修：病床機能理解について 講師 トーマツ

看護部会前に開催したことで多くのスタッフの参加につながった。また夜勤等で欠席したスタッフには後日ビデオ視聴が出来るよう対応した。

4) 岐阜県看護協会研修参加支援

今年度は出張での研修を1人1研修とし、自己研鑽としての研修は各自が申請し参加、

里山ナース及びクリニカルラダーポイント対象研修として承認した。昨年度は新型コロナウイルス感染症流行に伴い多くの研修が中止となったが今年度はZoomでの研修体制が確立され、院内でも整備がされたことにより希望者全員がZoomで参加することが出来た。

5) オンデマンド研修視聴

今年度は全視聴を目標とし、配信案内を各病棟等に掲示、ロゴチャットでの周知徹底に努めた。

結果、平均視聴率 66.4%であった。

さらに、R4年度より学研ナーシングサポートへ変更するに当たり事前打ち合わせやお試し視聴など準備を行い、全職員研修にも利用できるよう整備した。

6) 中部学院大学看護学部統合実習受け入れ

実習学生：3名 期間：8月9日～8月20日

担当教員との事前打ち合わせをはじめとし、看護部会では、学生を受け入れるにあたっての心構えとしてグループワークを実施、スタッフ全員が学生実習に対して意識を高め、対応出来た。

7) クリニカルラダーⅣ研修内容検討

院内研修のみでは内容・講師においても限界であるため、他施設の公開研修への参加や学研ナーシングサポートオンデマンド研修を利用するなど、当院にあった内容となるよう検討中である。

8) 新人看護職員研修プログラム見直し

既存の研修プログラムを見直し、今年度の新卒採用者に使用できるよう整備した。

電子カルテ内ではフォルダーを一カ所に集約し、今後、改訂・修正作業をしやすくした。

3. 総括

今年度はなんといっても、岐阜県看護協会研修への参加方法がオンラインとなったことが大きい。

“マナブル”へ登録することでZoomでの参加が可能となった。コロナ禍でも遠方へ出向かなくても院内や自宅での研修参加が可能であり、各自が意欲を持って自己研鑽に努めることが出来た。院内での研修体制整備に関して、上葛さん、大石さんの多大な支援と協力のもとトラブルなく実施出来たことに感謝する。

次年度は、新卒採用者の育成に重点を置き、プリセプター、アソシエイトナースだけでなくスタッフ全員で育てる風土作りを実践していく。また、学研ナーシングサポートをうまく利用し、皆が気軽に学べる環境体制の構築を行う。クリニカルラダーに関しては導入し3年が経過、レベルⅢまでを全員申請とし順調に実施出来ている。今後はレベルⅣの研修内容や評価方法の再構築を行っていきたい。

●看護基準・手順委員会

1. 活動目標

看護基準・手順書の見直しをおこないスタッフが統一した看護処置やケアを行いことができるようにする

2. 活動報告

- 1) 院内の看護基準・手順の見直しをおこない 物品名や方法などの確認を行い変更
- 2) 次年度より院内の研修に学研の教材を導入予定 その中に最新看護手順書・動画があるため、今後はそちらの教材を使用することとなる
- 3) 現行ある看護基準・手順書は病院独自のものはそのままいかしていく

3. 総括

検査や処置、物品など今後も変更する予定であるため随時更新が必要であるが、来期から動画視聴もできるため視覚的に確認できる手順書としてそちらを活用していきたい。しかし病院独自のものや院内での決まり事は市販のものにはないため引き続き更新していく必要がある。運用方法を確認し、安心して安全な看護の提供ができるよう活用していきたい。

●看護記録委員会

1. 活動目標

- 1) 看護記録を充実させ、看護行為に繋がる記録を目指す。
 - ① 看護記録監査を継続する。
 - ② 看護行為との繋がりを意識して統合アセスメント・看護診断・SOAP のチェックを行い、結果をフィードバックする。
看護診断についてはデータベースと連動しているかチェックを行う。
- 2) 看護サマリーを充実させ、地域連携に役立つ看護サマリーの提供を目指す。
 - ① 地域連携を意識して看護サマリーのチェックを行い、フィードバックする。
- 3) 必要度評価の精度を上げ、該当患者割合一般病床は 20 %以上、地域包括病床は 10%以上を維持する。
 - ① 看護必要度チェック及び監査を継続し、精度を上げる。
 - ② 院内必要度研修を計画・実施する（年 1 回）。

2. 成果

- 1) ① 病棟看護師を対象に前期、後期の 2 回に分け看護記録監査を実施した。昨年度見直しを行った看護記録監査表を用いて自己監査の後、委員による監査を実施し、結果を本人へフィードバックした。
- ② データベース内の統合アセスメント・看護診断・SOAP での記録についてそれぞれ 2 ヶ月間の強化月間を設け委員により項目に沿ったチェックを実施した。結果は委員会

で持ち寄り総評にまとめ翌月にはスタッフへフィードバックした。看護診断についてはデータベースから導き出されているかに重点を置きチェックを実施した。

- 2) ① 看護サマリーの強化月間を設け、委員によりチェックを行い、結果をスタッフにフィードバックした。医療的専門用語や略語を使用せず誰がみてもわかる看護サマリーとなるように、中でも日常生活欄については具体的な介助内容や方法がわかるように記載できているかをチェックし地域連携へ繋げた。

- 3) ① 委員及び看護必要度指導者研修終了者により毎日の必要度記録チェックと毎月の必要度監査を実施した。

チェック用紙を用いて不備がある時は個人へフィードバックし正しく修正がされているかを確認した。

- ② 11月の看護部会にて病棟看護師を対象に、院内必要度研修を実施した。

3. 総括

重症度医療看護必要度の評価票が大きく変更されてから1年が経過したこと、また日々のチェックや監査を積み重ね、研修終了者による勉強会を開催したことにより取り漏れも少なくなっており個人の記録精度も向上している。

2021年度初めにはコロナクラスターが発生し新規入院が途絶え、一時は必要度〇%低下の危機的状況となったが、委員及およびスタッフの丁寧なチェックとケアの見直しにより一般病床20%以上、地域包括病床10%以上を維持することができた。

当院では患者層の高齢化に伴いベットサイドでのケアに要する時間は増える一方である。そのため看護記録は患者さんの状態を把握しやすくケアに繋がるものであること、また各加算に対応した要点をついたものであること、そしてそれらの記録を短時間で行うことが求められている。今後も各種記録の見直しを行ない充実した内容をスムーズに記録できるよう取り組んでいきたい。

●転倒転落対策チーム

1. 活動目標

転倒転落による骨折件数が減少できるよう対策を行う

2. 活動内容・成果

1) マットレスとカーペットの購入

衝撃吸収マットレスを購入してもらい、転倒リスクのある患者さんに使用した。実際、座り込みなどの転倒がみられた患者さんも骨折までにはいらず効果があったと思われる。また、滑り止めカーペットを新しい物（青色のカーペット）に変更してもらい使用しております。こちらも高評価です。

2) 転倒転落カンファレンス

1病棟では毎週火曜日にせん妄・認知症カンファレンスを行っており、そこで転倒転落リスクのある患者さんの話し合いも行い、対策を話し合うことができた。カンファ

レンスが毎週継続でき、定着できたことが良かった。カンファレンスの患者リストアップや記録のチェックなどもメンバーで行った。

3) ベッド周囲環境の見回り

1 病棟では昼食後のベッド周囲環境の見回りを行うよう声掛けを行ってきたが、後半はスタッフ不足と忙しさから継続が難しかった。また、ベッド上で使用できる整理かごの購入を行い、患者さんからも高評価の声をいただいた。

4) 転倒転落によるヒヤリ・ハットデーター

ヒヤリ・ハット事例の検討会を行い、他の対策はないかなど話し合いを行った。

5) 2 病棟より

何回も転倒される患者さんに対し、部屋をステーションの近くに移動したりと対策をしたが、声出しのある患者さんと同室になってしまったりと対応が難しかった。

3. 総括

以上のような様々な対策を行いながら転倒による骨折の件数の減少に向けて取り組んだ。令和2年度の病棟での転倒による骨折の件数は5件であったが、令和3年度の件数は3件であった。この件数がすべてを意味しているわけではないが、地道な検討と話し合いが転倒転落の予防につながっていく。今後もADLの拡大と患者自立を尊重しながらケアができる取り組みを行っていく。

●第1病棟

1. 病棟目標

1) 看護の立場で経営に参画する。

①病床利用率の向上

- ・一般病床＋地域包括病床（75%）
- ・地域包括病床（90%）
- ・在宅復帰率（80%）
- ・自宅からの受け入れ率（地域包括病床：20%）：3ヶ月で9人

②診療単価の向上（看護必要度）

- ・一般病床（20%）
- ・地域包括病床（15%）

③自ら学び尊重し合う職場を作る。

- ・クリニカルラダー

2) 倫理的配慮に基づいた安全で思いやりの看護を実践する。

- ①認知症・せん妄患者の転倒・転落防止に務める。
- ②医療事故（3b以上）の減少。
- ③災害訓練を実施し災害時に備える。
- ④感染防止対策に努める。

3) 自ら学び尊重し合う職場を作る。

- ①クリニカルラダー・里山ナース取得・院内外研修参加の推奨
- ②有給休暇の計画的取得

2. 成果

1) 看護の立場で経営に参画しよう。

病床利用率： 一般病床＋地域包括ケア病床 目標 75% → 結果 72.6%
 地域包括ケア病床 目標 90% → 結果 81%
 入院患者数の確保 目標 40 人/日 → 結果 39.2 人/日
 在宅復帰率 目標 80% → 結果 88%
 自宅からの受け入れ率 目標 20% → 結果 34.7%
 診療単価の向上： 看護必要度（一般病床）目標 20% → 結果 30%
 〃 （地域包括病床）目標 15% → 24%
 認知症ケア加算取得の為のシステム作りと勉強会
 認知症ケア加算 ： 232752 円

病床利用率は、一般病床、地域包括ケア病床共に目標を下回る結果となった。

昨年度と同様、夏から秋にかけて患者数は大幅に減少したが冬から春にかけては増加傾向となった。年間を通して病床利用率を維持する事は困難である。春から夏や秋から冬にかけて入院患者数が多くなることが見込まれる為、年間を通し平均して入院患者数を確保していきたい。その為には、他院や近隣施設からの予約入院や転院を積極的に受け入れ、診療単価の向上に努めていきたい。

重症度、医療・看護必要度該当患者割合は、一般病床、地域包括ケア病床共に目標を大きく上回り、よい結果となった。

2) 倫理的配慮に基づいた安全で思いやりの看護を実践しよう。

①認知症・せん妄 WG を立ち上げ、看護記録の充実

- ・認知症・せん妄カンファレンスの実施（転棟・転落・身体抑制：週 1 回）
- ・食後の環境整備
- ・須田病院認知症連携会議（6 回）
- ・院内デイケア開催（週 1 回）

毎週金曜日に季節の催し物を取り入れた院内デイケアを実施したことで、在宅での生活に少しでも近づき楽しみながら治療を行うことに繋がったと考える。

また、患者・病棟スタッフの両方から、今後も続けていきたいとの声が聞かれた為、今後も継続していきたい。

②医療事故（3b 以上）の減少

- ・6 件→5 件

③災害対策

- ・年 4 回の院内災害訓練参加。病棟内消火栓配置部分等の確認。

③感染防止対策

- ・病棟運用対応マニュアルの見直し
- ・PPE 着脱勉強会開催
- ・CD 腸炎まん延時、部会での勉強会開催

- ・感染 WG 通信の発行

以上のように、感染 WG による通信の発行や勉強会を通じて、病棟スタッフが理解出来るよう取り組んだ。

④高齢者の総合機能評価と計画的な退院支援

連携室のメンバーと共に週 1 回、退院支援カンファレンスを実施し、早期退院に向けて入院中に、どのような支援が必要なのかを検討した。又、早期から患者・家族、医師、病棟看護師、理学療法士、ケアマネ、訪問看護師、ヘルパーなど多職種による退院調整カンファレンスを実施する事で、在宅での生活に必要な支援について何度も検討する事ができた。

認知症やせん妄症状を含む重症患者が多く入院する中でも、思いやりの心を持って看護・介護ケアが実施できた為、患者・家族から感謝の言葉が聞かれた。

3) 自ら学び尊重し合う職場を作る。

- ・クリニカルラダーは全員取得
- ・里山ナースは 4 名取得、6 名は継続
- ・年休取得 (5 日間) → 正職 (5.2 日)、臨時職員 (8.5 日) : 全員取得
- ・夏期休暇 (3 日間) → 全員取得

3. 今年度の看護研究

テーマ『患者情報の共有化 ～ピクトグラムで可視化して～』

荒井仁美・清水佳菜子・橋本留美子

入院患者のベッドネームの近くに、ピクトグラムを導入する事で、患者の状態が可視化され、チームを超えて個別ケアを重要視した適切且つ早急に対応するための情報共有が可能となった。状態が変化した患者の表示変更が確実に出来るよう、スタッフに声かけを行い、表示変更がされているかを確認しながら今後も継続していきたい。

4. 総括

今年度もワーキンググループを中心に感染対策・転倒転落対策・災害対策・業務改善に積極的に行動する事ができ、大きな成果を出すことが出来た。

また、病棟主任であるチームリーダーを中心に、病棟会議後にスタッフの意見を取り入れ効率よく仕事が出来よう改善策を検討した。また、退院支援がスムーズに行えるよう、カンファレンスで検討しながら、病棟会議でも、ミニテストや勉強会を開催し、知識の向上に努めた。

高齢化に伴い入院患者の殆どが、主となる疾患以外にも多くの疾患や認知症・せん妄症状が見られ、看護やケアを行う上で、大変厳しい状況となっている。

その人らしい入院生活が過ごせるよう、その人が持つ様々な疾患に気を配りながら症状アセスメントを行い、多職種と連携をとりながら早期退院に向けて取り組んでいきたい。

●第2病棟

1. 病棟目標

- 1) その人らしさを失わず、思いやりのある看護の提供
 - ・尊厳を重視した看護をおこなう
 - ・安心安全な看護の提供
 - ・看護水準の向上
- 2) 看護の立場で病院経営に参画する
 - ・病棟利用率の向上
 - ・コスト意識の強化
- 3) お互いを認め、尊重しあう職場をつくる
 - ・コミュニケーションを活発にとりお互いを知る
 - ・心身ともに健康で働ける

2. 成果

- 1) 安心できる在宅療養への支援としてスタッフ間の統一した退院指導の取り組みをおこない実際に退院される患者さんに使用した。受け持ち看護師が日勤となる日が少なく、個別性を重視した退院指導がどのスタッフでもできるよう指導内容や方法の確認を行った。療養病棟からも退院される方が増えてくる可能性があり今後も個別性を考え、スタッフ同士情報共有し統一した指導が必要であり検討が必要である。

倫理カンファレンス 病棟緩和カンファレンスでは他職種のスタッフの参加もあり病棟スタッフの見方だけではなく多角的な意見から全人的に考えられる機会となった。

災害訓練では災害対策チームのメンバーが中心となり予定外に訓練を行い、いかなる場合でも咄嗟に対応できる訓練を行った。またコロナ感染症が収束しない今、人数減少の可能性もあり BCP の見直しを随時。

教育ラダー、里山ナース認定制度の参加を促し、病棟会議の場を活用し委員会や個人の得意分野での勉強会をグループワークで行うことで全員参加型となり、知識や対応のレベルアップにつながったと考える

医療安全では医療事故レベル 3b 以上はなかったが、誤薬でのヒリハット事例が 12 件と多く今後は「合っているかの確認より、間違っていないかの確認を徹底していきたい。

毎月の勉強会

認知症ケア勉強会：松葉 5月 7月 8月 10月 11月 12月

呼吸勉強会： 逢坂 7月 8月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

MDUPU スキンケア勉強会： 田口 5月 9月 12月

6月 消毒薬の作り方と保管方法 西本・下方

7月 足つかみセラピー 藤巻

看護師が身につけるべきコミュニケーションスキル 霜出

- 8月 鍛えようインナーマッスル 逢坂・田口
9月 転倒転落事例から対策を考える 松葉・坂口
10月 息苦しい世界で健やかに生きるための休息 星合
11月 日頃おつかれのみなさんにリラックス方法 大門・下萩
12月 硬さ&お疲れ様 木下・仲表
3月 在宅医療について 北平

- 2) 1病棟、地域連携室と連携をとり入院患者数の確保、レスパイト入院の受け入れなど積極的に行った。平均病床利用率 75.4% 回転率 35% 在宅復帰率 100%

またコスト意識を持つために実施しにくい物やわかりにくい箇所をピックアップしたノートを作成し周知した。また個人別にどこが取りにくいのか理解できているのかチェックし個別に指導し意識付けを行った。

- 3) 心身ともに健康で働ける職場作りのため計画的に有給休暇取得をおこない全員期間内に取得できた。また働き方や人員に合わせ適宜働きやすいように業務を改善していった。

自己効力感を得たり、存在価値の肯定、コミュニケーションの一環としてありがとうカードの活用を行い使用後のアンケートでは仕事のモチベーションが上がる、仕事を楽しみ、評価されたと思え自己効力感があがる、などポジティブな気持ちになったことから安心した職場に近づけたのではないかと評価する。

3. 総括

年度途中のスタッフ異動や退職があり、その都度効率良く業務ができるよう業務改善チームで検討し病棟に投げかけ、その時々で柔軟に対応していった。患者層も重症者や介護度の高い方が多く、その中でも自宅へと退院につなげることができ安心した自宅療養ができるよう退院指導についての看護研究をおこなった。今後は在宅へ戻ったあとの生活を知る体験も取り入れながら患者さんを他覚的に捉える看護を考えていきたい。

また少ないスタッフ数だからこそ互いを尊重し認め合うことは大変重要であり、「ありがとうカード」の活用やカンファレンスでの意見交換を行いながら互いを認め合う風土を作った。色々な年齢や色々な働き方から多くの考え方があるが、そこからの意見やアイデアを活かして心理的安定の持てる職場でありたい。

●外来

1. 目標

1) 医療・看護ケアの質の向上に努める

- ・病院の顔としてその役割を自覚し自身の言動や行動を振り返る
- ・相手の立場や思いに寄り添い看護の視点で関わりを持つ
- ・知り得た情報をお互いに共有し有効に活用する

2) 医療安全・感染対策に努める

- ・インシデント・アクシデントは速やかに報告。原因、対策を考えチームで共有する
- ・マニュアルを遵守し行動する

3) 魅力ある職場づくりを行い経営に参画する

- ・他職種との連携強化・コミュニケーションを図りお互いをねぎらう
- ・応援体制を意識して動く
- ・整理整頓し不必要な物は減らす

4) 専門職としての自覚を持ち自己研鑽に努める

- ・研修などへの積極的な参加
- ・自己目標を明確に持つ

2. 活動

① 災害訓練

1) システムダウン時の外来の対応 10月4日(月)

システムダウン時の外来診療対応(紙カルテ運用)を医師、外来看護師、コメディカル(放射線技師・薬剤師・検査技師)・受付・管理課と協力して実施した。
3ブースに分かれ、模擬患者と実際の患者を設定して受付～会計までの流れを訓練した。終了時はそれぞれ(患者役とスタッフ役)にアンケートを実施した。

2) 外来看護師のみでシステムダウン時の外来対応実施 12月1日(水)

10月と同様当日の患者を受付から会計までの流れを訓練した。訓練で行った一連の流れを記入してもらい、分からなかったところやできなかったところをすくい上げた。

3) エアーストレッチャー訓練 12月9日 1月13日 2月10日(第2木曜日)

リハビリスタッフと合同でエアーストレッチャーの使い方を実施した。
少人数で1人1回参加とした(外来・総合・連携室)。

② 月間目標

月ごとに外来目標を朝礼で発表した(10月から開始)

10月	言葉遣いに注意、笑顔で対応する	本田
11月	相手の立場に立った対応をする	岡田
12月	環境整備の強化・自分事ととらえ対応する	横井
1月	挨拶・身だしなみ・個々に合った接遇対応	
	初心に振り返り引き締めて行動する	米田
2月	目配り・気配り・心配り	小森
3月	個々に合った患者対応はもちろん、自分の健康に気をつける	丸山
4月	情報収集を密にする 事故がないよう気を引き締める	谷村
5月	私語をつつしむ 患者に合った接遇	山平

③ ヒヤリ・ハット報告

転倒2件 そのうち1件は骨折 レベル3の報告あり

会計前でふらついて転倒した。

椅子に足を引っかけて転倒した→コロナ感染予防のため椅子の間隔を空けている。本来置くべき場所でない所に椅子があり足が引っかかった。椅子は除去した。

④ 診察室の増室

外科と整形の診察室を2診室に分け対応（研修医が増えたため診察室の確保ができた）。

3. 総括

外来（11人）に総合看護（3人）が加わり14人で外来がスタートした。総合看護のスタッフが人員不足の部署へタスクに入ることによって業務が遂行した。救急対応、病棟の入浴介助、コロナワクチンの注射、PCR検査介助など幅広く動ける体制が整った1年であった。

何度も災害訓練を行っているが、1回にとどまらず再確認したりエアーストレッチャーの使用方法など新たにに取り組む活動ができた。

外来では、豊かな経験を持つスタッフで構成されているという強みを持ち、スタッフ同士が協力し支え合いプロフェッショナルの側面を十分発揮して業務を遂行できたと考える。

働き方改革推進の元で上司からの正当な評価を受けて自身の仕事への意識、意欲を高めることが出来ているか、働きやすい環境が整っているか、疲弊する事なくお互いを思いやり業務に携わることが出来ているか、スタッフを大切に思い感謝し、守ることが出来ているかを考え、今後も協力して外来・総合看護業務を遂行してゆく。

●手術室

1. 目標

看護部目標に準ずる（手術室として立案しておらず）

2. 成果

1) 手術・検査依頼に柔軟に対応する

スタッフ2人体制継続。（人事異動により1人スタッフ交代）

新規スタッフの育成に重点をおきながら、検査・手術件数に対応した。

手術：14件（－10件）上部内視鏡：1371件（+94件）下部内視鏡：223件（+5件）

ERCP：0件（－3件）

前年度と比べERCP・手術共に件数が減少したが、上部・下部内視鏡検査は増加した。

緊急の内視鏡やその他の処置には柔軟に対応でき業務は円滑に遂行した。

2) 上部内視鏡検査を受ける患者の満足度の向上

当日の上部内視鏡検査の予定件数を表示し、検査を待つ患者様の気持ちの緩和につとめた。

上部内視鏡看護マニュアルを作成し、どのスタッフでも同じように患者様の対応・声かけができるようにした。

上記2項目施行前後に患者様にアンケートを実施した。

待ち時間が短かったと感じた人 実施前比 14%増加

待ち時間が長かったと感じた人 実施前比 16%減少

検査がつかかったと感じた人 実施前比 21%減少

3) 外来・病棟・透析との連携を図る

病院の目標である働き方改革の一貫として、病棟、外来、透析室との連携を図りそれぞれの業務支援を行い、人員不足の解消を補うことができた。

臨床工学技師が昨年3名から本年4名に増員となった。

他病院の内視鏡室では臨床工学技師もスタッフの一員として配属されている所もあり、本院も臨床工学技師の内視鏡室へのタスクシフティングを試みてみた。しかし、臨床工学技師学会より、内視鏡での咽頭麻酔の手技は禁止されており、当病院ではかえって他スタッフに負担がかかることがわかり、臨床工学技師の内視鏡室タスクシフティングは断念せざるを得なかった。

3. 総括

手術件数が減少し本来の業務が出来ない現状であるが、内視鏡業務は柔軟に対応し、上部・下部内視鏡件数は昨年度に比べ増加した。また、他部署との連携を図ることで業務が円滑に遂行し、スタッフの仕事への負担の軽減に繋がった。

手術や検査は患者にとってとても不安であり苦痛も伴う。その中で接遇の強化ができ、満足度の高評価を得たことはスタッフにとって強みとなった。今後もより良いサービスを提供できるよう自己研鑽はもちろん新人の教育にも力を入れていく。

●透析室

1. 目標

①経営

- 1) 安全が確保できる上での患者受け入れ
- 2) オーバーホールは必要最低限とし、近い将来現在よりコスパの優れた機種を導入も相談していきたい保守点検の見直し

②医療

- 1) 透析効率管理表を作成し、患者指導に活用する
- 2) 今年もレベル3以上を起こさない事を目標とする

③組織

- 1) タスクシフティングの継続
- 2) 透析室新スタッフの透析業務教育

2. 評価

- ①オーバーホールは最低限に絞り去年より65万円削減した
- ②達成（毎月算出し、随時指導）
- ③タスクシフティングは今後も継続

3. 総括

- 透析室としては、今後とも患者さんへの透析業務に支障のない範囲でできる限り受け入れる方針。
- 今後ともレベル3以上を起こさない
- 今後もタスクシフティングは継続

●地域連携室

1. 目標

- 1) 「つなぐ」という役割を意識し、院内だけでなく地域にむけ働きかけることを意識する。
- 2) 病院経営への意識を持ち参画する。
- 3) スタッフ間の風通しを良くし、働きやすい職場環境をつくる。

2. 成果

- 1) 「つなぐ」を意識し、「入退院支援」の強化に取り組んだ。今年度は従来の動きに加え、病棟との連携を図るため、WGをたちあげ「退院支援カンファレンスの充実」を目指し取り組んだ。
カンファレンス時に使用するADL表を活用し、自宅での状況と現状を比較することで、退院までの課題を洗い出し、日々のケアに落とし込むという流れを作った。カンファレンスで決めた方向性が継続できるよう翌週には必ず評価し修正することを繰り返した。繰り返し考えることで、何が課題となるかパターンではあるが、病棟スタッフとともに考える体制ができてきたと考えている。また、病棟スタッフが在宅をイメージできるよう介護サービスの内容など資料を作成し、病棟WGのメンバーより病棟会議にて活用してもらった。在宅をイメージするという点では「退院後訪問」も効果的ではあるが、病棟のスタッフ不足もありなかなか訪問する機会がない状態である。対象患者の選定や退院指導への声かけなど行いながら、引き続き在宅がイメージできるよう働きかけたい。つなぐという点では、入院患者とご家族との橋渡しも大切な役割として取り組んだ。新型コロナウイルス感染症により面会禁止となり2年が経過した。ご家族と洗濯物などやり取りする中で病室での様子を伝えたり、リハビリの様子をリハビリ室スタッフに動画に撮ってもらい見ていただきながら進捗状況を伝え、面会できない中でも少しでも安心に繋がるよう働きかけた。院外に向けては、「たんたかひだネット」の会議に参加し、病院の現状を伝える中で地域の中での課題を聞き、病院の果たす役割について考え、看護部での会議に提案してきた。今後も広い視野を持ち参加していきたい。
- 2) 経営への参画という点では、今年度「入退院支援加算」を算定するに至ったことは大きな成果である。昨年度は施設基準に至らず算定できなかったが、今年度はオンラインの活用などにより近隣施設との連携がスムーズとなり算定にすすめることができ

た。また、地域包括ケア病床に関しては、今年度は平均利用率 80% となり昨年度と同程度の利用率となりなかなか目標値に達することはできなかった。今後も地域のニーズを把握しながら、新たな病床利用に繋げられるよう取り組みたい。

- 3) 職場環境としては、4 人のスタッフで活動する中で昨年度は業務マニュアルを作成し、各自が横断的に業務に取り組めることを目指したが、余裕がない中でどうしても各自の業務が分担されてしまうことが多く、まだまだ課題である。コロナ禍で各自が趣味や旅行など余暇を楽しむ機会がなかったことも幸いしたが、来年度はぜひメリハリのある WLB となることを目指したい。

3. 総括

地域連携室は病院の中の 1 部署ではあるが、地域に一番近く地域の中の 1 部署とも言える。

今年度は、名称も地域連携室と改め入り口の表示も大きくした。また、「患者相談窓口」としてもアピールできるようポスターも作り替え表示した。環境だけでなく自分たちも相談に応じることができる知識を持つことはもちろんだが、患者・ご家族との関わりだけでなく地域の事業所との関わりの中で、相談したくなる、話を聞いてほしくなるような場となるよう、少ないスタッフではあるが協力し日々研鑽したい。

●看護部学会等研究発表状況

1. 療養病棟における退院指導の取り組み

- 西本明子 星合紀美子 逢坂ゆきみ 荒家千夏 岩崎美幸

●表彰

【第 26 回岐阜県国保地域医療学会】

1. 最優秀演題： 他職種チーム医療で変える周術期ケア

～ERAS 導入で患者もスタッフも楽になりました～

- 稲松絵美 小林洋子 大庭のりこ 逢坂ゆきみ 曾根恭子 松葉明美 黒木嘉人
日比野一輝 洞口拓也 古沢晃也 畑尻哲也

2. 優秀演題： 療養環境における不快な音の改善 ～患者・看護師の立場より～

- 曾根恭子 今井晴美 中野亜李紗 後藤弘子 岩崎美幸

3. 演題：大腸内視鏡検査を受ける患者の満足度向上への取り組み

～選ばれる病院をめざして～

- 谷村こずえ 徳田知香 植野優子 工藤 浩

●看護部研修会

【S-QUE オンデマンド研修】

開催日	講師	テーマ（内容）	受講者数
2021. 4. 5 ～ 5. 3	岡 秀昭氏	COVID-19 最新の診断治療	17 名
2021. 4. 19 ～5. 17	豊田 郁子氏	チームで取り組む医療安全対策シリーズ ～患者参加の医療安全	18 名
2021. 5. 6 ～ 6. 3	露木 菜緒氏	あらためて知識の確認をしよう！酸素療法	31 名
2021. 5. 17 ～ 6. 14	久間 朝子氏	最新呼吸療法のエッセンスシリーズ ～ハイフローセラピー（フロージェネレーター式ほか）	34 名
2021. 6. 7 ～ 7. 5	林 尚三氏	正しく理解しよう！バイタルサイン ～急変に気づくための観察	29 名
2021. 6. 21 ～ 7. 19	薬師寺泰匡氏	急変対応シリーズ ～知っておこう！薬剤が原因で起こる急変	24 名
2021. 7. 5 ～ 8. 2	有田 孝氏	心不全患者ではここに気をつけよう ～重症化させないための看護のポイント～	26 名
2021. 7. 19 ～ 8. 16	大島 一太氏	日常臨床で遭遇する症状から心電図を記録して正しく 判読するポイント伝授！	34 名
2021. 8. 10 ～ 9. 7	櫻本 秀明氏	実践につなげるための看護研究	20 名
2021. 8. 23 ～ 9. 20	大村 和也氏	より良い看護のための多職種連携	30 名
2021. 9. 6 ～10. 4	足立 好美氏	患者家族との信頼関係を築く接遇	24 名
2021. 9. 21 ～10. 19	藤野 智子氏	コロナ禍における外来看護とトリアージの基本	23 名
2021. 10. 4 ～11. 1	後藤 順一様	検査値を理解し看護に活かそう！	31 名
2021. 10. 18 ～11. 15	井上真一郎氏	「大人の発達障害」の患者さんへの看護ケア	21 名
2021. 11. 8 ～12. 6	渡邊 郁絵氏	脳卒中・運動器疾患領域の看護 ～ベッドサイドでできるリハビリテーション	18 名
2021. 11. 22 ～12. 20	三鬼 達人氏	嚥下のメカニズムと安全に食べられる介入のポイント	29 名
2021. 12. 6 ～2022. 1. 3	道又 元裕氏	専門職としての自己研鑽とは ～大人の学びを育てる	18 名

2021. 12. 20 ～2022. 1. 17	井上 康世氏	看護のためのコーチングスキル	20 名
2022. 1. 11 ～ 2. 8	春木ひかる氏	外来がん看護の充実に向けて ～外来化学療法と抗がん剤ばく露防止対策	16 名
2022. 1. 24 ～ 2. 21	鴨川 七恵氏	知りたい！！遺伝看護で関わるこれからのがん治療	14 名
2022. 2. 7 ～ 3. 7	武藤 教志氏	症状別フィジカルアセスメントを極めるシリーズ ～ メンタル・ステータス・イグザミネーション	17 名
2022. 2. 21 ～ 3. 21	塚原 大輔氏	患者の声にならない訴えを看るシリーズ ～急性期高齢者に必要なアセスメントの視点	29 名
2022. 3. 7 ～ 4. 4	南 敦司氏	認知症基本艇対応技術 カンファータブル・ケアのエッセンス	24 名
2022. 3. 22 ～ 4. 19	足立 智孝氏	多様性を踏まえた倫理的意思決定支援	9 名

【岐阜県看護協会研修】

開催日	参加者	テーマ（内容）	場所
2021. 6. 18	岩野 祐実 田口 純子	救急看護 症状に応じたファーストエイド（初級編）	WEB 開催
2021. 7. 7	下萩 亮太	呼吸のフィジカルイグザミネーション（初級編）	WEB 開催
2021. 7. 27	西本 明子 星合 紀美子	看護研究 進め方とまとめ方	WEB 開催
2021. 8. 5	小林 洋子 箕成 史恵	交渉を成功させるコミュニケーション	WEB 開催
2021. 8. 13	下萩 亮太	急変徴候を見逃していませんか？ フィジカルアセスメント研修	WEB 開催
2021. 8. 20	神田 敏子 谷村 こずえ	価値観の違うスタッフ、患者、家族とのコミュニケーション	WEB 開催
2021. 8. 25	今井 晴美	呼吸のアセスメント（中級編）	WEB 開催
2021. 8. 26	曾根 恭子 溝口 香津恵 坂腰 朋子	循環のアセスメント（中級編）	WEB 開催
2021. 8. 30 ～9. 15 (計 3 日間)	大坂 高子 荒家 千夏	看護職員認知症対応研修（リーダー研修）	WEB 開催
2021. 9. 16	下萩 亮太	救急看護 在宅・高齢者施設におけるファーストエイド	WEB 開催

2021. 9. 16	谷村 こずえ 植野 優子 下萩 亮太	救急看護 症状に応じたファーストエイド ＝病院向け・初級＝ 飛騨	WEB 開催
2021. 9. 24	小林 洋子 稲松 絵美 大庭 のりこ	特別講演 その人らしい生き方を支える医療・ケア	WEB 開催
2021. 9. 27	番 一枝	やってみよう！認知症ケア（在宅・高齢者施設向け）	WEB 開催
2021. 9. 28	山越 亜衣 坂口 友恵 西本 明子	看護実践に活かせるスキンケア（病院向け）	WEB 開催
2021. 10. 5	大門 みどり 星合 紀美子	意思決定支援 人生の最終段階にある人とのコミュニケーション	WEB 開催
2021. 10. 7	徳田 知香 山越 美佳 曾根 恭子	明日から活かそう！がん化学療法看護の実際	WEB 開催
2021. 10. 12	宮本 洋子 植野 優子 下方 幸子 清水 佳菜子	慢性腎臓病患者の看護 患者・家族と自信を持って話が出来る看護師になろう	WEB 開催
2021. 10. 15 ～12. 13 (計 6 日間)	中口 幸恵 大庭 のりこ 稲松 絵美 徳田 知香	退院支援担当者養成者研修	WEB 開催 ふれあい会館
2021. 10. 22	橋本 留美子 宮腰 結衣	看護職員認知症対応力向上研修	WEB 開催
2021. 10. 26 ～27	後藤 弘子 今井 晴美	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	WEB 開催
2021. 11. 4	小林 洋子 大庭 のりこ 大坂 高子 宮腰 結衣	慢性疾患患者の療養生活支援（循環器・呼吸器）	WEB 開催
2021. 11. 10	中口 幸恵 田口 純子	脳卒中患者の在宅での生活を目指して	WEB 開催
2021. 11. 11	谷村 こずえ 下方 幸子	エビデンスに基づいた感染予防策（病院向け）	WEB 開催
2021. 11. 17	南下 夏美	糖尿病患者看護 治療の最前線	WEB 開催
2021. 11. 22	岩野 祐実 稲松 絵美	周術期看護 チーム医療：患者に寄り添う看護師としての知識	WEB 開催
2021. 11. 25	植野 優子	在宅・高齢者施設での感染対策	WEB 開催
2021. 11. 26	荒井 仁美	医療安全研修 医療安全とコミュニケーション	WEB 開催

2021. 12. 2	山端 美奈子 下萩 亮太	摂食・嚥下障害患者の看護（病院向け・基礎編）	WEB 開催
2021. 12. 2	山端 美奈子 下萩 亮太	在宅・施設で療養する摂食・嚥下障害者の看護	WEB 開催
2021. 2. 24	中野 亜李紗	災害支援ナースフォローアップ研修	WEB 開催

【富山県看護協会研修】

開催日	参加者	テーマ（内容）	場所
2021. 9. 7 ～10. 13 (計 20 日間)	逢坂 ゆきみ	看護管理者研修 ファーストレベル	富山県看護協会

【看護必要度研修】

開催日	参加者	テーマ（内容）	場所
2021. 8. 1 ～ 8. 31	坂腰 朋子 南下 夏美 荒井 仁美 山端 美奈子	‘22「重症度・医療・看護必要度」評価者及び院内指導者研修	WEB 開催
2021. 1. 26 ～ 4. 25	箕成 史恵	2022 年度看護必要度ステップアップ研修 リーダーナース、主任、看護師長のための看護必要度を用いた日々の看護マネジメント	WEB 開催

【第 26 回岐阜県国保地域医療学会】

1) 最優秀演題： 他職種チーム医療で変える周術期ケア ～ERAS 導入で患者もスタッフも楽になりました～

○ 稲松絵美 小林洋子 大庭のりこ 逢坂ゆきみ 曾根恭子 松葉明美 黒木嘉人
日比野一輝 洞口拓也 古沢晃也 畑尻哲也

2) 優秀演題： 療養環境における不快な音の改善 ～患者・看護師の立場より～

○ 曾根恭子 今井晴美 中野亜李紗 後藤弘子 岩崎美幸

3) 演題：大腸内視鏡検査を受ける患者の満足度向上への取り組み ～選ばれる病院をめざして～

○ 谷村こずえ 徳田知香 植野優子 工藤 浩

看護部会看護研究発表

1) 療養病棟における退院指導の取り組み

○ 西本明子 星合紀美子 逢坂ゆきみ 荒家千夏 岩崎美幸

■病院管理室

●管理課

1. 医師の招聘

2021年度は、常勤医師が5名（うち2名は、自治医科大学卒業医師（岐阜県派遣）と富山大学総合診療部医師）と依然として基準医師数に達していないこともあり、引き続き岐阜県及び富山大学等へ医師派遣の働きかけを継続している。

「患者を断らない」救急医療体制を維持するために常勤医師は日夜献身的に従事しているが、医療法に定める医師定数が充足していない状況において、富山大学や高山赤十字病院などから外来診療や日当直業務に対し応援をいただいた。また、初期臨床研修医の地域医療研修受入では9病院から34名の研修医を受け入れ、延べ994日、常勤換算で2.7人相当が従事した。これらの外部医師に支えられて常勤医師の負担を軽減しつつ、原則として患者を断らない救急医療体制を維持することができた。

2019年から始まった国立成育医療研究センターの後期専攻医の受け入れも継続し、1名に対し延べ26日の実務研修を実施した。

2012年度から始まった富山大学地域医療支援学講座の学生地域医療実習、岐阜大学地域医療医学センターの医学部医学科地域配属実習についても引き続き受け入れを行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響により日程変更や、一部中止があったものの富山大学の医学生4名に延べ43日間の研修を行った。この事業を通じて積極的に学生教育に協力することで、大学から必要とされる病院としての存在感を高めていきたい。

2. 看護師、医療技術職の確保

看護師については、看護協会推奨のラダー教育と併せて院内独自の教育カリキュラムとして推進している『里山ナース院内認定制度』の第2段階『HYPER』コースを昨年度に引き続き開講した。新規採用職員を対象とした第1段階の『SUPER』コースも開講し、受講ポイント取得に必要な研修費用について、3万円/人を上限として支援した。

また、中部学院大学の看護学生実習において、4名の学生の受け入れを初めて行った。

看護師の確保に関しては、会計年度任用職員からの異動も含め、正規職員3名を採用したが年度中に2名の退職者があった。

医療技術職については、薬剤師1名が本年度末で定年退職となることから新規採用に向けた求人活動を行い10月1日付で1名を採用することができた。また、臨床工学技士1名、理学療法士1名、作業療法士1名を採用した。

3. 経営の健全化

病院の経営状況を職員が情報共有し把握できるよう毎月の代表者会議で報告を行っている。

4. 請求事務

レセプトの査定がより厳格化されているため、点検業務に時間を要することが増えている。また、週1回勤務の非常勤医師の診療が多いことから、病名やコメントの内容確認に手間取ることがあるが、業務手順の見直しや改善により時間外勤務時間は年々抑制傾向と

なっている。

5. 診療材料等の管理

院内 SPD システムのバーコード管理により、適正な在庫管理を実施し、期限切れや未使用品の減少に努めている。また、類似品の同一規格化についても、発注段階で確認するように改善している。さらに年に3回の棚卸し時には、各部署の SPD 委員にも協力してもらい取扱数量や不用在庫等がないかを確認し、コストの削減に努めた。

6. 未収金対策

未収金リストを整備し、督促記録、督促を定期的に行った。

また、未納者との入金日の約束、約束日前日の確認電話、入金日の訪問等の業務を行うことにより、継続して未収金の減少に努めている。さらには、未納者それぞれの生活や家庭環境に配慮し、必要に応じて分納を認めることで滞納金の回収に努めた。

7. 設備管理

院内設備の安全使用のための維持管理を委託業者に依頼して実施した。

定期的に設備の点検を実施し、故障前段階での異常発見に努めた。

8. 健診業務

協会けんぽの健診や事業所の健康診断を積極的に受託した。

9. 高山市との関係強化

当院の診療圏が、旧神岡町・旧上宝村であることから、高山市上宝支所長、上宝町および奥飛騨温泉郷の各町内会長へ当院の現状を報告し、病院経営についての理解を求めた。

10. 患者満足度調査

12月16日から24日までの9日間、患者・職員満足度調査を行い、入院患者45名、外来患者290名、職員113名から回答が得られた。外来患者へのアンケートは、今年度も飛騨市民病院を守る会役員の協力により実施された。寄せられた貴重な意見は、今後の病院運営に反映していきたい。

11. 交換研修制度

社会福祉法人神東会と飛騨市の間で令和2年度から交換研修が開始された。実務研修生は経験豊富で IT や DX に精通しており、院内業務におけるタブレット端末の導入など、IT 化を推進することができた。また、これまで専任職員を配置できていなかった研修医や学生の受け入れ業務の担当に付けたことで、「研修管理センター」を設置することができた。

総括

病院の管理運営の根幹を担う管理課においては、施設管理、受付・会計、保険請求、経理財務、労務管理等の多種多様な業務の効率化を常に考え、IT 化の推進等を積極的に進めている。

●2021（令和 3）年度決算の概況

1. 総括事項

1) 市民病院の状況

新型コロナウイルスの感染者が令和 2 年 1 月に国内で初めて確認されてから 1 年以上経過したが、感染拡大は収まる様子をみせず、令和 3 年度においても前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策に追われることとなった。

4 月以降、飛騨市における新型コロナウイルスの陽性者も少数ながら断続的に確認され、第 4 波の感染の波が間近に迫っていることが感じられる中、退院後の患者に由来する感染として 5 月 19 日に入院患者 1 名から陽性者が確認された。すぐさま、新規入院患者の受け入れを一時中断するとともに、病棟の消毒を行い、全入院患者及び関係する職員に対し感染症遺伝子検査（ID NOW）を複数回実施し経過を観察したところ、5 月 31 日までにさらに 4 名の入院患者の陽性が判明し、院内外で 9 名のクラスターに発展したが、院内の感染拡大防止に全力で取り組んだことで 6 月 15 日にはクラスターの終息宣言ができた。

以降も、国内の動向として第 5 波、第 6 波の感染拡大の波が押し寄せ、飛騨市内の感染者も増加傾向にあったが、この経験を踏まえて市民への啓発を含めた一層の予防対策、感染早期覚知の対応を継続したことで年度末の市内感染者は 180 人に留まった。

また、飛騨市の新型コロナワクチン接種は個別接種方式での実施となり、6 月以降通年の対応となったが、希望者に対し 3 回目までの接種がすみやかに終了できるよう努めた。

常勤医師は、年間を通じて 5 名体制（常勤医 3 名、自治医科大学卒業医師：岐阜県派遣 1 名、富山大学総合診療科派遣医師 1 名）であった。

非常勤医師は、富山大学附属病院や特定医療法人財団五省会西能病院の協力により 27 名の応援を得て 15 診療科の体制を維持したことで、高齢等の理由で遠距離通院ができない住民に専門医を受診する機会が提供できた。

初期臨床研修医の地域医療研修では、9 病院から 34 名を受け入れ、延べ 994 日、常勤換算で 2.7 人相当が実務研修に従事した。また、令和元年度から始まった国立成育医療研究センターの後期専攻医の受け入れも継続し、1 名が小児医療の実務研修を 26 日間実施した。研修医が救急対応や救急搬送への同行などを担うことで、外来診療停滞頻度が減少し、患者サービスの向上と「原則として患者を断らない」救急医療体制を維持しつつ常勤医師の負担軽減を図ることができた。さらには、富山大学附属病院や高山赤十字病院等から日当直医師の応援を得たことで、常勤医師の勤務負担が軽減された。

医療圏域における相互応援事業として、アナフィラキシーショックを起こす可能性のあるハイリスクな小児への食物負荷試験を実施するために、毎週水曜日の高山赤十字病院への小児科医師派遣を継続した。これにより、飛騨医療圏全体の小児医療の向上に大いに貢献できた。

医師確保対策において大学との関係性の構築はたいへん重要であるため、富山大学及び岐阜大学の医学科学生教育等にも積極的に協力した。平成 24 年度から取り組んでいる神通川プロジェクトとM2 地域配属実習は、当院が『大学から求められる病院』となることで将来的な医師の招聘につなげていく事業である。令和 3 年度は、新型コロナウイルスの感染状況による日程変更や中止があったものの、富山大学の医学生 6 名に延べ 30 日間、岐阜大学の医学生 4 名に延べ 43 日間の研修を実施した。この事業を継続していることで、学生研修受講者が研修医として当院を選択してくれるケースも増えており、将来の勤務医としての就職に期待が膨らんでいる。充実した研修内容に加えて、令和 2 年度に供用開始された研修医住宅が非常に好評で、研修希望者がますます増加する傾向にあり、調整に苦慮する状況となっている。

医学生の研修事業は、これまでに積み上げた実績が大学や参加学生からの高い評価に結びついており、富山大学総合診療科からの常勤医師派遣の継続に結びついていることは大きな成果といえ、今後も重点的に取り組むべき事業である。なお、神通川プロジェクト事業に対しては、岐阜県から地域医療確保事業費補助金として 2,720 千円の交付を受けている。

職員研修においては、令和元年度から実践している『里山ナース院内認定制度』の第 2 段階『HYPER』コースを昨年度に引き続き開講。また新規採用職員等を対象とした第 1 段階の『SUPER』コースも開講し、受講ポイント取得に必要な研修費用について 3 万円／人を上限として支援した。

収益面においては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛等が受診控えという形で影響し、収益を大きく落とした昨年度と比較して、入院収益、外来収益とも一昨年水準に戻りつつあった。入院患者数が前年度比で 627 人増加し収益で 82,240 千円の増、外来患者数は 2,740 人の増加により収益で 21,675 千円の増となっており、入院、外来収益を合わせて前年度比で 103,915 千円の増収となった。また、入院収益においては、令和 3 年 2 月 1 日に病床転換により一般病床 8 床を地域包括ケア病床に転換したことにより、1 人 1 日平均の入院費用も前年度比で 3,045 円増加し収益率が上がっていることが伺える。

加えて、午後の一般診療と並行して通年で新型コロナワクチン接種の体制を整え、1 回目から 3 回目までのワクチン接種に対応したことと、飛騨市事業としての無症状者対象の感染症遺伝子検査(ID NOW)の実施、さらには無症状感染者による感染拡大を未然に防ぐための抗原迅速検査を実施する『まちなか検査センター』の古川会場及び神岡会場を飛騨市と共同で開設したことで、公衆衛生活動収益において前年度比 21,575 千円、受託検査施設利用収益で 10,069 千円の増収となった。

費用面では主なものとして、診療材料費において新型コロナウイルスの検査材料の購入等により 23,509 千円の増、燃料費において重油、LP ガスの価格高騰により 3,848 千円の増となり、結果として、事業費用全体で 25,334 千円の増となっている。

収支では、新型コロナウイルス感染防止対策事業に関する収入が功を奏し、30,859 千円の当年度純利益が計上でき、悲願の単年度黒字化が実現した。しかしながら、今後、新型コロナウイルス感染防止対策事業関係の収入が大幅に減少することを考える

と、経営状況は依然厳しいことには変わりはない。

(イ) 介護医療院たかはらの状況

令和元年 10 月から社会福祉法人神東会の指定管理となっている介護医療院たかはらについては、指定管理の基本協定に基づく市側の収支分のみが決算に計上されている。

この結果、令和 3 年度の決算状況は次のとおりである。

市民病院	当年度未処理欠損金 713,369,627 円（繰越欠損金 744,228,798 円、 当年度純利益 30,859,171 円）
たかはら	当年度未処分利益剰余金 248,917,458 円（繰越利益剰余金 266,150,890 円、 当年度純損失 17,233,432 円）
事業全体	当年度未処理欠損 464,452,169 円（繰越欠損 478,077,908 円、 当年度純利益 13,625,739 円）

施設の健全な運営には常勤職員の安定的な雇用が不可欠であるが、全国的な労働者不足を背景に、地域医療の担い手となる医療・介護人材の確保が極めて困難な状況は年々深刻さを増している状況である。人材確保については、地域包括ケア課と連携して、施策の充実やあらたな手法の検討等、様々な角度から取り組みの強化を行っていききたい。また、引き続き経営の効率化に取り組み、市民に信頼される安全・安心な医療サービスの継続に努力したい。

■院内委員会

●緩和ケアチーム

1. 活動目標

(今年度はエンゼルケアとカンファレンスのあり方に力を入れていきたい)

- 1) 症状緩和や対応に必要な患者さん・ご家族に対し迅速かつ適切な対応ができる。
- 2) 緩和ケアに関するスタッフ間でのスムーズな情報共有を行う。
- 3) 家族ケアを含めた尊厳を重要視したエンゼルケアの浸透。

2. 具体的な実施内容

- 1) 毎月第1火曜日に委員会の開催
- 2) 毎週火曜日 12:50 より、緩和ケアチームカンファレンスの開催
- 3) 毎週金曜日の総カンファレンス時に対象患者さんのカンファレンスの実施
- 4) 緩和ケア新聞の発行 (9 月、2 月)
- 5) グリーフケアとしてお悔やみのハガキを送付 (緩和ケア対象とした方のご遺族に対して忌明け後に送付する)
- 6) 家族ケアとして「これからの過ごし方」パンフレットを活用
- 7) ランチョンセミナーの開催 (12 月 1 日 12 月 8 日)
 - ・「がん患者の抑うつ状態・うつ病の基礎知識」
 - ・「終末期患者に「死にたい」と言われたら
- 8) 飛騨緩和医療ネットワーク (久美愛厚生病院で開催) 新型コロナウイルス感染症のため ZOOM 開催された。

3. 総括

緩和ケアチームカンファレンスは毎週火曜日 12:50 から開催している。病棟緩和委員が対象患者について、受け持ち看護師や日勤者からタイムリーな情報がないか確認し多職種による検討が行えるよう情報収集に務め、患者の症状緩和につながるよう活動している。

「緩和ケア新聞」は、飛騨市、上宝町の住民対象に発行し、飛騨市全域の公共施設へ配布し住民への回覧も継続して行っている。また過去の新聞を当院のホームページにて回覧できるようアップロードを行った。市民の方にいざという時の「緩和ケア」を知ってもらえるよう情報提供に務めた。

グリーフケアが目的の「お悔やみハガキ」の送付は、2014 年 4 月から開始し、亡くなった時点で登録し、忌明け後に送付している。ご家族からは入院時の思い出のエピソードなど個別の言葉が嬉しかったとコメントを頂いている。

飛騨市緩和医療ネットワークは久美愛厚生病院が中心となり、飛騨地区の医療機関が協力し、高山赤十字、久美愛厚生病院、飛騨市民病院等での事例の提供を行い検討して緩和ケアについて、今年度は ZOOM によるネットワークに参加し学びを深めている。

緩和ケアについて病院内でも知識の向上を深めようと、ランチョンセミナーを開催して緩和ケア委員以外の職員に参加してもらえるよう働きかけ、2 日間で 30 名の職員が参

加しており、これからも緩和ケアや患者さんへの関わり方など、研修方法についても考えていきたい。適切なケア介入のため、STAS-J（日本語版）の入力をおこない、9項目から他者評価を行って緩和ケアの成果と質の高さを客観的に明らかにしている。

一般病棟の取り組みは 緩和ケア対象者に対して STAS-J にて評価後カンファレンスシートに問題点を挙げてカンファレンスにて話し合い、ケアの充実を図れるように検討している。

療養病棟では、STAS-J（日本語版）を入力し、その結果をカンファレンスシートに入力し問題点を明らかにして看護介入に活かしている。死後退院後、想起シートの記入を行いまとめ、病棟内に掲示しスタッフへ情報共有を行っている。

金曜日の総カンファレンスでは、さらに多くの多職種のスタッフが情報共有できる場である。また火曜日と金曜日のカンファレンスでは、デスカンファレンスを行い、患者さんとの関わりを振り返りを行っている。

●栄養サポートチーム（NST）

1. 目標

- 1) 栄養管理：NST 加算を継続し低栄養患者に対し多角的アプローチを行う
- 2) 摂食嚥下：完全側臥位法の新入職員研修を継続、院内外への普及活動に努める
完全側臥位法の診断・治療を確立する
- 3) 褥瘡管理：院内発生時の症例を検討し対策をまとめる
スキンケアの現状をまとめ、予防と処置を強化する
- 4) 在宅部門：病院と在宅の連携を図る

2. 活動内容

毎週月曜日 褥瘡回診
毎週火曜日 歯科衛生士回診
毎週木曜日 摂食嚥下回診・カンファレンス、褥瘡回診、栄養カンファレンス(2病棟)
毎週金曜日 栄養回診・カンファレンス(1病棟)
第2火曜日 NST 委員会、歯科医師回診

3. NST 勉強会の開催

第1回 NST 勉強会 5月12日（水）
『新入職員対象の完全側臥位法研修』 参加者 新入職員2名
演者：工藤医師
第2回 NST 勉強会 5月19日（水）
『栄養療法と栄養補助食品の特徴と使い方』 看護部会勉強会
演者：日比野管理栄養士
第3回 NST 勉強会 7月3日、11日、30日
『リハ栄養フォーラム2021 オンデマンド研修』 参加者 30名
第4回 NST 勉強会 12月4日（土）

褥瘡研修会 in 飛騨高山～コロナ禍でも職種間の壁を越えて繋がろう～ ライブ配信
事例検討「困っていませんか？地域で褥瘡患者を見守っていくには・・・」

座長：工藤医師

第5回 NST 勉強会 3月24日（木）

『第1回飛騨市民病院 NST 摂食・嚥下研修会

～完全側臥位法で切り開くこれからの嚥下障害診療～』

参加者 ZOOMにて参加者200名以上

演者：工藤医師

4. 嚥下内視鏡検査（VE）実施件数

2021年4月1日～2022年3月31日 97件（前年度87件）

嚥下造影検査（VF）実施件数

2021年4月1日～2022年3月31日 3件

5. 第26回岐阜県国保地域医療学会 2021年11月13日～21日

「腰椎圧迫骨折患者における完全側臥位法の有用性」

発表者：新家理学療法士

6. 目標の達成状況、成果と統括

- 1) 栄養管理：低栄養患者に対し多角的アプローチを実施するために、入院患者には栄養評価ツールの GNRI(Geriatric Nutritional Risk Index)を採用しリスク評価を行うとともに、ALB3.0g/dlを基準値とした低栄養患者をピックアップし栄養カンファレンス・回診を実施している。

カンファレンスでは、食事内容の検討やチームで取り組む SMART なゴールを設定し評価介入、食事内容の検討では患者一人一人に合った食形態の検討や、エネルギー・タンパク質を確保できるように栄養補助食品を追加し栄養改善を目指した。またリハビリテーション中の患者に対しては、リハ栄養を考慮した BCAA 飲料の開始時期の検討も行っている。

2018年7月より1病棟において栄養サポートチーム加算の算定をしており、今年度の実施件数は537件であり、うち加算要件は297件、実施回数は42回であった。来年度からは算定要件が満たせなくなるため、カンファレンスの内容を変更する等の在り方を検討しつつ介入を継続していく。

- 2) 摂食嚥下：2021年8月より嚥下精査強化入院を開始し患者数7名であった。チームで嚥下機能改善を目指し臨床パスを作成、2週間の入院期間で原因を精査し個々の状態に合わせたリハビリメニューを作成し、退院後も続けられる様に声かけしながら積極的にすすめた。また、食事姿勢や食形態を決定、退院前にご本人・ご家族とのカンファレンスを行い在宅へ繋げられるよう支援している。

中周波電流で喉の感覚を活性化させる目的で、干渉電流型低周波治療器(ジェントルスティム)を採用しチーム内で説明・勉強会を開催、リハビリ時に積極的に活用している。

完全側臥位法の普及活動として摂食嚥下支援マップに登録、完全側臥位法について院内モニターや youtube にアップし病院ホームページへ掲載している。

- 3) 褥瘡管理：褥瘡回診では DESIGN-R2020 による評価を行い、処置方法の評価・検討を継続している。今年度の褥瘡回診患者数は 29 名で院内発生率は 1.01%であった。

入院患者の高齢化に伴い、脆弱な皮膚への対応は必須となっており、保温ケアなど予防のための対策もマニュアルにまとめ統一した。またスモールチェンジ法の講習を行い取り入れている。医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) 予防にビトロードの変更やココロールを採用し看護部会において使用方法を伝達した。今後もスキンケアの現状を把握しながら予防と処置を強化していく。

- 4) 在宅部門：今年度は 2 名の患者が嚥下精査強化リハビリ入院後に訪問リハで継続して運動機能、完全側臥位摂取の確認や嚥下機能について評価介入している。また訪問リハ患者 1 名の仙骨部褥瘡治療で工藤外来を受診し治癒となった。今年度は開催されなかったが「いきいき健康教室」において管理栄養士と理学療法士で参加し栄養や嚥下について説明、講演をさせて頂いている。今後も訪問リハ利用者の摂食嚥下障害への取り組みに加え、地域の老嚥予防や褥瘡予防という観点からも取り組んでいく。

今年度は工藤医師による第 1 回飛騨市民病院 NST 摂食・嚥下研修会 ～完全側臥位法で切り開くこれからの嚥下障害診療～ZOOM ウェビナー研修にて全国から 200 名以上の参加があり、完全側臥位法への関心の高さを感じた。アンケートなどで得られた多くのご意見を参考に今後も進めていきたい。また来年度以降は嚥下精査強化リハビリ入院を積極的に取り入れ、地域包括ケア病床の利用に繋げ、安全な食への支援、口から食べたいという思いを大切にチームで取り組んでいく。

●ICLS 研修チーム

1. 目的

当チームは、突然の心停止に対して医療従事者として適切な対処方法を身につけることを目的とする。

2. 事業

当チームは、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- ① 院内 ICLS 研修会の実施
- ② 飛騨市民病院 ICLS さるぼぼコースの企画・運営
- ③ 消防署との救急合同勉強会
- ④ その他関連する業務

院内救急マニュアル作成：それに基づき院内研修実施

院内救急勉強会開催：

●里山ナース SUPER(1st)対象：8/1(5名) 指導者(岩野・新家・宮腰・牛丸)

●BLS 研修会(30 分 3 回コース)：11/10(2名)・11/24(2名)・12/8(2名) 修了者：2 名
指導者(岩野・新家・宮腰・牛丸)

- たかはら職員対象救急勉強会：2/18・2/25 委員会より各4名指導者(岩野・新家・宮腰・牛丸)として参加
- ICLS さるぼぼコース：11/13 神岡町ふれあいセンターにて開催
委員会より1名インストラクター(新家)参加。当院より3名受講
消防署病院救急合同勉強会開催：準備等

消防署病院救急合同勉強会内容

回数	開催日	講 師	テーマ (内 容)
第93回	2021. 5. 26	研修医 池田 廉	著明な〇〇をきたした吐血の一例
		神岡消防署 南 康輔	外因性L&G事案の病院選定
第94回	2021. 7. 28	研修医 益永 拓也	腹痛症例-非閉塞性腸管虚血の1部検例-
		神岡消防署 大門 英喜	山間地域におけるドクターヘリとの連携
第95回	2021. 9. 22	研修医 佐竹 勇哉	低血糖と救急対応
		上宝分署 久保 貴司	新型コロナウイルス感染症蔓延時における高山市消防本部の現状とCPA対応について
第96回	2021. 11. 24	研修医 植月三咲子	低体温
		神岡消防署 築山 真悟	緊急消防援助隊
第97回	2022. 1. 26	研修医 井城敬一郎	脳梗塞の病歴聴取
		上宝分署 今見 洋一	間質性肺炎に対する酸素投与について
第98回	2022. 3. 23	総合診療科 草壁 駿輝	一過性意識障害
		神岡消防署 栗田 茂太郎	最終診断結果からの考察

3. 総括

今年度も、突然の心停止に対し医療従事者として適切な対処方法を身につけさらに定着するよう院内救急勉強会(BLS)の開催が行えた。また、感染対策徹底した上でICLS さるぼぼコースの開催ができた。飛騨地域各施設より多くの方の参加があり、いろいろな方の指導方法など勉強する良い機会にもなった。院内では院内救急勉強会の開催が行えたが、今年度はBLS研修会のみとなってしまったので次年度は高度シミュレーターを購入したので除細動器研修会の開催も継続的に行っていききたい。

●システム管理委員会

1. 活動目標

院内システムのスムーズな導入及び院内問題の解消

2. 活動内容

電子カルテのバージョンアップ版の導入を行うにあたりシステムの概要を把握し、委員を中心に導入した。

3. 今後の課題

次回の電子カルテの導入にあたっては、病院の規模等を考慮に入れたものを新規に導入する必要がある。

●診療録管理委員会兼 DPC コーディング委員会

1. 活動内容

- 1) 診療録管理のための業務分析及び作業手順に関すること
- 2) 診療録管理運営に関すること
- 3) DPC の適切なコーディングに関すること
- 4) その他診療録及び DPC コーディングに関すること

2. 活動実績

- 月に1回開催した。(年12回)
- 入力方法の統一を図るよう一層の周知を行った。
- 記録及び検査データ等の保管管理、整理を充実させた。
- 各部署にあるカルテ、書類及び検査データの保管義務、破棄等を議論し、紙媒体での保管を必要としない物については、各部署で破棄した。
- 退院サマリーの作成を医師に促した。
- DPC の適切なコーディング等についての確認を行った。

3. 総括

病名の整理や、診療録の整理に対する職員の意識がまだまだ低いため、病院全体として取り組んでいかなければならない。

職員一人ひとりが、診療録の重要性を理解し上手く運用していけるよう、少しずつではあるが、各委員を通して意識改革を行っていかねばならないと考える。

●リスクマネジメント・透析機器安全管理委員会

◆リスクマネジメント

1. 活動目標

- 1) レポート提出促進
- 2) 事故レベル Lv3-b 以上ゼロ
- 3) 研修会への参加

2. 成果

- ヒヤリ・ハット報告（承認）：184 件
- Lv3-b 3 件、Lv4-a 以上 0 件

- 毎月1回委員会を開催し報告事案の検証、対策を検討
- 今年度はコロナ禍のため院内研修会は各自動画鑑賞とした
第1回 110名視聴 第2回 107名視聴
- ヒヤリ・ハット事案の回覧を紙ベースから Comedix での確認に変更した

3. 総括

- 医療事故発生ゼロを目標に、今後もインシデントレポートの報告を求め再発予防策の周知徹底を勧めていく
- 医療安全研修会を年2回開催する

発生部署別 事故レベル一覧表

2021.4.1～2022.3.31

	Lv 0	Lv 1	Lv 2	Lv3-a	Lv3-b	Lv4-a	Lv4-b	Lv 5	合計
医局	0	2	0	0	0	0	0	0	2
病棟Ⅰ（一般）	9	47	34	11	3	0	0	0	104
病棟Ⅱ（療養）	4	18	5	5	0	0	0	0	32
外来・救急室	2	9	0	0	0	0	0	0	11
手術・中材・内視鏡	0	1	0	0	0	0	0	0	1
透析室	1	1	0	1	0	0	0	0	3
薬剤科	0	2	1	0	0	0	0	0	3
検査科	0	2	0	0	0	0	0	0	2
放射線科	2	4	2	0	0	0	0	0	8
リハビリテーション科	2	3	0	2	0	0	0	0	7
栄養科	2	2	0	0	0	0	0	0	4
医療連携室	3	2	0	0	0	0	0	0	5
管理課	0	1	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	25	95	42	19	3	0	0	0	184

事故レベル	
Lv 0	患者に実施されなかったが、何らかの被害が予測される。
Lv 1	患者には実施されたが、実害はなかった。
Lv 2	障害は一過性で軽度、治療や処置は行わなかった。 (バイタルサインの軽度な変化、観察の強化・安全確認のための検査が必要)
Lv 3-a	障害は一過性で軽度だが、簡単な治療や処置が必要。 (消毒・湿布・皮膚の縫合・鎮痛薬投与など)
Lv 3-b	濃厚な治療や処置が必要。 (バイタルサインの高度な変化・骨折、人工呼吸器装着・手術など)
Lv 4-a	永続的な障害や後遺症は残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
Lv 4-b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う。
Lv 5	死亡

月別発生件数及び発生原因一覧

発生年月	件数
2021 年 4 月	19
2021 年 5 月	19
2021 年 6 月	13
2021 年 7 月	23
2021 年 8 月	15
2021 年 9 月	19
2021 年 10 月	19
2021 年 11 月	14
2021 年 12 月	12
2022 年 1 月	8
2022 年 2 月	16
2022 年 3 月	7
合計	184

概要	件数
薬剤	32
輸血	0
治療・処置	13
医療機器・材料	4
ドレーン・チューブ	19
検査	10
療養上の世話	85
栄養・給食	7
事務・その他	20

◆透析機器安全管理委員会

2021 年度透析液水質管理計画に基づき、測定実施。

特に問題なし

●院内感染委員会

1. 活動目標

院内感染の予防及び院内感染が明らかになった場合の的確な対応を行う。

2. 活動内容と結果

1) 月 1 回の定例会議

- ① 抗生剤の使用状況の確認
- ② 感染情報報告の確認
- ③ サーベイランス報告
- ④ ICT ラウンドの報告
- ⑤ その他

2) 職員の研修

- ①令和 3 年度 第 1 回院内感染防止対策加算算定施設合同カンファレンス（全職員）
期間 : 2021 年 7 月 7 日～7 月 21 日

内容 : 「新型コロナウイルス第4波を乗り切る感染 Up Date」
講師 : 中林第2診療部長
(ICD: インфекションコントロールドクター)
方法 : YouTube で個人聴講しアンケート実施
参加合計 96 名 (85%)

②令和3年度 第2回院内感染防止対策研修会 (全職員)

期間 : 2021年1月25日～2月10日
内容 : 「オミクロン株の特徴と対策
～最新の検知を踏まえて今まで通りの対策を～」
講師 : 中林第2診療部長
(ICD: インфекションコントロールドクター)
方法 : YouTube で個人聴講しアンケート実施
参加合計 97 名 (86%)

③院内自由参加感染研修会

日時 : 2021年7月15日
内容 : 「CDについて詳しく知ろう！」
講義後事例についてグループワークで「なぜ、なぜ分析」を実施
場所 : リハビリ室
主催 : 看護部会 (感染ワーキンググループ)

3. 感染発生状況の報告

感染情報レポートを週1回病院 Comedix (院内グループウェア) に掲載して病院職員に周知した。

4. 感染症発生時の対応

1) 新型コロナウイルス感染症

2020年1月より新型コロナウイルス感染症防止対策について早期より検討を重ね、院内マニュアルを作成した。2020年2月にはコアメンバーにて臨時会議を開催し、2022年3月までに38回の会議を重ねながら日々変化する状況への対応策を講じてきた。発熱患者受け入れや、検査対応シミュレーションの実施、看護師で結成しているワーキンググループによるPPEの着脱訓練の開催、後方支援ベッドの個室整備や受け入れマニュアル作成を行ってきた。

2021年5月19日入院患者1名より新型コロナウイルス感染陽性患者が発生した。一時新規入院と退院を止めて、入院患者とスタッフのPCR検査を繰り返し行ないつつ徹底した感染予防対策を講じて、最終的には5月31日に5名目の患者発生を最後にそれ以降は陽性患者が発生しなかった。クラスターの指定を県からは受けたが、幸いスタッフからの陽性患者発生はゼロであった。

2) インフルエンザ対策

2021年11月22日～26日 13:00～14:00 外来看護師・手術室看護師・地域連携室看護師は外来にて実施し、その他の職員は期間中2階面談室を利用し1病棟、2病棟師長、看護部長、研修医で実施対応した。食事介助ボランティア対象者にも予防接種を実施してもらった。今年度のインフルエンザ罹患者は極めて少なく、職員の予防投与対象者はゼロであった。

5. 感染管理加算2の取得による感染防止加算地域連携調整会議（ICT 合同カンファレンス）参加

参加者：医師（中林）・薬剤師（畑尻）・検査技師（中桐）・看護師（岩崎）

久美愛厚生病院（加算1）、須田病院（加算2）、飛騨市民病院（加算2）の3病院で連携し、合同カンファレンスに参加した。

● 感染防止対策加算算定施設合同カンファレンス（岐阜県全体）

第1回 2021年6月12日 14:00～16:00

開催方法 Web 開催（ライブ）

主催 岐阜県院内感染対策検討会 事務局

内容（1）感染防止対策加算算定病院共通サーベイランス

データフィードバック

（2）COVID-19 対策について（クラスター対策）

（3）サーベイランスデータ収集に関する J-SHIPE への移行について

第2回 2021年11月30日（火）13:00～16:00

開催方法 Web 開催（ライブ）

メイン（ホスト）会場： 岐阜大学医学部記念会館

主催：岐阜県・一般社団法人岐阜県病院協会

内容（1）感染防止対策加算算定病院共通サーベイランス

データフィードバック

（2）J-SHIPE によるデータ収集に関する課題および今後の展望

（3）COVID-19 クラスター要因と今後の感染対策の展望

● 3病院合同連携カンファレンス会議

久美愛厚生病院（加算1）、須田病院（加算2）、飛騨市民病院（加算2）

各病院 4職種 合計12名が参加

第1回 2021年 8月 6日 18:00～18:45 場所 飛騨市民病院 3階会議室

第2回 2021年11月30日 14:00～16:00 各施設 ZOOM にて参加

第3回 2022年 2月 25日 17:30～18:30 各施設 ZOOM にて参加

6. ICT 院内ラウンド

2012年7月から開始したICT院内ラウンドは4職種5名が声を掛け合い実施できているが、最低2職種2名以上でラウンドを行っている。検討事項は、感染委員会で議題として出し協議した結果を各部署長から各スタッフに伝達を行っている。ラウンド時のチェック項目については、見直しを行い実施している。

7. 速乾性手指消毒

新型コロナウイルス感染症が世界的に大きな問題となり、職員ひとり一人の危機意識が高まった事で、手洗いや手指消毒の遵守に繋がっている。今後も個々の意識向上のための正しい手洗い方法、手指消毒の重要性についてICTラウンドでも啓蒙活動が続けていきたい。

8. JANIS 参加と J-SIPHE への加入

2014年1月から開始し継続しているが、2015年世界保健機関（WHO）総会にて薬剤体制（AMR）に関するグローバルアクションプランが採択され2016年日本政府としてADR対策アクションプランが策定された。岐阜県内全体でも医療機関でのAMR対策に活用できるシステムJ-SIPHEへの加入の呼び掛けがあり、当院でも2021年2月から継続しデータ入力を行っている。今後は他施設と比較し有効にデータ活用ができると良いと考える。

9. 総括

今年度もインフルエンザの流行は無かったが、新型コロナウイルス感染症は引き続き世界的な問題となっており、未だ収束の兆しは見られない。感染防止対策については、基本的な標準予防策の徹底への働きかけを行ってきた。他の感染症では、C・ディフィシルの院内発生は散見されたが、ノロウイルスなどその他の感染症に対するアウトブレイクは無く、スタッフの標準予防策の徹底の効果であると考えられる。来期もICTで適時適切にカンファレンスを行いながら、基本対策の重要性を再確認し院内感染対策のさらなる充実に努めたい。

●輸血療法委員会

1. 活動目標

安全かつ、適正な輸血療法の推進に努める。

2. 成果・総括

必要に応じて、輸血療法に関する問題や血液製剤の適正使用等について個別に審議した。輸血に伴う事故や副作用、感染及び合併症は発生していない。

使用した血液製剤は照射赤血球液のみであった。

患者数はやや増加、輸血件数及び使用量は前年度とほぼ同等であった。

交差適合試験陽性、直接Coombs試験陽性で1件4単位の血液製剤が使用中止（内2単位は別の患者に転用）、廃棄された。

1件2単位の血液製剤が発注後に使用されず廃棄された。

2022.03月に電子カルテの輸血プログラムより、輸血後副作用の入力を開始した。

年間使用状況

照射赤血球液（Ir-RBC-LR）

件数：77件

単位数：154単位

患者数：36名

●広報・ホームページ委員会

1. 目標

- 1) 当院基本理念のもと、地域に愛され、地域に開かれた病院づくりを目指して、飛騨市全体や旧上宝村住民に当院の在り方や活動、取り組み状況を広く周知する
- 2) 地域住民に少しでも有益な情報を積極的に提供し、利便性を向上させるとともに、住民の健康づくり、病気予防を促すための情報発信を行う

2. 活動内容・成果

- 飛騨市民病院公式ホームページの随時更新
外来診療の案内や、その他お知らせなどを随時更新した。
- 看護師募集パンフレットの更新
使用されている数値・写真を新しい物に更新した。
- 飛騨市民病院公式 Facebook の随時更新
病院での取り組みやお知らせなどの情報を随時更新した。
- 感染症対策に係る情報の発信
公式 HP・Facebook を利用し市民に向けて感染対策の情報を発信した。
- 院内情報システムの活用
患者さんや来院者に待ち時間を少しでも快適に過ごしていただくため、1階の外来待合室や会計、廊下にモニターを設置し、さまざまなコンテンツやニュース、生活の豆知識などを放映した。

3. 総括

ホームページについては、今後委員会や取り組みについてのページを作成し、市民やその他医療機関・学生がより当院について知ってもらえるよう、コンテンツの充実をさせていく。

院内情報システムを活用した待合室などでの放映に、新たに当院 NST チームやリハビリスタッフが作成した映像を放映した。今後も職員が主体となった情報発信について取り組んでいく。

病院全体のパンフレットも更新されていないため、来年度より病院パンフレットの更新に着手する。

そして、目標とする「地域に愛され、地域に開かれた病院づくり」を目指すため、ホー

ムページ、病院パンフレット、これらすべてを効果的に活用するとともに、一方的な情報提供だけに留まらず、市民が何を必要としているかを的確に捉え、広報活動として、より一層の充実を図っていく。

●サービス委員会

年度目標

昨年度に引き続き、『患者様に心地よく検査や診療をうけてもらえるような環境・サービスを提供する』と定め、活動を開始。

サービス向上のための取り組み

- 1) 2021 年度から院内に設置しているご意見箱を撤去し、郵便ハガキを投函していただくよう変更した。入院患者へは入院案内と一緒に配布し、外来来院患者へは院内にハガキ置き場を設置することとした。いただいたご意見については、院内での運営会議に諮った後、代表者会議にて情報共有し、患者対応に役立てている。貴重なご意見を真摯に受け止め、更なるサービス向上に努めていく。
- 2) 神岡新聞販売組合で企画された『飛驒市民病院へありがとうの花を咲かせよう』では、地域住民の方が書いてくださった桜の花びら型のメッセージカードを貼り付け満開となった『ありがとうの一本桜』をいただいた。心のこもったたくさんのメッセージを読み、病院スタッフからも「ありがとう」のお返しができないかと考え、委員会で風船や鳥、クローバー型のメッセージカードをとりまとめた。医局も含め各部署 20 枚あまりのカードを掲示することができた。
- 3) 『飛驒市民病院を守る会』の協力を得て 12 月に患者満足度調査を実施した。
- 4) 毎年 12 月に開催されている高山室内合奏団のクリスマスファミリーコンサートについては新型コロナウイルス感染を考慮し中止となった。

●SPD委員会

1. 目標

院内で大量に消費されるディスプレイの診療材料について、使用量を把握し、適正な物品購入を行う。また、使用状況に合わせた管理定数の見直しを随時行い、不良在庫を一掃することにより経費節減に努める。

2. 活動内容

- ・各部署において、使用時のシール貼付を徹底する。
- ・使用状況に合わせた管理定数の見直しを随時行い、不良在庫を一掃する。
- ・定期的に棚卸しを行い、在庫の適正管理を行う。

3. 総括

病院改革プランにおけるアクションプランにもあったが、院内 SPD から院外 SPD に切り替えた方が良いとの課題があった。

近隣で院外 SPD を導入しているのは、富山大学附属病院、富山市民病院、高山赤十字病院、久美愛厚生病院であり、巨大病院における院外 SPD はそれなりにメリットがあると考えられる。また、合わせて院外 SPD 導入のメリットを享受できるのは、数百床の病床を有していることや数億から数十億の取引がある場合である。

当院においては、院外 SPD を導入することで、確かに今以上の物品・物流管理、材料費の抑制については期待できるが、その反面、導入費用や SPD 業者への委託費がかさむことにつながり、本来の目的ではないと考えられる。

現在の院内 SPD においては、診療材料費の購入額をみると、令和 2 年度は 43,317 万円、令和 3 年度は 44,244 千円となり、約 2% の増額となっている。この背景には、昨年度から続く新型コロナウイルス発生に伴い手袋やマスクといった材料費が高止まりしていること、さらに 5 月から約 1 ヶ月の間、院内でのクラスター発生に伴い通常以上の使用があったことに要因がある。しかし、院内 SPD 導入による在庫の適正管理に対する職員の意識は変わってきている。

今後にも必要に応じた定数管理や在庫チェック、不良在庫・不良品を一掃し、経費削減に努めていくとともに、随意契約物品を可能な限り単価契約（見積入札）にし、共同購入やベンチマークシステムについても導入可能か検討していきたい。

●医療ガス・医療廃棄物委員会

1. 活動目標

- 1) 医療ガスの管理に関する設備点検
- 2) 医療廃棄物に関する管理

2. 活動報告

1) 医療ガス

- 院内酸素残量の点検（毎日）
- 業者による保守点検

医療ガス設備

前期点検：2021 年 9 月 30 日～10 月 2 日（機能点検）

後期点検：2022 年 3 月 26 日（外観点検）

液化酸素製造施設（CE のみ用）

前期点検：2021 年 4 月 27 日

後期点検：2021 年 9 月 15 日

- 医療ガス等に関する外部研修会

岐阜県高圧ガス安全協会 保安講習会（岐阜市）：中止

2) 医療廃棄物

- 産業廃棄物管理表（統一マニフェスト）の確認（随時）
- 医療廃棄物保管庫の管理

3. 総括

令和3年度医療ガス・医療廃棄物に関する管理及び点検については問題なく実施できた。

医療ガス設備については老朽化が進んでおり、設備一式の更新が必要である。また、委員会の主催による医療ガスに関する研修会の開催について計画していきたい。

●衛生委員会

1. 活動目標

1) 基本方針と年度目標、年間計画を高山労働基準監督署に報告

- ①基本方針：地域に密着した医療を提供する市民病院となるためには、職員がいきいきと健康で働ける職場でなければならない。また、職員が不安なく安定して生活を送ることができるためにも安全衛生対策を講ずるものとする。

基本方針『職員がいきいきと健康で働ける職場づくり』

- ②年度目標：職業性疾病 0 件 労災事故 0 件

2. 活動成果

労働基準監督署の勧告に沿って毎月第3火曜日を委員会開催日とし、第2週又は第3週に行う職場巡視の結果を協議してきた。また昨年同様、働き方改革について学習を継続し、パソコン使用時の個人情報の取り扱い管理に関して周知した。

巡視結果に対応策・対処結果を掲載し各部署へ部署回覧として知らせている。その結果により各々改善・対応している。

1) 改善事項

①環境対策として

- ・災害対策については、飛騨市全域における対応が検討されており、市役所内に検討委員会が設置され、病院からも参加し協議が進められている。
- ・地震による転落防止対応として、棚の上に物を置かないなど各職場へ指示。
- ・ナースステーションの椅子など古い備品の更新が必要。
床の改修やフロア環境の改善など、各々の部署で気のついた所から改善している。
- ・各々工夫し独自に対策を講じている科もある。

②健康管理対応として

健康管理は自己管理が一番大事である。腰痛対策に注意し業務に取り組むように注意喚起をし、ワークライフバランス実現のため時間外労働の縮小と有給休暇の取得の推進を行ってきた。ストレスについては本人が気付かない変化があることを周知し、職員同

士で声を掛け合う等、職員全員が職員の健康管理を行っていくよう啓発している。また、各科長等から職員状態の確認を行っている。月毎の職場巡視結果報告には、健康管理について記載し、周知している。禁煙については、敷地内禁煙を徹底している。

3. 総括

労働災害の予防についての取り組みについては、他委員会との連携が必要な部分がある。職場巡視を行っている職員や他委員会委員を交えた委員会開催も行う必要がある。

新型コロナウイルスの感染蔓延により人の手が足りない部署などもあるなか、病院全体として効率よく業務が出来るよう話し合ってきた。

● 5 S 委員会

1. 活動目標

「5 S 活動による病院リノベーション」

2. 活動内容・成果

5 S 活動が始まり 9 年が経過した。5 S の基本である整理・整頓・清掃・清潔・躰が各部署で継続できている。今年度は、整理整頓が行きとどき、更にきれいな病院を目指す取り組みを行った。

★ボランティア活動

- 7 月 10 日（土）
 - ・ディールームのベンチニス塗り
- 9 月 4 日（土）病院部と合同で実施
 - ・ギブス室の整理、棚のペンキ塗り
- 2 月 19 日（土）
 - ・ディールームの窓のスモーク貼り
 - ・正面玄関整理→壁のペンキ塗り、照明設置、掲示物整理
- 絵画展示
- 3 階食堂の本棚の整理 管理課で実施

＜成果＞ 各場所の整理や清掃を行うことで病院が更にきれいになった。整理したことでギブス室棚から物品が探しやすくなり、病棟のオンライン面会の場所として活用できた。正面玄関がすっきりし照明によって明るく暖かい雰囲気になった。

★院内ラウンド

- 第 1 回目 6 月 18 日（金）に実施

＜成果＞ 整理整頓の継続は実施されているが、コロナ感染対策として物資が増えており各部署の整理が滞っている。見直しを実施し声かけを行うことで整理整頓に取り組める体制ができた。

★ 5 S 活動についての研修会

○ 7月12日（新スタッフ対象：参加者8名）講師：工藤先生

＜成果＞ 当院の5S活動を知ってもらうことで活動への参加の協力を得る道筋となった。

★院内掲示物の整理 継続

○掲示物のサイズ、貼り方の統一

＜成果＞院内にある掲示板の掲示物のサイズや貼り方の統一を継続。不要な掲示物は除去。
掲示板がスッキリし見やすくなっている。

3. 総括

今年度は、院内が更にきれいになり気持ちよく仕事ができるよう取り組みを行ってきた。ボランティア活動は病院部と合同で行うことで人数が集まり、大事な清掃にも取り組むことができた。また、新しいものを買うのではなく、今あるものを自分達できれいにして活用する取り組みは5S活動ならではと考える。正面玄関の照明によって病院に入った時の暗い印象が改善され足元が見やすくなりリノベーションが患者の立場になって取り組んでいる成果となった。

●災害対策委員会

2019年4月より委員会を立ち上げ、各部署でアクションカードを作成、災害訓練を開催するなど3年目の活動を行ってきた。1年目の災害訓練は院内全体で80名が参加しての開催であったが、2020年度はコロナウイルス感染症対策を講じながら、人数を少なく回数を増やして実施した。2021年度も同じく感染症対策を講じながらの訓練ではあったが、病院全体訓練では、桜ヶ丘体育館にてトリアージ訓練とエアーテントの設営を行う事ができた。

1. 活動内容

1) 定例会議の開催

- 各部署委員会からのメンバー参加による定例会議：毎月第2金曜、12回／年開催
- 災害対策本部（本部長・副本部長2名・情報責任者）会議：9回／年開催

2) 災害訓練

● 1回目（エアーストレッチャー使用し搬送訓練）

内容：院内は地震により停電し、自家発電に切り替わっている。院内 PHS 使用不可、電子カルテ・オーダーリング不可・エレベーター不可・検査・レントゲン不可、上水道断水。

2階は危険と判断しエアーストレッチャー使用して1階まで患者を搬送する事となる。

日時：2021年6月30日（水）17：30～18：30

参加者：52名 同時に消火器訓練も実施し参加者：16名

● 2回目（病棟：紙カルテの様式を整備し運用の訓練）

内容：大雨・落雷により電子カルテのシステムダウンが発生。サーバーの故障により

復旧には5時間前後かかる想定。参照サーバーは閲覧可能。ライフラインに問題無くスタッフは通常通り出勤。症例3名の紙カルテを準備し記載するまでの訓練を行った。

日時：2021年9月2日（木）17：30～18：30

参加者：33名

● 3回目（外来：紙カルテの様式を整備し運用の訓練）

内容：10時に電子カルテの不具合が発覚。原因はサーバーの部品故障と判明。業者に連絡したが復旧には4～5時間かかる。午前中の外来は通常診療ができないと判断した。

日時：2021年10月4日（月）17：30～19：00

参加者：32名

● 4回目（トリアージ訓練とエアーテント設営）

内容：午前8時飛騨地方跡津川を震源とするマグニチュード7.4の地震発生。

飛騨市の震度は6で、地震の影響で国道41号線471号線は通行ができない状況にある。

飛騨市は災害本部を立ち上げ、飛騨市民病院にも被害者の救護活動への依頼あり。

参加メンバー：災害対策委員会メンバー含め47名参加

本部立ち上げ・運営訓練も開催し情報の取り扱いと指示の出し方訓練を実施した。

場所：桜ヶ丘体育館

日時：2021年11月3日（祝日）

参加者：48名

● 5回目

内容：消防機関への早期通報と、防災設備マップにて防災設備の場所を4グループに分かれて確認を行った

日時：2022年3月11日（木）17：30～18：30

参加者：災害対策委員会メンバー

3) 各部署での取り組み

➤ 各部署でそれぞれ作成し定例の委員会にて紹介

● 本部

病院全体の災害対策の組織図の見直しを行ない、それに基づいたアクションカードの作成をすすめ、事務所に保管するようにした。災害対策本部の位置や必要物品を順次購入して整備した。5月に入院患者に新型コロナウイルスクラスターが発生したことを受けて、院内の新型コロナウイルス発生時の本部の初動からマニュアルを整備した。BCPマニュアルを見直し改訂作業を行なった。

- 2021年度 1 病棟災害訓練内容
アクションカードを持って、A、B チームの日勤リーダーが、非常口の点検や災害時の動きの確認を行っている。
 - 2 病棟災害訓練内容
4 月・9 月 病棟会議にて 災害時の紙カルテ運用を説明し PC 内で確認
12 月 病棟会議にて 病棟で火災発生時の災害訓練 机上訓練
他 朝礼時間を利用しゲリラ訓練 6 回 消火栓確認・避難経路確認
エアーストレッチャー開閉 操作確認
地震発生 アクションカードを用いて BDP コロナ感染症濃厚接触に当たる職員多数にて病棟内でのシミュレーション 災害時の紙カルテ運用・消火栓 消火器 酸素バルブ位置の確認
 - 栄養科
栄養科では、アクションカードの作成、非常食用の献立の見直しを行った。
 - 透析室
災害時の医療と透析についての注意点をまとめた冊子を作成した
透析条件などを記載した緊急情報カードを作成した
緊急離脱が容易におこなえる穿刺針への変更を申請している
 - リハビリテーション科（以下、リハ科）と外来職員と共同でエアーストレッチャーの搬送練習を実施した。毎月開催される部会前の時間を活用し、限られた時間であったが数回に分けて実施できた。訪問リハ職員用のアクションカードを作成した。
これで院内・院外それぞれのアクションカードが完成した。しかし、実際に訓練等での確認ができていないため、今後の訓練で使用しながら修正していきたい。
 - 外来・総合看護・連携室
12 月 1 日 外来、総合看護、連携室の看護師のみで紙カルテ運用の訓練実施
受付から会計までの流れを再確認し終了時はアンケートを実施
各自紙カルテ運用の流れを記入してもらい分からなかった部分がどこか確認

➤ リハビリ科と合同でエアーストレッチャーの訓練を実施
12 月 9 日（木） 1 月 13 日（木） 2 月 10 日（木）
参加はリハビリ・外来・総合・連携室看護師が参加（一人一回は参加する）
- 4) 令和 3 年度飛騨市防災リーダー養成講座への参加
研修目的：飛騨市では、防災に関する知識を習得し災害時に地区の防災活動のリーダーとして活躍できる人材を育成するため養成講座を開講している。
日時：令和 3 年 12 月 5 日（日）、令和 4 年 1 月 16 日（日）、令和 4 年 1 月 23 日（日）
令和 4 年 2 月 6 日（日）受講後防災士資格取得試験
参加者：当院よりスタッフ 10 名参加し全員合格

2. 総括

委員会発足3年目の活動として、災害対策本部メンバーでは年間9回（通算23回）の定例会議を重ね有事の際の本部設置を想定し、本部長や副本部長のアクションカードの作成を行い院内スタッフ全員に対しては「参集ルール」を再周知した。2020年度には「国民健康保険飛騨市民病院事業継続計画書（BCP）」第一版を作成することができたが、今年度内容の改訂を行った。また、各部署担当者は部署毎のアクションカードも作成したが、部署によって内容や訓練状況にも差がみられている。今後は、マニュアルやBCPの内容の定期的な見直し、災害訓練を継続して実際に災害発生した際に本部と各部署の連携を密にしながらか対応できるよう問題や課題に対して改善していく必要がある。今回行った電子カルテシステムダウン時を想定した訓練では、病棟編と外来編でそれぞれ他部署と連携しながら問題点を洗い出し紙カルテが有効に活用出来るよう内容の改訂も行った。これからも病院全体で力を合わせ「備えあれば憂いなし」の組織としてBCP策定、マニュアル作成、繰り返しの訓練とひとり一人の危機意識の向上に向けての活動を継続していきたい。

■人材育成プロジェクトチーム(JIP)

1. 目標

飛騨市民病院の働き方改革を実現し、職員のスキルアップと高い人格の形成、人間味あふれる人材の育成を目的とする。

2. 活動内容

定例会の開催 第4木曜日

奇数月：管理課・看護部

偶数月：管理課・看護部・リハビリテーション科

●看護部：里山ナース院内認定制度

◆ SUPER(1st)：令和3年度(2期生)5名(NS-1：4名、NS-2：1名)の申請あり

日時	内容	参加者
2022. 8. 1	ELNEC-J、院内 ICLS 研修会	5名
2022. 9. 6	高原郷ケアネット参加	5名
2022. 3. 2	コアチーム会議開催 SUPER(1st)認定対象者推薦会議	コアチーム
2022. 3. 16	病院長より修了証授与	5名

◆ HYPER(2nd)

・今年度新規資格等取得一覧

資格名	合計人数
健康予防管理士	1名
終末期ケア専門士	1名
認知症ケア指導者管理士	2名

・2022年3月16日 看護部会にて今年度の申請者書各分野別進捗状況等報告

	急性期	慢性期	終末期	在宅期	地域理解
最大値(点)	4.0	4.5	3.5	3.5	3.0
平均値(点)	1.28	1.80	1.11	1.92	1.23
3点以上取得(名)	1	1	1	1	0

日時	内容	参加者
2022. 2. 24	在宅期対象：「リハビリ研修会」講師：巢之内・谷口・洞口	20名
2022. 3. 31	コアチーム会議開催 HYPER(2nd)認定対象者推薦会議	コアチーム
2022. 4. 27	飛騨市長より修了証授与	7名

補助金使用額：168,557円

●リハビリテーション科

◆ 院内喀痰吸引認定療法士

昨年度修了者2名に5月院内喀痰吸引認定療法士の修了式行った。今年度は指導看護師と共に院内で講義・実習が行えるようにカリキュラム作成。

◆ リハビリ新入職員のオリエンテーション資料や教育プログラム

経験者や新卒者に関係なく、まずは入職者全員に使用できるオリエンテーション資料(電子カルテのマニュアル、リハ実施計画書など必要書類の説明)を仕様変更や診療報酬の改正も含めて現在、修正変更・作成を継続中。

●里山会議

第3回目里山会議開催

開催日	テーマ	参加者
2021. 12. 23	ホスピタリティーとは	39名

8グループに分かれて話し合い、各グループそれぞれの発表を行った。発表では柔軟な意見が出て、これからの病院のあり方への意識を高める機会となり今後も全スタッフが気軽に意見交流ができるよう開催を継続していきたい。

3. 目標の達成状況、成果と統括

今年度は里山ナース院内認定制度のSUPER(1st)5名、HYPER(2nd)7名が修了することができた。また、HYPER申請者も各自が積極的に研修会の参加・資格等を取得することができスキルアップや知識向上が行えていると考える。また、申請者の各分野ポイント状況を把握し、比較的ポイント取得がすくない分野ではJIPで企画した研修会等も開催が行えたため今後もこのような企画を継続していきたい。

また、院内喀痰吸引療法士では院内で講義・実技が行えるようなカリキュラム作成が行えた。次年度はこのカリキュラムを使用し院内での研修を進めていく予定である。

今後も各部署の制度、里山会議の継続運営を行い職員のスキルアップと人材の育成を行っていききたい。

■月例朝礼

4月	黒木 嘉人	：新年度（令和3年度）を迎えて
5月	中止	
6月	中止	
7月	中止	
8月	中止	
9月	中止	
10月	中止	
11月	中止	
12月	中止	
1月	黒木 嘉人	：新年（令和4年）仕事始め
2月	中止	
3月	中止	

新型コロナウイルス感染拡大防止のために今年度も中止となった。

■高原郷ケアネット

（場所：Zoomにて飛騨市民病院から配信）

開催日	テーマ（内 容）	講 師	参加人数
2021. 6. 14	第14回 業務継続計画の作成と感 染発生時の対応について	実践発表 ① 新型コロナ発生時の対応 有限会社しましまハウス ② 業務継続計画について 小規模多機能ホームきりん心 グループワーク	91名（25 事業所）
2021. 9. 6	第15回 心づもり（ACP 人生会議） について	実践発表 ① 飛騨市終活支援センターの概要及 び私の心づもり（ACP）のきっかけ づくりについて。発表者：飛騨市 終活支援センター終活アドバイザ ー ② 病院における Advance Care Planning (ACP) について。発表者： 飛騨市民病院 黒木嘉人 グループワークは緊急事態宣言により 中止	69名（16 事業所）
2021. 11. 29	第16回 あなたの職場で行える心 づもり（ACP 人生会議）と は？	実践発表 ① ワクチン接種後のコロナ対応につ いて。発表者：飛騨市民病院 中林 玄一	61名（20 事業所）

		② 心づもり（ACP 会議）とは「厚生労働省ホームページより」 グループワーク 情報共有	
2022. 3. 7	第 17 回 知っておきたいフレイル 予防取組の最近情報	講義： ① 飛騨市フレイル予防の取組状況 講演：飛騨市地域包括ケア課 都竹信也課長 ② 富山県内のフレイル予防取組状況 講演：富山大学附属病院名誉教授 総合診療科 山城清二先生 ③ 事例紹介 発表者：あさひフレイル 予防サポーターの会会長 小林茂和さん	76 名（25 事業所）

■飛騨市健康コミュニティ・メディカルデザイナー養成講座

飛騨市&富山大学附属病院 連携事業 （第 4 回）

（場所：Zoom によるリモート視聴）

飛騨市では、富山大学附属病院と連携し「健康な（活気ある）まちづくり」について自ら考え、自分事（わがこと）として実践する二つの養成講座を開講し、飛騨市でも 145 名の受講生が輩出されました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で以下のフォローアップ講座の開催のみとなりました。

開催日	テーマ（内 容）	講 師
2022. 2. 25	「飛騨市における地域のネットワーク づくり」 地域でのつながりから生ま れる健康で幸せなまちづくり 報告会：過去の養成講座受講生の今「成 功の宣言と実践」紹介	富山大学附属病院 名誉教授 山城清二 氏

■研修医・学生実習状況

●初期臨床研修医 地域医療研修

富山大学附属病院（1 名）、高山赤十字病院（5 名）、名古屋掖済会病院（10 名）、大垣市民病院（4 名）、岐阜県総合医療センター（3 名）、岐阜大学医学部附属病院（1 名）、富山県立中央病院（3 名）、富山市民病院（4 名）、木沢記念病院（3 名）から、合計 34 名の初期臨床研修医（2 年目）を地域医療研修として受け入れた。

氏 名	所 属	研 修 期 間
佐藤 史隆	富山県立中央病院	2021. 5. 3 ～ 2021. 5. 28

池田 廉	名古屋掖済会病院	2021. 5. 10	～	2021. 6. 4
安藤 博徳	木沢記念病院	2021. 5. 10	～	2021. 5. 28
倉内 榛菜	名古屋掖済会病院	2021. 5. 31	～	2021. 6. 25
清水 裕	岐阜大学医学部付属病院	2021. 6. 7	～	2021. 7. 2
宮脇 淳	高山赤十字病院	2021. 6. 7	～	2021. 7. 2
平松 優奈	名古屋掖済会病院	2021. 6. 28	～	2021. 7. 23
益永 拓也	富山市民病院	2021. 7. 1	～	2021. 7. 30
富岡 莉紗	岐阜県総合医療センター	2021. 7. 5	～	2021. 7. 30
伊藤 ゆりか	名古屋掖済会病院	2021. 7. 26	～	2021. 8. 20
奈邊 愛美	富山大学付属病院	2021. 7. 26	～	2021. 8. 27
鷺崎 智行	名古屋掖済会病院	2021. 8. 2	～	2021. 8. 27
神谷 理斗	高山赤十字病院	2021. 8. 2	～	2021. 8. 27
武藤 聡志	名古屋掖済会病院	2021. 8. 23	～	2021. 9. 17
佐竹 勇哉	木沢記念病院	2021. 8. 30	～	2021. 10. 29
森 勇人	富山市民病院	2021. 9. 1	～	2021. 9. 30
高木 敦仁	大垣市民病院	2021. 9. 6	～	2021. 10. 1
井上 優汰	岐阜県総合医療センター	2021. 9. 27	～	2021. 10. 22
河合 康亮	名古屋掖済会病院	2021. 10. 4	～	2021. 10. 29
神谷 裕菜	高山赤十字病院	2021. 10. 4	～	2021. 10. 29
中原 裕基	名古屋掖済会病院	2021. 11. 1	～	2021. 11. 26
坂田 裕也	大垣市民病院	2021. 11. 1	～	2021. 11. 26
金子 直史	富山市民病院	2021. 11. 1	～	2021. 11. 30
植月 三咲子	木沢記念病院	2021. 11. 1	～	2021. 12. 28
鳥居 剛	名古屋掖済会病院	2021. 11. 29	～	2021. 12. 24
藤木 俊吾	高山赤十字病院	2021. 11. 29	～	2021. 12. 24
星野 弘樹	大垣市民病院	2021. 11. 29	～	2021. 12. 24
野村 郁哉	岐阜県総合医療センター	2022. 1. 4	～	2022. 1. 28
井城 敬一郎	富山県立中央病院	2022. 1. 4	～	2022. 1. 28
藏地 健太	名古屋掖済会病院	2022. 1. 4	～	2022. 1. 28
周防 大貴	大垣市民病院	2022. 1. 17	～	2022. 2. 11
小橋 紅音	富山県立中央病院	2022. 1. 31	～	2022. 2. 25
織田 哲郎	富山市民病院	2022. 2. 1	～	2022. 2. 28
可知 弘成	高山赤十字病院	2022. 2. 7	～	2022. 3. 4
合計 34名				

●後期研修医

氏 名	学年	実 修 期 間
西ヶ野 圭祐	国立成育医療研究センター	2022. 1. 10 ～ 2022. 2. 4

●学生実習

富山大学 実習生一覧

富山大学 4・5 年生の地域医療臨床実習の実施施設として、6 名の研修を受け入れた。

氏 名	学年	実 習 期 間
深田 尚貴	5 年	2021. 4. 26 ～ 2021. 4. 30
加瀬 悠平	6 年	2021. 7. 5 ～ 2021. 7. 9
川端 祐輔	5 年	2021. 7. 12 ～ 2021. 7. 16
花房 隆介	5 年	2021. 10. 11 ～ 2021. 10. 15
福見 光	5 年	2021. 11. 8 ～ 2021. 11. 12
堀尾 美月	4 年	2021. 12. 13 ～ 2021. 12. 17

岐阜大学 実習生一覧

氏 名	学年	実 修 期 間
根尾 学	6 年	2021. 8. 23 ～ 2021. 8. 25
平瀬 みき	1 年	2021. 9. 6 ～ 2021. 9. 7
田中 亮乃介	2 年	2022. 2. 14 ～ 2022. 3. 4
若山 俊也	2 年	2022. 2. 14 ～ 2022. 3. 4

自治医科大 実習生 なし

■神通川プロジェクト

2012 年度に始めた神通川プロジェクト事業を継続していることで、地域医療の実習フィールドとしての当院の認知度が高まり、医学生を受け入れを通じて富山大学との連携をより深めることができた。さらに、昨年度に引き続き多数の非常勤医師の派遣が実現しており、当院の医師確保対策に貢献する事業といえる。

当院での研修が印象に残り将来の就職先として選ばれる病院となるよう、学習や生活環境の充実に配慮している。医師の確保は永続する課題であることから、この事業を大学との協働事業として今後も継続的に取り組んでいきたい。

以下、岐阜県地域医療確保事業費補助金事業報告書の事業内容説明

(2022 年 3 月 31 日 事業実績報告書より抜粋)

事業名 医学教育とソーシャルキャピタル活性化による地域医療再生事業
(神通川プロジェクト)

事業実施時期 2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

補助金額 2,720,000 円

事業目的 富山大学の医学教育に関わることで、飛騨市民病院の医師不足の改善を図る

神岡地区の地域医療確保の過程そのものを教育に利用する事業を、富山大学と協働して実施する。(2012 年度の内容を継続して実施 : 2017 年度はソフト事業のみ)

1. 医学生の通年実習受入、研修医の通年受入
2. 学会等での情報発信
3. 地域での医療講演会等の開催

1-1. 医学生の実習受入

富山大学医学部学生 6 名が 1 週間程、岐阜大学医学部附属病院医学部学生 4 名が 1~3 週間の臨床実習を実施した。

1-2. 研修医の受け入れ

初期臨床研修医 (2 年目) における地域医療の臨床研修協力病院として、下記のとおり合計 34 名 (のべ 994 日) の初期研修医の受け入れを実施した。

富山大学附属病院	1 名	高山赤十字病院	5 名
大垣市民病院	4 名	岐阜県総合医療センター	3 名
名古屋掖済会病院	10 名	富山県立中央病院	3 名
富山市民病院	4 名	岐阜大学医学部附属病院	1 名
木沢記念病院	3 名		

2 週間から 2 ヶ月間に渡る研修で、飛騨市民病院の常勤医から、外来・病棟・救外における対応についての研修を受け、意見交換を行い、他の研修医や医学生とも交流を深めた。

また、市内を案内する機会を設けることで患者の背景にある診療圏域への理解度を深めてもらおうとともに、将来の就職への期待を込めて小規模病院の魅力を感じてもらおうよう努めた。

2. 学会等での情報発信

10 月 1 日~31 日 第 36 回岐阜県病院協会医学会 (オンライン)

『研修医は地域医療研修に何を期待し何を得ていくのか~神通川プロジェクトの成果~』オンラインにより行われた学会で発表を行ったが、当院の取り組みについて興味を持たれているようだった。学会の他、各病院で開催される臨床研修管理委員会の際には、当院で行う研修プログラムのほか、新築された研修医住宅の様子や受け入れ環境について情報発信している。

3. 地域での医療講演会の開催

地域医療の構成要素の主役たる地域住民を対象として、病院の状況や活動を知ってもらうため病院祭を11月20日（土）に開催した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により中止となったが、今年度はハイブリット方式で実施した。

病院の近況について病院からのメッセージや臨床研修についての説明、コロナウイルスとの共存について当院の医師から、また外部から講師を招いて、終活や減塩対策についての講演をいただいた。新型コロナウイルス感染症対策のため入場制限に加え、YouTubeでの配信、また開催時間を短縮し、コロナ禍でも工夫することで病院祭が開催できた。

市内はもとより、市外の高山市上宝町・奥飛騨温泉郷、国府町の全世帯へも新聞折り込みにより病院祭のPRを行った。また、病院祭の受付を『飛騨市民病院を守る会』の会員にお願いし協力を得ることができた。

このような講演会を継続して開催することにより、住民の病院に対する理解を深め、飛騨市民病院が地域に必要な病院であるという意識を醸成していくことが重要である。

4. 効果

神岡町に存する医療施設、保健施設、介護施設を活用し地域医療の役割を体系的に学習できるフィールドを提供することで、研修医や医学生向けの病院実習アンケートにおいて高い評価を得ている。

また、院内や研修医住宅において、医学生や各病院の研修医が意見交換をすることで交流が深まり、地域医療を考える機会ができています。2年前に新築した研修医住宅も大変好評で、共有ルームでは研修医同士で情報交換が行われている。

これらの効果により、当院にて研修した研修医や学生が、後輩に飛騨市民病院での研修を勧めているとの声を聞いており、初期研修医の増員につながっている。

（受入研修医の数：2016年度 24名、2017年度 28名、2018年度 31名、
2019年度 36名、2020年度 29名 2021年度 34名）

2012年度からはじめたこの事業の継続により、富山大学と緊密な関係が築けたことから、継続的に医師の派遣があることで、飛騨市民病院の医師不足解消の一助として成果を生んでいる。今年度はコロナウイルスに対するワクチン接種が始まり、当院でもたくさんの患者への接種が行われた。接種前問診を研修医に担当させることで、常勤医師の負担がかなり軽減された。国からの要請を受けて緊急的に行う業務が増えるかな、研修医の必要性は高まるばかりである。

■ボランティア受入

1. 清掃ボランティア

11月14日（日） みよし会

昨年度に引き続き同級会による院内の清掃奉仕活動が実施され、日頃の清掃で行き届かないガラス拭きを中心に作業され、心地よい環境が整った。

同級会の代表者の方へ病院長から感謝状を贈呈した。

2. 飛騨市民病院を守る会

6月12日（土）、9月11日（土）飛騨市民病院を守る会清掃奉仕

12月16日（木）～22日（水）患者満足度調査アンケート用紙の配布・回収（外来分）

草刈り及び清掃奉仕活動では、当院の周辺だけでなく医師・研修医住宅周辺にも範囲を広げて環境整備を行ってくださっているため、当院の景観が保全されている。毎年会員へ呼びかけを行っているが、今年度はコロナウイルス感染対策のため役員と当院職員により行った。

例年、当院に地域医療研修や地域医療実習に来られた研修医や学生と役員との語る会を実施しているが、昨年に続き、新型コロナウイルス対策により中止となった。

2019年秋から役員さん数名が病棟の患者さんへの食事介助を行っている。患者さんも役員さんが来られるのを待っておられ大変喜ばれている。

このように飛騨市民病院を守る会は、コロナ禍においても年間を通じて様々な形で病院の活動を支援されている。

■ ボランティア等活動への参加

- ・ G S A（ジオスペースアドベンチャー）

- ・ 山の村だいこんマラソン 9月26日（日）予定

毎年、当院の医師および看護師がボランティアスタッフとして参加しているが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった

- 4月1日(木) 日本医師会 医師の働き方改革担当理事連絡協議会 (Zoom)
- 4月5日(月) ありがとうの花贈呈式 (神岡新聞販売店組合)
- 4月8日(木) 新型コロナワクチン接種会場設営訓練
- 4月14日(水) 神岡消防署との年度初め打ち合わせ 黒木、岩崎、佐藤直
- 4月19日(月) 病院向け県コロナ対策会議 黒木、中林、岩崎、佐藤直
- 4月19日(月)～5月19日(水)
新型コロナワクチン医療従事者先行接種
- 4月22日(木) 飛騨市医師会 事務職員向けワクチン説明会 佐藤直、大坂
飛騨地域の診療体制(循環器疾患)に係る検討会議 (Zoom) 黒木
- 4月28日(水) 飛騨地域就職ガイダンス 高山市 豊坂
高齢者向け新型コロナワクチン納入予定
感染対策専門医による事業所のスクリーニング研修会 古川 中林
- 4月30日(金) 岐阜大学 牛越教授来院 黒木、工藤、中林、岩崎、佐藤直
部署別目標全体会議 (ハイブリッド方式)
- 5月18日(火) 宿泊療養施設(高山観光ホテル)開設
10時 オリエンテーション
13時 開設
飛騨神岡高校校内企業展 岩崎、宮腰、佐藤直
- 5月19日(水) 全国国診協 広報情報委員会 Web会議 黒木
- 5月21日(金) 全国国診協 執行役員会、理事会 Web会議 黒木
- 5月24日(月) 岐阜県国診協 正副会長会議
- 5月26日(水) 救急勉強会
エッセンシャルワーカー向け抗原定性検査実践研修会 中林
- 5月29日(土) 新型コロナ三市一村首長共同記者会見 高山市 黒木
- 6月3日(木) 令和3年度 院内感染防止対策研修会 コロナ最新情報
- 6月4日(金) 全国国診協 総務企画委員会
飲食店向け現地講演会 中林
- 6月6日(日) 電気設備停電検査 9時～15時
- 6月9日(水) 一般企業向け抗原定性検査実践研修会 中林
- 6月12日(土) 守る会清掃奉仕(草刈り) 9時
看護職員採用 Web個別面接会
感染防止対策加算算定施設合同カンファレンス onWebinar 中林
- 6月14日(月) 第14回高原郷ケアネット
- 6月18日(金) 全国国診協 執行役員会、総会
- 6月23日(水) 寝具交換
- 6月25日(金) 大垣市民病院研修管理委員会 Web会議 黒木

6月28日(月) 中部学院大学との看護研修 Zoom 打ち合わせ 岩崎

6月29日(火) 岐阜県国保診療施設協議会役員会及び学会実行委 Web 会議 黒木

6月30日(水) 院内総合防災訓練

7月7日(水) 飛騨市障がい者福祉協議会 古川 中林

7月8日(木) 令和3年度 食物アレルギー対策事業研修会 神岡 中林

7月10日(土) 看護職員採用 Web 二次面接 黒木、岩崎、佐藤直

7月19日(月) 決算審査

7月20日(火) 指定管理者制度運営委員会 古川 佐藤直

7月21日(水) 【講演】変異株に対抗できる新型コロナウイルス対策
～基本を押えて新たな対策を学ぶ～ 河合、宮川 中林

7月26日(月) 岐阜県国保診療施設協議会正副会長会議 オンライン 黒木

7月28日(水) 指定管理者制度運営委員会 古川 佐藤直
救急勉強会

7月29日(木) 富山大学医局訪問 黒木、佐藤直
神岡中学校ケース会議 中林

8月4日(水) 第1回総合政策審議会 古川 佐藤直

8月6日(金) 感染合同カンファレンス 当院 中林、岩崎、日比、中桐

8月10日(火)～13日(金) 中部学院大学看護学生研修3人

8月19日(木) 高山宿泊療養施設看護師支援 神田

8月22日(日) 高山宿泊療養施設看護師支援 梶崎

8月23日(月) 指定管理者制度運営委員会 古川 佐藤

8月23日(月)～25日(水) 夏季体験実習 岐阜大学6年 根尾

8月24日(火) 神岡乳幼児学級講和「小児保健の基礎知識について」 中林

8月26日(木) 全国国保診療施設協議会 広報情報委員会 オンライン 黒木

8月31日(火) 富山県ドクターヘリ症例検討会 オンライン 黒木

9月2日(木) 病棟部門災害訓練(17:30)

9月2日(木)～3日(金) 神通川ナースプロジェクト(富山大学)

9月4日(土) 高山大規模接種応援 飛騨・世界生活文化センター 草壁

9月5日(土) 神岡商工会議所職域接種支援(1回目接種の1日目) 神岡町公民館

9月6日(月) 第15回高原郷ケアネット会議

9月6日(月)～07日(火) 夏季体験実習 岐阜大学1年 平瀬

9月11日(土) 神岡商工会議所職域接種支援(1回目接種の2日目) 神岡町公民館

9月16日(木)～17日(金) 岐阜保健大学看護学生研修

9月17日(金) 令和3年度地域包括医療・ケア研修会〔特別開催〕 黒木

9月18日(土) 令和3年度動く県医 古川 黒木
高山大規模接種応援 飛騨・世界生活文化センター 佐藤悠

9月19日(日) 高山大規模接種応援 飛騨・世界生活文化センター 黒木

9月22日(水) 自治医科大学卒業医師受入市町村会議第2回幹事会 Web 開催 佐藤直
救急勉強会

9月24日(金) たんぽぽ苑旭ヶ丘デイサービス・ショートステイ新型コロナ現地指導 中林

- 9月25日(土) 高山大規模接種応援 飛騨・世界生活文化センター 工藤、中林
- 9月27日(月) 自治医科大学卒業医師派遣要望ヒアリング 高山 佐藤直、豊坂
- 9月30日(木) 新規採用内定者(看護師)とのWeb面談
- 10月1日(金) 国診協 総務企画委員会 web会議 黒木
- 10月1日(金)～31日(日) 岐阜県病院協会医学会 Web開催
- 10月3日(日) 神岡商工会議所職域接種支援(2回目接種の1日目) 神岡町公民館
- 10月4日(月) 外来部門災害訓練(17:30)
- 10月9日(土) 神岡商工会議所職域接種支援(2回目接種の2日目) 神岡町公民館
高山大規模接種応援 飛騨・世界生活文化センター 佐藤悠
- 10月10日(日) 高山大規模接種応援 飛騨・世界生活文化センター 工藤
- 10月12日(火) 富山大学小児科アレルギーカンファレンス発表 中林
「飛騨地域における食物経口負荷試験(OFC)の工夫
～non-medical な工夫も包含した medical な成績向上への取り組み
～」
- 10月13日(水) 病棟冬布団搬入
- 10月14日(木) 岐阜県国保診療施設協議会役員会 学会実行委員会 web会議 黒木
- 10月18日(月) 第1回病院祭実行委員会
重症心身障害ケア部会(on Zoom) 中林
- 10月21日(木) 指定管理者選定委員会 古川 佐藤
修学旅行に向けた新型コロナ対策指導(児童向け講習会) 神小 中林
古川地区民生委員児童委員協議会研修会講師 古川 中林
「長期戦でも社会活動を再開するための新型コロナウイルス対策
～防疫イロハと共生戦略～」
- 10月22日(金) ひだしん寄附目録贈呈式 黒木
- 10月23日(土) 高山大規模接種応援 飛騨・世界生活文化センター 中林、佐藤悠
- 10月24日(日) 高山大規模接種応援 飛騨・世界生活文化センター 黒木
- 10月25日(月) 入院患者不在者投票
- 10月26日(火) 病院目標全体会議
- 10月27日(水) 名古屋掖済会病院研修説明会 zoom
須田病院 垣内無一先生 Web講演会 リハ室
「総合病院におけるせん妄の対策とケア」
- 10月28日(木) 協会けんぽ立入調査 大坂他
飛騨市総合政策審議会 佐藤
- 10月29日(金) 国診協 広報情報委員会 web会議 黒木
院内メンタルヘルス研修会
- 10月30日(土) JPTEC プロバイダーコース 神岡
- 11月1日(月) 岐阜県国保地域医療学会シンポジウム事前撮影 岐阜 黒木
- 11月3日(水、祝) 災害対策総合訓練 桜ヶ丘体育館(午前中)
- 11月4日(木) 富山県立中央病院 研修説明会 黒木、上葛
- 11月8日(月) 院内ハラスメント講習(ハイブリッド開催)

11月10日(水) 富山大学関連病院長懇談会総会・講演会 Web 開催 黒木
 11月12日(金) 大垣市民病院 研修管理委員会 研修説明会 Zoom
 11月13日(土) 高山大規模接種応援 飛驒・世界生活文化センター 草壁
 第46回 ICLS さるぼぼコース 神岡町ふれあいセンター
 11月13日(土)～21日(日) 岐阜県国保地域医療学会 Web 開催
 11月14日(日) みよし会ボランティア
 11月15日(月) 外部評価委員会
 11月17日(水) 木沢記念病院 研修説明会 黒木、上葛
 11月18日(木) 岐阜市民病院研修説明会 黒木、上葛
 11月19日(金) エピペン講習会 旭保育園 中林
 11月20日(土) 病院祭ハイブリッド開催
 普通救命講習Ⅰ 神岡消防署 防災リーダー研修受講者
 11月24日(水) 救急合同勉強会
 11月26日(金) 富山市民病院 研修説明会 黒木、上葛
 日本認知症グループホーム協会岐阜県支部 Web 講演会講師 中林
 11月27日(土) 飛驒地域緩和ケア研修会講師 高山赤十字病院 黒木
 11月29日(月) 高原郷ケアネット
 11月30日(火) 岐阜大学感染合同カンファレンス 中林、岩崎、中桐、日比
 12月2日(木)～03日(金) ラジオホームドクター出演 草壁
 12月4日(土) 褥瘡研修会 in 飛驒高山講師 須田病院 工藤
 12月6日(月) 飛驒地域 MC 協議会 感染防止部会 Web 会議 中林
 12月22日(水) 高山赤十字病院地域医療連携検討委員会 ZOOM 黒木
 ホテルウイング(宿泊療養施設)保健医療班リエンション 岩崎、宮本
 12月23日(木) 岐阜県国保診療施設協議会 正副会長会議 ZOOM 黒木
 飛驒地域 MC 協議会 感染防止部会 消防署訪問活動 中林
 里山会議
 12月24日(金) 仕事納め式 17時～ Zoom
 山城先生、地域包括ケア課との Zoom 打ち合わせ
 1月4日(火) 仕事始め式 8時45分～ Zoom
 1月8日(土) 新春経済懇談会 船津座 佐藤
 1月14日(金)～15日(土) 国診協地域包括医療・ケア研修会 オンライン 黒木
 1月15日(土) マイナビ看護 WEB セミナー 名古屋 佐藤、岩崎
 1月21日(金) 岐阜県看護協会飛驒支部役員会 高山 岩崎
 1月25日(火) 「穂高の庭」クラスター対策指導 高山 中林
 1月26日(水) 救急合同勉強会 黒木他
 「穂高の庭」事案検討、対策 WEB 会議 中林
 1月29日(土) 【穂高の庭】事例検討 WEB 会議 中林
 1月31日(月) 社会保障審議会医療部会傍聴 古川 佐藤
 2月2日(水) 国診協 広報情報委員会 オンライン 黒木
 2月4日(金) 国診協 総務企画委員会 オンライン 黒木

2月8日(火) 岐阜県地域医療構想等調整会議 WEB 会議 黒木他
 2月10日(木) 飛騨緩和医療ネットワーク WEB 症例検討会 黒木他
 2月14日(月) 飛騨メディカルコントロール協議会 オンライン 黒木
 2月18日(金) 国診協 理事会 オンライン 黒木
 2月25日(金) 感染合同カンファレンス WEB 会議 中林、岩崎、日比、中桐
 健康まちづくりフォローアップ講座 黒木、岩崎
 2月26日(土) マイナビ看護セミナー岐阜 岩崎、佐藤
 高山市大規模ワクチン接種支援 中林
 2月28日(月) 岐阜県国保地域医療学会実行委員会 WEB 事前協議 黒木他
 3月4日(金) 第7回たんたかひだ発神岡地域ケア会議
 3月5日(土) 中部学院大学実習教育研修会 岩崎
 3月5日(土)～06日(日) 巡回ワクチン接種 神岡町公民館
 3月7日(月) 高原郷ケアネット
 3月10日(木) 高山市国保朝日診療所代診医派遣 黒木
 たんたかひだ介護医療連携推進会議
 3月11日(金)～12日(土) マイナビオンライン面談(予定)
 3月12日(土) 飛騨メディカルコントロール協議会事後検証部会 黒木
 3月16日(水) 医療職退職者セレモニー
 3月17日(木) 岐阜県国保診療施設協議会 WEB 会議 黒木
 岐阜県国保地域医療学会実行委員会 WEB 会議 黒木、佐藤
 3月18日(金) 大垣市民病院第3回研修管理委員会 WEB 黒木
 富山大学附属病院臨床研修病院群研修管理委員会 WEB 黒木
 富山大学附属病院専門研修プログラム連絡協議会 WEB 黒木
 飛騨地域就職ガイダンス 高山 豊坂
 3月22日(火) 飛騨市総合政策審議会 古川 佐藤
 3月23日(水) 救急合同勉強会
 3月24日(木) 第1回飛騨市民病院 NST 摂食嚥下研修会 工藤他
 3月25日(金) 第1回岐阜県へき地医療対策委員会 WEB 黒木

第10回飛騨市民病院

病院祭 講演会

配信



黒木嘉人 飛騨市民病院 病院長

病院の近況について

中林玄一 第Ⅱ診療部長 ICD(インフュージョンコントロールドクター)

ここまで分かった新型コロナNow！～生活をとりもどす共生の展望～

木下裕子 飛騨市終活支援センター(飛騨市社会福祉協議会内)終活アドバイザー

今とこれからを生きる終活

野村善博 日本高血圧学会 減塩・栄養委員会 アドバイザー

減塩食品の上手な選び方・使いかた(仮)

2021年11月20日(土)10:00開始

コロナを乗り越え、築こう健やかな明日を！

第10回 飛驒市民病院 病院祭

第10回 飛驒市民病院 病院祭
コロナを乗り越え、築こう健やかな明日を！



■ 題目
病院の近況について

■ 講師
飛驒市民病院
管理者兼病院長 黒木嘉人








- 本日のお話
- ◆ 病院機能、経営状況
 - ◆ 新型コロナウイルス
 - ◆ 住民の皆さまのご支援
 - ◆ 人材確保・教育研修
 - ◆ 今後

- 本日のお話
- ◆ 病院機能、経営状況
 - ◆ 新型コロナウイルス
 - ◆ 住民の皆さまのご支援
 - ◆ 人材確保・教育研修
 - ◆ 今後

飛驒市人口
2021年4月1日

飛驒市 23,227 高齢化率 39.65%
神岡町 7,678 高齢化率 46.30%

飛驒市民病院 概要
(令和3年4月)

- ・【病床数】 81床
(一般病床54床(地域包括ケア病床20床)、医療療養病床27床)
- ・【医師数】 常勤5名
- ・【診療科】 17科 (青:非常勤)
内科、外科、小児科、総合診療科、緩和ケア
(循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内科、整形外科、脳外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、心血管外科)



地域医療構想を踏まえた 飛騨市民病院 果たすべき役割

1. 急性期医療（一次・二次救急）
2. 地域密着の回復期病床機能（地域包括ケア病床）、医療依存度の高い療養病床機能
3. 在宅医療及び在宅療養支援、プライマリケア、慢性疾患に対する医療提供



どこかに合併されるとか
無くなることはありません！

救急・急性期医療から
慢性期・保健・在宅医療まで、
オールインワンの
地域包括・医療ケアを実践

 飛騨市民病院
HIEGA MUNICIPAL HOSPITAL



断らない
救急医療



救急車の応需率
99.2% (2020年度)

重症患者さんはドクターヘリで



富山まで
飛行時間
わずか10分

富山県岐阜県ドクターヘリ共同運航開始
平成27年8月～

病床数91から81床へ
ダウンサイジング

 飛騨市民病院
HIEGA MUNICIPAL HOSPITAL

2021年1月1日～
回復期機能にシフト

81 床	1病棟 54床 (一般病床)	急性期 32床 (平均在院日数21日以内)
		地域包括ケア病床20床 (回復期 60日以内)
	2病棟 27床 (療養型病床) 入院日数上限なし 医療区分に該当が必要	

在宅支援実績
2020年度

 飛騨市民病院
HIEGA MUNICIPAL HOSPITAL

年度		2019	2020
訪問診療	同一建物 以外	166	105
	同一建物	138	119
	合計	304	224
往診		15	13



岐阜県看護協会訪問看護ステーションと連携(2017年10月～)

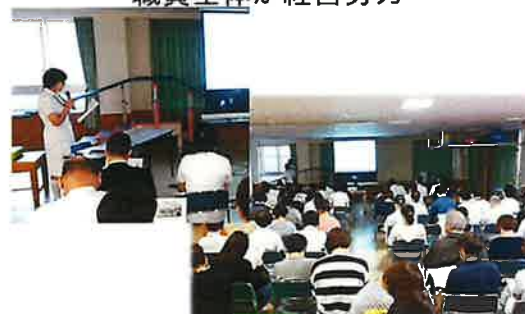
誤嚥性肺炎減少への画期的対策
完全側臥位法

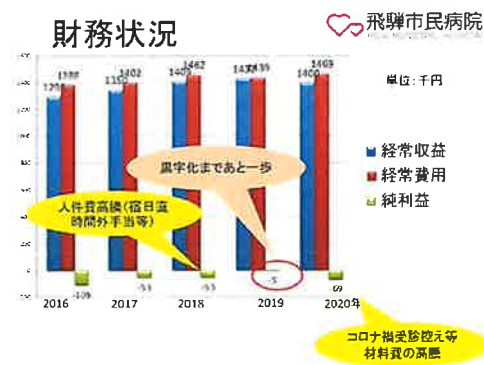


重力の作用で中～下咽頭の側壁に食塊が貯留しやすくなる
ように**体幹側面を下にした姿勢**で経口摂取する方法

高齢者医療の
最先端

部署別目標発表会
職員全体が経営努力





本日のお話

飛騨市民病院
H27.4.1～H28.3.31 決算年度

◆ 新型コロナウイルス

ICD(インфекションコントロールドクター) 中林玄一医師

飛騨市民病院
H27.4.1～H28.3.31 決算年度

新聞特刊に例えると分かりやすいです！
今 飛騨びと が大切にしたい
コロナウイルス対策
Vol.2 ニュース
医師 中林 玄一 先生

わかりやすい新型コロナ対応 (飛騨市民病院)

2020年2月と早い時期
からホームページなどで
市民に情報提供を開始
しました

院内、感染予防設備



感染防護具



感染防護具の着脱訓練
介護施設にも看護師が
出張指導へ



NPO法人神岡・まちづくりネット
ワーク様より防護具の贈呈
他にも多くの皆さまからいた
だきました

PCR検査(ID-NOW: 等温核酸増強法)

飛騨市民病院
H27.4.1～H28.3.31 決算年度



このPCR検査は結果が即座に、正確と信頼性、検査結果が正確であるため「検査による感染拡大」が抑えられ、
飛騨市民病院ではPCR検査が移動して、PCR検査が実施されています。スタッフも感染しています。

入院患者クラスター

飛騨市民病院
H27.4.1～H28.3.31 決算年度

- 2021年5月19日～5月31日、入院患者5名に
新型コロナウイルス陽性
- 入院患者さん、スタッフに繰り返しPCR検査
- 連日対策会議、保健所と連絡
- 6月15日より岐阜県からのクラスター終息宣
言を受けて、飛騨保健所の指導のもと終息宣
言をし、通常どおりの入院受け入れを再開
- 職員から感染者発生ゼロ

飛騨市民病院

オンライン面会

飛騨市民病院
TOYAMA MUNICIPAL HOSPITAL



災害訓練

飛騨市民病院
TOYAMA MUNICIPAL HOSPITAL



高原郷ケアネット

飛騨市民病院
TOYAMA MUNICIPAL HOSPITAL



ZOOMによるオンライン形式へ

2020年7月～
介護現場における新型コロナウイルス対策



コロナ禍での実績

飛騨市民病院
TOYAMA MUNICIPAL HOSPITAL

回	日時	内容	参加数
10	2020.7.22	講演: 新型コロナウイルス～介護力を保つ感染制御の方法とは～、各事業所における対策・対応の発表	86
11	2020.9.14	講演: 新型コロナウイルス感染症に関する応援体制及び行政支援策についての情報提供、各事業所におけるシミュレーション等の発表	107
12	2020.11.26	グループワーク: 冬に向けてコロナに負けない対策 ①独自に取り組んでいること、工夫していること ②困っているけど、どうしていいかわからないこと	83
13	2021.2.18	講演: 市内介護施設における感染者発生への振り返りについて、グループワーク: ①突然の事業所内感染発生時における心構えや対策について ②事業所職員における仮定での感染対策について	99
14	2021.6.14	業務継続計画の作成と感染発生時の対応について、2事業所から実践発表、グループワーク	89



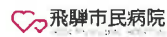
飛騨市市民病院 飛騨市市民病院 飛騨市市民病院



コロナ禍での実績

回	日時	内容	参加数
10	2020.7.22	講演: 新型コロナウイルス～介護力を保つ感染制御の方法とは～、各事業所における対策・対応の発表	86
11	2020.9.14	講演: 新型コロナウイルス感染症に関する応援体制及び行政支援策についての情報提供、各事業所におけるシミュレーション等の発表	107
12	2020.11.26	グループワーク: 冬に向けてコロナに負けない対策 ①独自に取り組んでいること、工夫していること ②困っているけど、どうしていいかわからないこと	83
13	2021.2.18	講演: 市内介護施設における感染者発生への振り返りについて、グループワーク: ①突然の事業所内感染発生時における心構えや対策について ②事業所職員における仮定での感染対策について	99
14	2021.6.14	業務継続計画の作成と感染発生時の対応について、2事業所から実践発表、グループワーク	89

新型コロナウイルス ワクチン接種

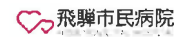


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
医療従事者等	210	474	269	7	3	0	0	0	963
一般	0	272	3059	2838	1011	697	257	42	8176



最高 192人/日 接種

新型コロナウイルス ワクチン接種



職域接種(神岡商工会議所)

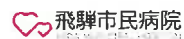
月日	医師	薬剤師	看護士	合計
9/5	2	1	10	13
9/11	2	1	10	13
10/3	2	0	10	12
10/9	2	0	10	12
合計	8	2	40	50



大規模接種(医師:高山市で)

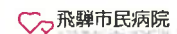
月日	午前	午後	合計
9/4	1		1
9/18	1		1
9/19		1	1
10/3	2		2
10/9	1		1
10/10	1		1
10/23	2	1	3
10/24	1		1
11/13	1		1
合計	10	2	12

宿泊料用施設 看護師派遣 (高山観光ホテル)



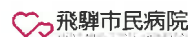
月	日数	出役依頼実現なし	合計
5月	4		4
6月	1	1	2
7月			
8月	2		2
9月	2		2
10月	2		2
11月		1	1
合計	11	2	13

本日のお話



◆ 住民の皆さまのご支援

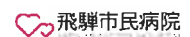
飛驒市民病院を守る会



病院周辺と医師・研修医住宅の草刈り
ボランティア活動

入院患者さんへの食事介助

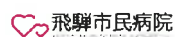
飛驒市民病院を守る会



2階デイルームの椅子、テーブルのご寄付



飛驒市民病院を守る会

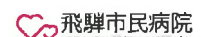


針田俊一会長が飛驒市「未来づくり賞」を受賞



新型コロナウイルスワクチン接種への協力

『飛驒市民病院へありがとうの 花を咲かせよう』 『神岡新聞販売協会さま』主催



この他にも、市民の皆さま
からたくさんの暖かいご支
援、応援を頂き心より感謝
致します

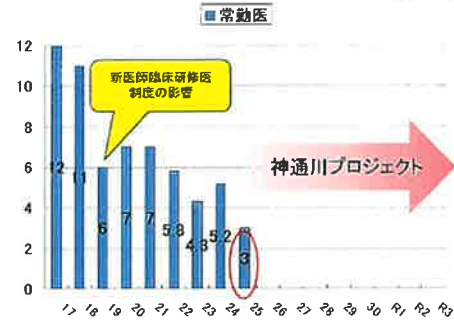
本日のお話

飛驒市民病院

◆ 人材確保・教育研修

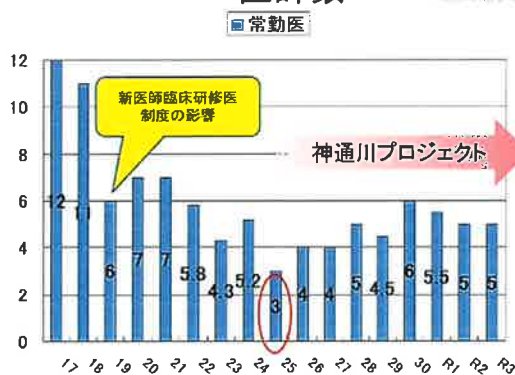
医師数

飛驒市民病院



医師数

飛驒市民病院



神通川プロジェクト



飛驒市民病院



人は富山から 資金は岐阜から

飛驒市民病院

岐阜県地域医療確保事業費補助金

- 2012年度から富山大学と協力し地域医療実習事業(神通川プロジェクト)を開始。
- 資金には岐阜県地域医療確保事業費補助金が充てられた。
- 県を超えたコラボレーション事業。
- 整った学習環境のために、机、パソコン、各種教材を整備し、専用の宿舎を準備。

医学生地域医療実習

年度	富山大学 神通川プロジェクト	岐阜大学M3地域配属 実習(夏季)
24	45	3(1)
25	22	2(4)
26	12	3
27	13	3
28	11	0
29	9	0(1)
30	9	1
1	7	1
2	9	1
3	8	0(2)
合計	145	14(8)

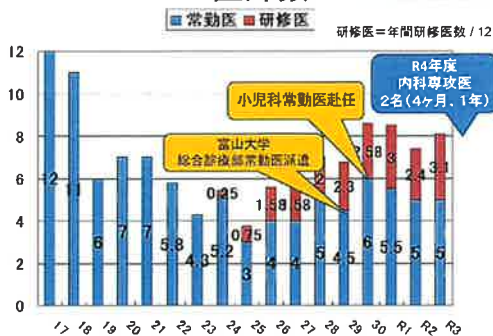
研修医の受け入れ人数

飛驒市民病院



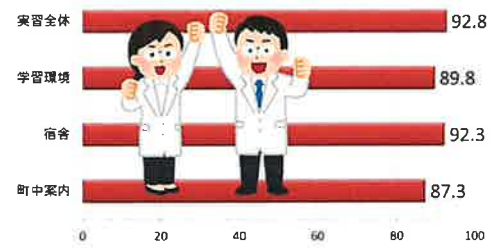
医師数

飛驒市民病院

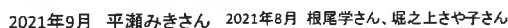


満足度 (VAS 平均値)

飛驒市民病院



飛驒市民病院



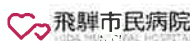
- 就職常勤医
- 富山大学附属病院総合診療部派遣
- 自治医科大学卒業(岐阜県派遣)
- 非常勤医師派遣(専門医、宿日直医)
- 初期研修医(1~2ヶ月)
- 専門医専攻医(4ヶ月~1年)
- 岐阜大学地域枠卒業生(地域医療コース)
- 医学生の積極的受け入れ
- 高校生へ情報発信(飛騨市奨学金制度)
- 民間医師派遣業者

- ・ 患者層の高齢化
- ・ 認知症
- ・ 転倒・転落
- ・ 医療や介護や依存度が高い
- ・ 看護師も高齢化、人員不足

飛驒市民病院

飛驒市民病院

看護学生(中部学院大学)の 受け入れ 2020年8月



看護師さんが
温かい人ば
かりで実習が
しやすかった

丁寧に関わり添って指
導してくれたことが
印象に残っている

全国への情報発信で

令和4年度から
北海道出身
新人看護師さ
ん就職予定!



ふるさと納税



地域医療を支える『人づくり』を目的とした、研修
医・学生が一定期間居住する住宅の維持・整備
や、研修環境の充実、里山ナースにつながる学び
への支援などに活用させていただきます。



2020年度 5000万円

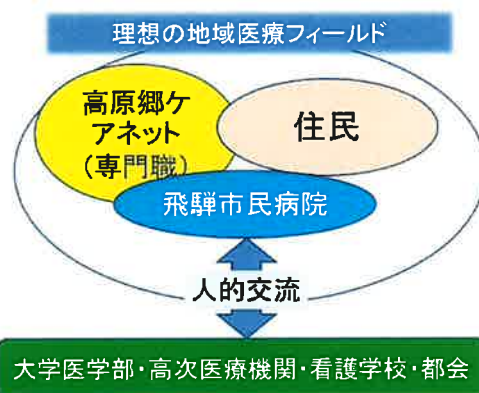
本日のお話



◆ 今後

飛驒市民病院中期計画2025

- I. 地域包括医療・ケアの実践
子供から高齢者まで 自分らしく 安心して暮らせる
地域づくり
- II. 地域に関わり添うプロフェッショナル人材の涵
養(かんよう)
ホスピタリティ
- III. 新たなステージを見据えた収支バランスの
最適化



理想の地域医療ケアタウン

KAMIOKA
Neu-Care Town

飛驒市民病院の基本理念



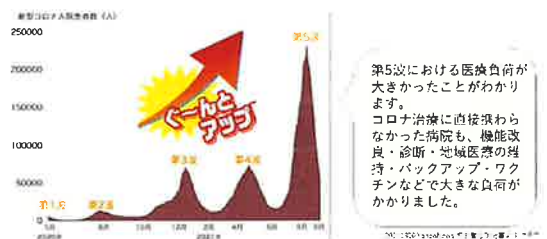
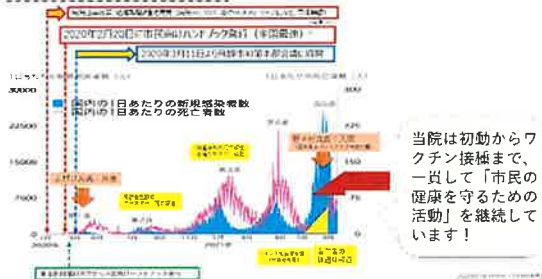
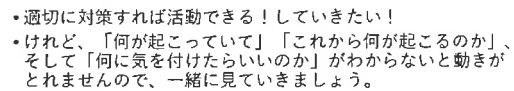
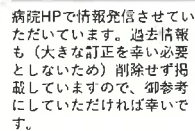
- 一、思いやりの心
- 一、信頼される医療
- 一、地域を愛し愛される病院

ご清聴ありがとうございました 飛驒市民病院

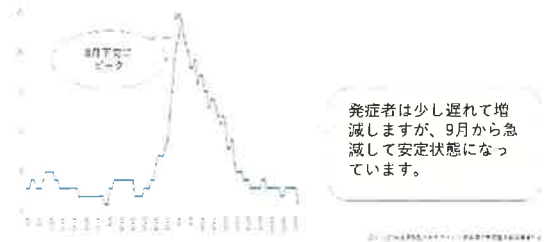
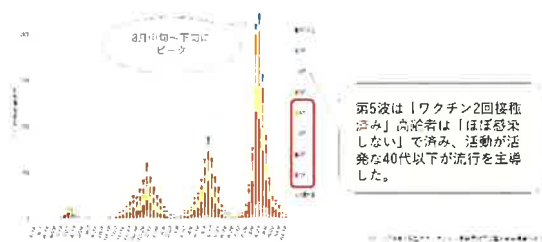


今日の趣旨と
Limitation (限界)

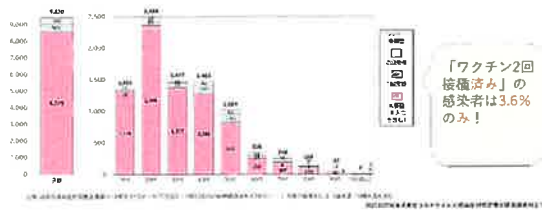
- 
- Mick Blood Reception of Local Blood on Inside of Child's Body
- My Blood
1. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 2. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 3. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 4. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 5. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 6. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 7. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 8. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 9. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。
 10. 血を吐き出し、ウチを食う血をウチに、
 深く咬む血を食う血とある小説に引いて、実験に
 に使っている。



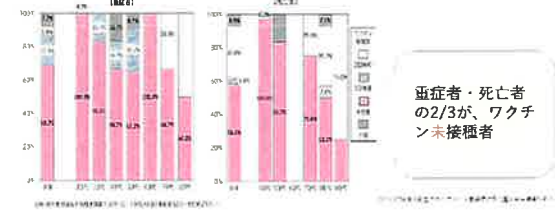
重症者（週別・岐阜県）



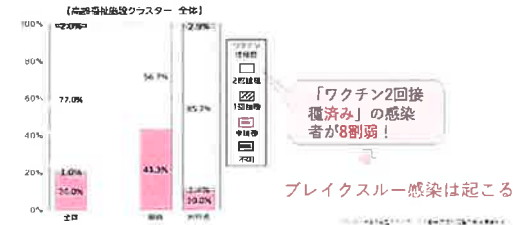
第5波における ワクチン接種歴（岐阜県）



重症者・死亡者における ワクチン接種歴（第5波・岐阜県）



高齢福祉施設クラスター （第5波・岐阜県）



感染パターンを 決定する要素

- ・ 実効再生産数 (R0)
- ・ ウイルス自身の性質 (ステルス性・重症化率の低さ・全量)
- ・ ワクチンの効果 (感染下の低下・休止状下・重症化率)
- ・ 換気 (施設による空気環境整備)
- ・ 文化背景 (大声で話す・横着・マスク好き/厄)
- ・ 社会的な密着性 (慣れによる安心)
- ・ 食生活の乱れ (調理方法・気遣い (特にCOVID 19に準拠な調理法を待つ家族・密着の存在))
- ・ 集まり行動 (宴会・パーティー、移動・密着・出張、等々)
- ・ 幸あれなど個人防衛

ウイルスの性質以外にも変数が多く、単純な統計的分析が困難です。これが収束原因に関する報道の面切れの悪さに繋がっていると考えられます。

非医学的な要因は 意外に大きく関与か？

- ・ 第5波においては途中から若年者の重症化・後遺症の報告が報道・浸透し、タレントの野々村氏の辛い闘病報道がバラエティで報道された(普段ドキュメンタリーやニュースを見ない層にインパクトが大きい)効果もあり、若年者の恐怖が急上昇し、感染が急速に消滅したとされています。これは昨年の志村けんさんによる第1波の急な収束と同様の効果です。
- ・ 若年感染が中〜高齢者へ波及することを防ぐ点に関してはワクチンが非常に大きな役割を果たしたと考えられており、9月中旬以降には若年者の感染抑制にも目に見える効力を発揮してきていると見ています。

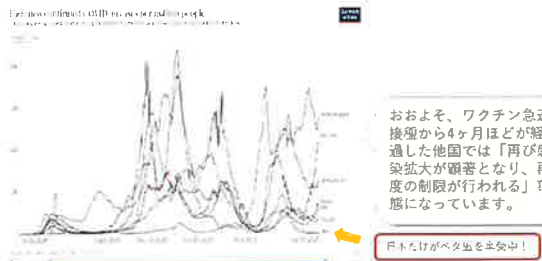
ワクチンは大きな収束要因ですが、普及前にピークを迎えたのは社会活動の活発な年齢層の行動抑制が大きかったと考えられます。

各国のワクチン接種率



日本のワクチンは厚生労働省の報告によると接種が進みました。その一方で、最近の急激な接種における社会実装(高齢者中心)の浸透率はまだまだ低いままです。この場合は「自身の感染は低減しない」という、再び自由になる見込みは低いと考えられ、感染抑制は「数回にわたる接種の浸透率」によるものと見られます。

他国の新規感染者



第6波は来るんですか？

- ・ 「恐怖」の減少に伴い、人々は「2週間後の会食の予定」「1ヶ月後の家族旅行(パーティー)の予定」「2ヶ月以内の旅行の予定」を入れ始めます。
- ・ 結果として必然的に「少し期間をおいて感染者の流入を減らしていく」と予想されています(これが仮と仮の間に一定の期間が経過する理由を考えています)。
- ・ 今後はワクチン接種の受入タイミングと、受入行動を考えると、(残念ながら)12月に第6波の到来が懸念されます。

経路を辿りにくいステルス化が進行



感染収束とは？(歴史的に)

そもそも「勝手に弱毒化？」って何？

- ・ 弱毒化とは感染したウイルスの増殖は以下の程度に抑えられる。
- ・ 弱毒化の要因は、そのウイルスに感染した宿主が持つ免疫(抗体)によるものである。
- ・ 弱毒化の要因は、そのウイルスに感染した宿主が持つ免疫(抗体)によるものである。
- ・ 弱毒化の要因は、そのウイルスに感染した宿主が持つ免疫(抗体)によるものである。

第5波の第5波収束においては、まことしやかにウイルスの弱毒化による収束、という説が流れていますが、感染対象が存在する状況下では、不利な条件が示されています。『今の状況に有利な収束が何かに誘われるだけ』と考えられます。



このまま感染抑制の継続だと どうなる可能性？

- ・ ワクチン・マスクなど防疫活動による抑制は有効

- ・ しかし(人間以外の)ペット、野牛牛馬を含めたウイルス保有のため自然から消えない
- ・ 免疫は減弱して、ブレクスルー感染を起こす(ワクチン2回の免疫効果は、他国の状況から約4か月と推定される)
- ・ 人口の1%が感染しただけで100万人の感染者と多数のため、ワクチン切れと感染拡大による医療・経済正逆を招くことが懸念される。
- ・ 国民へのワクチンの定期反応と、多量の医療機関、定期的な検査事業が続く・・・？



第10回 飛騨市民病院 病院祭
コロナを乗り越え、築こう健やかな明日を！

■題目
今とこれからを生きる終活

■講師
飛騨市終活支援センター
飛騨市社会福祉協議会内
終活アドバイザー 木下 裕子 氏




今とこれからを 生きる終活

人生の後半戦を生き生きと過ごすために

1. 終活を取り入れた生き方

- 終活は全ての人に間わる活動
- 終活には暗いイメージがつきまとう
- 避難訓練は何のためにする？
- 自分のことや身の周りのことを色々決めて整理
- 気力・体力があるうちに出来るところから



2. 飛騨市終活支援センター

- 生前整理と遺族支援を目指す
- 事業内容
 - ・終活リレー講座
 - ・終活フェア
 - ・終活出前講座
 - ・終活相談



3. 終活相談について

- 相続の問題
- 不動産の処分
- 死後事務委任
- 相談者の年齢層が高い



4. エンディングノートを書く

- 必要な事は全て項目になっている
- まずは『書く』という一歩を踏み出す
- 終末期のことも考えてみる
- 『わたしの心づもり』



5. 今の自分に必要な物を選ぶ

- 捨てられない 片付けられない悩み
- 『もったいない』という思い
- 安全で清潔な暮らしをおくるために
- 今の自分に必要なモノを選び抜いていく



6. 今とこれからを生きる

- 死のための準備ではない
- 早い時期から
- 人生の後半戦を生き生きと過ごすために



飛騨市終活支援センターは
いつでも あなたを支援します

第10回 飛騨市民病院 病院祭
コロナを乗り越え、築こう健やかな明日を！

■題目
減塩食品の
上手な選び方・使いかた

■講師
日本高血圧学会減塩・栄養委員会
アドバイザー 野村 善博 氏




看護部管理委員会	第2水曜日	岩崎 美幸	看護部管理委員会									
			看護部長	地域連携室 看護師長	第Ⅰ病棟 看護師長	第Ⅱ病棟 看護師長	総合看護師長	第Ⅰ病棟 主任看護師	第Ⅱ病棟 主任看護師	総合看護主任		
			岩崎 美幸	小林 洋子	後藤 弘子	荒家 千夏	谷村 こずえ	大庭 のりこ	橋本 留美子	逢坂 ゆきみ	宮本 洋子	
第Ⅰ病棟運営部会	第3水曜日	後藤 弘子	看護部長	第Ⅰ病棟 主任看護師	第Ⅱ病棟 主任看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			後藤 弘子	大庭 のりこ	橋本 留美子	箕成 史恵	神田 敬子	倉氣 千晶	溝口 香津恵	曾根 恭子	今井 晴美	稲松 絵美
			看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			中野 亜幸	宮腰 結衣	坂腰 朋子	荒井 仁美	山崎 美奈子	南下 夏美	清水 佳菜子	香 一枝	井上 厚子	谷口 ゆかり
第Ⅱ病棟運営部会	第1水曜日	荒家 千夏	看護部長	第Ⅱ病棟 主任看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			荒家 千夏	逢坂 ゆきみ	西本 明子	相崎 伊奈美	松葉 明美	田口 純子	大門 みどり	坂口 友恵	星合 紀美子	下坂 亮太
			看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			林 綾子	沖本 あゆみ	木下 真奈美	仲養 恵美	清辺 孝子	大島 優子				
外来運営部会	随時	谷村 こずえ	看護部長	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			谷村 こずえ	小森 弘子	小瀬 恵子	丸山 喜美	米田 朗子	本田 菜美子	横井 晶代	岡田 みなみ	関屋 純子	山平 公子
医療連携部会		小林 洋子	看護部長	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			小林 洋子	中口 幸恵	松坂 志乃	吉中 利那						
手術・人工透析運営部会	随時	谷村 こずえ	看護部長	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			谷村 こずえ	宮本 洋子	植野 優子	岩野 祐実	石川 和彦	富本 善教	桑山 三四郎	水口 正博		
看護部教育委員会	第3木曜日	大庭 のりこ	看護部長	第Ⅱ病棟 主任看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			大庭 のりこ	荒家 千夏	橋本 留美子	中野 亜幸	岩崎 美幸					
看護記録委員会	第1木曜日	逢坂 ゆきみ	看護部長	第Ⅰ病棟 看護師	第Ⅱ病棟 看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			逢坂 ゆきみ	箕成 史恵	今井 晴美	山越 亜衣	松葉 明美	岩崎 美幸				
看護基準・手順委員会	第2火曜日	荒家 千夏	看護部長	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			荒家 千夏	神田 敬子	岩崎 美幸							
転倒転落子一ム	随時	橋本 留美子	看護部長	第Ⅰ病棟 看護師	第Ⅱ病棟 看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師	看護師
			橋本 留美子	倉氣 千晶	大坂 高子	荒井 仁美	坂口 友恵	岩崎 美幸				
事務運営部会	随時	佐藤 直樹	管理室長	管理調整係長	地域医療M	医事係長	管理調整係主査	医事係主任	管理課(薬剤師)	医療事務	事務補助	事務補助
			佐藤 直樹	豊坂 梨緒	上葛 健介	大坂 学	林下 明史	徳田 湊祐	加藤 淑恵	白鳥 沙弥香		
			診療情報管理士	医療事務	医療事務	医療事務	医療事務	医療事務	医療事務	医療事務	事務補助	事務補助
			今井 晶子	庵井 美由紀	大坪 寿賀子	上出 友美	清水 里美	堀田 奈緒子	清水 早苗	河内 京子	山口 冬香	松田 美香

[illegible]

運営業務部門	広報・ホームページ委員会		随時	大坂 学	管理室長 看護部長 薬局長 管理調整係長 地域医療M 医事係長 管理調整係主査 医事係主任 管理課(薬剤師)									
	ブ ロ ー ア ー グ ル ー プ	コ ア ー チ ン グ ワ ー キ ン グ グ ル ー プ			佐藤 直樹	岩崎 美幸	日比 孝之	豊坂 梨緒	上葛 健介	大坂 学	林下 明史	徳田 琢祐	小野 剛	
医療安全部門	第4木曜日	コ ア ー チ ン グ ワ ー キ ン グ グ ル ー プ	岩崎 美幸		病院長	地域連携室 看護師長	第Ⅰ病棟 看護師長	第Ⅱ病棟 看護師長	総合看護師長	リハビリ科長	管理室長			
					黒木 嘉人	小林 洋子	後藤 弘子	荒家 千夏	谷村 こずえ	森本 彰	佐藤 直樹			
					看護部長	管理室長	管理調整係長	理学療法士	理学療法士	理学療法士	第Ⅰ病棟 看護師長	第Ⅱ病棟 看護師長	第Ⅰ病棟 看護師	第Ⅰ病棟 看護師
					岩崎 美幸	佐藤 直樹	豊坂 梨緒	黒之内 大輔	谷口 敬康	洞口 拓也	荒家 千夏	達坂 ゆきみ	宮腰 結衣	中野 亜季紗
					病院長	看護部長	第Ⅰ病棟 看護師長	第Ⅱ病棟 看護師長	総合看護師長	第Ⅰ病棟 看護師	第Ⅱ病棟 看護師	第Ⅰ病棟 看護師	第Ⅱ病棟 看護師	臨床工学士
	第3月曜日	リ ス ク マ ナ ジ メ ン ト 委 員 会	荒家 千夏		黒木 嘉人	岩崎 美幸	荒家 千夏	谷村 こずえ	後藤 弘子	今井 晴美	山崎 美奈子	坂口 友恵	富本 善敬	
					薬局長	主任臨床検査技師	放射線技師	管理栄養士	理学療法士	管理室長				
					日比 孝之	中桐 あさ子	田口 リエ	日比野 一輝	森 祐加恵	佐藤 直樹				
					第Ⅰ診療部長	総合看護師長	透析室主任	臨床工学士	臨床工学士	臨床工学士				
					工藤 浩	谷村 こずえ	石川 和彦	宮本 洋子	富本 善敬	桑山三四郎	水口 正博			
	第1木曜日 14:00～	院 内 感 染 委 員 会	中林 玄一		第Ⅱ診療部長	病院長	看護部長	第Ⅰ病棟 看護師長	第Ⅱ病棟 看護師長	地域連携室 看護師長	総合看護師長	第Ⅰ病棟 看護師	第Ⅱ病棟 看護師	総合看護主任
					中林 玄一	黒木 嘉人	岩崎 美幸	後藤 弘子	荒家 千夏	小林 洋子	谷村 こずえ	大庭 のりこ	宮本 洋子	
					薬局長	主任臨床検査技師	放射線科長	作業療法士	管理栄養士	管理室長				
					日比 孝之	中桐 あさ子	西 達也	今井 亮貴	日比野 一輝	佐藤 直樹				
					第Ⅰ診療部長	看護部長	第Ⅱ病棟 看護師長	総合看護師長	総合看護主任	薬局長	主任臨床 検査技師			
災害対策委員会	随時	輸 血 法 委 員 会	中桐 あさ子		工藤 浩	後藤 弘子	荒家 千夏	谷村 こずえ	宮本 洋子	日比 孝之	中桐 あさ子			
					第Ⅱ診療部長	放射線科長	主任 放射線技師	放射線技師	総合看護主任					
					中林 玄一	西 達也	久保 満	田口 リエ	宮本 洋子					
					管理室長	管理調整係長	管理調整係主査	看護部長	主任臨床 検査技師					
					佐藤 直樹	豊坂 梨緒	林下 明史	岩崎 美幸	中桐 あさ子					
	第2金曜日	災 害 対 策 委 員 会	岩崎 美幸		病院長	看護部長	地域連携室 看護師長	第Ⅰ病棟 看護師長	第Ⅱ病棟 看護師長	総合看護師長	第Ⅰ病棟 看護師	第Ⅱ病棟 看護師	透析室主任	
					黒木 嘉人	岩崎 美幸	小林 洋子	後藤 弘子	荒家 千夏	谷村 こずえ	稲松 絵美	中野 亜季紗	田口 純子	石川 和彦
					主任臨床検査技師	管理栄養士	理学療法士	管理室長	管理調整係長	医事係長	管理調整係主査			
					中桐 あさ子	日比野 一輝	洞口 拓也	佐藤 直樹	豊坂 梨緒	大坂 学	林下 明史			
					産業医	病院長	第Ⅰ診療部長	管理室長	看護部長	病院部長	病院部副部長	病院部書記	病院部代議員	病院部代議員
労働安全衛生法施行令第9条	毎月の 職場巡視	衛 生 委 員 会	黒木 嘉人		小田切 春洋	黒木 嘉人	工藤 浩	佐藤 直樹	岩崎 美幸	達坂 ゆきみ	黒之内 大輔	豊坂 梨緒	中野 亜季紗	樋野 優子
														荒井 仁美

オ
フ
ザ
ー
バ
ー
黒木嘉人

飛驒市病院管理室 事業概況

目 次

I	施設の概況	
1.	診療概況	93
①	飛騨市民病院	93
②	介護医療院たかはら	97
	老人保健施設たかはら (たかはらと表記)	
2.	病院の沿革	98
①	飛騨市民病院	98
②	たかはら	103
3.	管理機構図	105
4.	診療科目等の推移	106
5.	職員数の推移	107
6.	主な医療機器等の整備状況	109
II	業務の概況	
1.	業務実績	111
2.	診療科別患者数	112
3.	年代別患者数	113
4.	地域別患者数	114
5.	病床利用率	114
6.	飛騨市民病院の病床別利用状況	115
7.	休日・時間外の患者受入状況	115
8.	救急車受入件数	115
9.	飛騨市消防の救急搬送の状況	116
10.	調剤処方箋枚数	117
11.	放射線撮影件数	117
12.	検査取扱件数	117
13.	手術件数	118
14.	給食数	118
15.	透析件数	118
16.	リハビリ件数	119
17.	健康診断件数	119
18.	研修医・学生実習	119
III	財務の概況	
1.	年度別損益計算書	120
2.	年度別資本的収支	122
3.	年度別貸借対照表	123
4.	年度別補助事業等明細	126
IV	経営分析	
1.	飛騨市民病院経営分析	129
2.	医業収益・医業費用増加率	131

I 施設 の 概 況

1. 診療概要

本市には、昭和 24 年 10 月 1 日に当時の船津町が岐阜県農業会連合会から病院を買い取り公立病院として開設したのが始まりの「飛騨市民病院」と、神岡鉦山病院（開設者・神岡鉦業㈱）の経営委譲により平成 11 年 4 月 1 日開設した「ケアホスピタルたかはら」から介護保険施設へ転換した「介護医療院たかはら」がある。

平成 18 年度末に富山大学派遣医師の引き揚げと小児科医師の退職があり、常勤医師の確保が非常に困難な状況となった。このため、平成 20 年 4 月 1 日に、飛騨市民病院は一般病院からケアミックス型病院へ転換し、一般病床 58 床、療養病床 33 床とした。平成 29 年 1 月より地域包括ケア病床を 8 床導入し、一般病床 50 床、地域包括ケア病床 8 床、療養病床 33 床とした。平成 30 年 4 月より地域包括ケア病床を 4 床増床し、一般病床 46 床、地域包括ケア病床 12 床、療養病床 33 床とした。令和 3 年 2 月より地域包括ケア病床を 8 床増床し、一般病床 54 床、療養病床 27 床とした。

また、飛騨市民病院に療養病床を設置したことに伴い、ケアホスピタルたかはら（介護療養型医療施設 入所定員 76 人）を平成 20 年 3 月 31 日で廃止し、平成 20 年 4 月 1 日から老人保健施設たかはら（介護老人保健施設 入所定員 76 人）を開設した。令和元年 10 月 1 日には、老人保健施設たかはらを社会福祉法人神東会に指定管理委託し、さらに令和 2 年 4 月 1 日には入所定員を 58 人に改めて介護医療院に転換し「介護医療院たかはら」として再出発した。

① 飛騨市民病院

- ・所在地 岐阜県飛騨市神岡町東町 7 2 5 番地
- ・敷地 6, 6 6 9 m²
- ・建物 鉄筋コンクリート造 3 階建
建築面積 3, 3 4 3 m²
延べ床面積 6, 2 3 7 m²
- ・診療科目 内科、外科、小児科、整形外科、眼科、耳鼻いんこう科、脳神経外科
泌尿器科、婦人科、皮膚科、心臓血管外科、呼吸器内科、循環器内科
腎臓内科、糖尿病内科 （1 5 診療科）
- ・許可病床 一般病床 5 4 床（うち、地域包括ケア病床 2 0 床）
療養病床 2 7 床 合計 8 1 床
- ・診療時間 土・日曜日、休日、年末年始を除く 午前 9 時から午後 5 時まで
- ・法的資格 地方公営企業法一部適用
- ・届出事項 令和 4 年 4 月 1 日現在

【基本診療】

機能強化加算

一般病棟入院基本料 5 (看護配置 10 対 1)

療養病床入院基本料 1 (看護配置 20 対 1 8 割以上)

診療録管理体制加算 2

救急医療管理加算

栄養サポートチーム加算

感染防止対策加算 2

後発医薬品使用体制加算 2

データ提出加算

入退院支援加算

認知症ケア加算

せん妄ハイリスクケア加算

地域包括ケア入院医療管理料 1

【特掲診療】

がん性疼痛緩和指導管理料

がん患者指導管理料イ

がん患者指導管理料ロ

ニコチン依存症管理料

がん治療連携指導料 (高山赤十字病院、富山大学附属病院)

肝炎インターフェロン治療計画料

薬剤管理指導料

電子的診療情報評価料

在宅療養支援病院 3

在宅時医学総合管理料

検体検査管理加算 (Ⅱ)

C T 撮影及びMR I 撮影 (CT 64 列 MRI 1.5T)

無菌製剤処理料

脳血管疾患等リハビリテーション料 (Ⅱ)

運動器リハビリテーション料 (Ⅰ)

呼吸器リハビリテーション (Ⅱ)

がん患者リハビリテーション加算

人工腎臓

導入期加算 1

手術の通則の 16 に掲げる手術 (胃瘻造)

胃瘻増設時嚥下機能評価加算

【入院時食事療養】

入院時食事療養 (Ⅰ) ・ 入院時生活療養 (Ⅰ)

【その他】

酸素単価

- ・機関指定 保険医療機関、国民健康保険医療取扱機関、労災指定医療機関、救急告示病院、生活保護法指定医療機関、介護保険法指定事業所（訪問リハビリ）
指定自立支援医療機関（精神通院医療）

・人工透析 14床

・看護体制

ア 看護体系 一般病床 10：1 療養病床 20：1
イ 看護単位 2 単位
ウ 勤務時間 日勤 8:30～17:15 夜勤 16:30～9:00

・食 事

食事時間 朝食 7:30 昼食 12:00 夕食 18:00

・院外処方箋発行

全科発行

・救急業務

第二次救急指定病院、病院群輪番制病院（月・木）

・検(健)診業務

ア 公衆衛生活動 保育園検診、学校検診、予防接種等
イ 事業所検診
ウ 短期人間ドック 一般ドック、脳ドック
エ 特定健診 協会けんぽ、市町村共済等

オ すこやか健診 飛騨市

・診療体制

（令和3年4月1日現在）

診療科目	医師数	外来診療時間	外来診療 単 位	入院 可否	摘 要
総 合	常勤 5	9:00～12:00 14:00～17:00	AM 1～4 PM 1～2	○	
呼吸器内科		9:00～12:00	AM 1	×	火・金曜日
循環器内科		9:00～12:00	AM 1	×	月・水曜日
腎臓内科		9:00～12:00	AM 1	×	月曜日
糖尿病内科		9:00～12:00	AM 1	×	木曜日
リウマチ膠原病 内科		9:00～12:00	AM 1	×	第2・4火曜日
外 科	常勤 1	9:00～12:00	AM 1	○	月・火・水・木曜日

眼 科		12:00～17:00	PM 1	×	第 1 ・ 3 ・ 5 金曜日
		12:00～16:00	PM 1		第 2 ・ 4 金曜日
整形外科		10:00～12:00	AM 1	×	月曜日
		9:30～12:00	AM 1		水・金曜日
		9:00～12:00	AM 1		木曜日
小児科	常勤 1	9:00～17:00	AM 1 PM 1	×	月・火・木・金曜日
耳鼻いんこう科		14:00～17:00	PM 1	×	月・木曜日
脳神経外科		9:00～12:00	AM 1	×	火曜日
泌尿器科		9:00～12:00	AM 1	×	水曜日
婦人科		9:30～13:00	AM 1 PM 1	×	火曜日
皮膚科		14:00～17:00	PM 1	×	月曜日
		9:00～12:00	AM 1		金曜日
心臓血管外科		9:00～12:00	AM 1	×	第 2 ・ 4 木曜日

② 介護医療院たかはら

- ・所在地 岐阜県飛騨市神岡町殿1081番地19
- ・敷地 6,667㎡
- ・建物 鉄筋コンクリート造2階建
延べ床面積 3,254㎡
- ・入所定員 II型療養床 58床（みなし短期入所療養介護含む）
- ・届出事項 II型介護医療院サービス費（I）（ii）
夜間勤務等介護（IV）
身体拘束廃止取組：基準型
安全管理体制：基準型

栄養ケア・マネジメント体制

療養環境基準（廊下）：基準型

療養環境基準（療養室）：基準型

療養食加算

理学療法 I

安全対策体制

サービス提供体制強化加算Ⅲ

介護職員処遇改善加算 I

介護職員等特定処遇改善加算 II

- ・機関指定 介護保険指定事業所、生活保護法指定介護医療院、生活保護法指定短期入所療養介護施設

2. 病院の沿革

① 飛騨市民病院

昭和17.	船津町、阿曾布村及び袖川村の各産業組合が中心となり、地域の保健医療向上のため診療所の設置を計画する。
18. 3. 30	岐阜県産業組合連合会が『産業組合立高原診療所』を設置 (建築場所：神岡町船津2017)
9. 30	産業組合が農業会に改組『岐阜県農業会立高原診療所』に名称変更
19. 12. 4	神岡町東町691-1(現たんぼぼ苑敷地の一部) に病院を新築 『岐阜県農業会立船津病院』に名称変更 診療科目 内科、外科、歯科
24. 10. 1	旧船津町が岐阜県農業会連合会から病院を買収 『国民健康保険 船津病院』に名称変更 診療科目 内科、外科、小児科、歯科、眼科、産婦人科 病床 32床 院長 田中 秀二
25. 6. 10	船津町、阿曾布村、袖川村が合併し神岡町となる。 『国民健康保険 神岡町病院』に名称変更
26. 10. 1	内田重遠(富山県立中央病院内科勤務) 病院長に就任
29. 9. 1	内田院長退職・本多幸三郎病院長に就任
34. 12. 25	新築第1期工事完成
35. 12. 25	新築第2期工事完成 診療科目 内科、外科、産婦人科、小児科、眼科
36. 7. 31	眼科閉鎖
42. 11. 30	小児科閉鎖
43. 4. 1	地方公営企業法の財務規定を適用
44. 9. 30	産婦人科閉鎖
45. 6. 1	婦人科開設(毎週1回)
7. 23	耳鼻咽喉科夏期特別診療開始 (夏休み期間中の1ヶ月間のみ・特別診療は55年度まで続く)
46. 9. 31	婦人科閉鎖
47. 4. 1	耳鼻いんこう科開設(毎週1回)
49. 4. 30	外科閉鎖
53. 4. 1	外科再開(外科医師常駐)
55. 4. 1	循環器内科専門医(毎週1回) 診療開始 本多病院長退職
56. 4. 1	神経内科専門医(毎週1回) 診療開始
9. 1	小田切春洋病院長に就任

57. 4. 1	整形外科開設（第2、第4金曜日）
10. 1	泌尿器科開設（毎週1回） 整形外科は、毎週1回に
58. 4. 1	小児科再開（医師常駐） 整形外科毎週2回に
59. 6. 1	整形外科医師常駐に
60. 4. 15	神岡町医療対策事務局設置
11.	腎臓透析開始
62. 3. 31	新病院基本計画（設計）完成
12. 26	救急病院の告示
63. 8. 31	新病院実施設計完了
9. 26	新病院起工式（地鎮祭）（建築場所：神岡町東町725）
平成 2. 5. 1	新病院開院 診療科目 内科、外科、整形外科、小児科、脳神経外科、耳鼻 咽科、泌尿器科 病床数 一般82床 結核26床 計108床
10.	医師住宅・3LDK 2世帯用 1 棟完成（建築場所：神岡町東町654-2）
3. 4. 1	婦人科開設（毎週火曜日）
5. 3.	看護婦住宅（単身者6人用）完成
6. 3.	医師住宅・3LDK 2世帯用2棟完成（建築場所：神岡町東町670-1）
4. 1	眼科開設（毎週2回）
7. 1	眼科医師常駐に
7. 11. 1	結核病床を廃止
8. 4. 1	一般病床を17増床（99床に）
5. 22	全国自治体病院開設者協議会及び社団法人全国自治体病院協議会の自 治体立優良病院・会長表彰受賞
9. 3	磁気共鳴画像診断装置室を増設（MRI導入） 医師単身者住宅・1DK1棟4室完成（建築場所：神岡町東町670-1）
10. 5. 20	全国自治体病院開設者協議会及び社団法人全国自治体病院協議会の自 治体立優良病院・自治大臣表彰受賞
6. 22	病院総合情報システム（オーダーリングシステム）導入に着手 （完成は11年10月4日）
11. 4. 1	皮膚科開設（毎週月曜日）
13. 11. 20	全身用コンピューター断層撮影装置更新（マルチスライスCT）
14. 3. 29	リハビリ室、院長室、医師当直室、相談室等を改修
8. 23	長時間心電図解析装置更新
31	医療法改定により、99床を一般病床として病床区分の届出
12. 24	一般撮影装置更新
15. 4. 1	神岡町訪問看護ステーション（特別会計）を病院事業に移管
12. 26	超音波白内障手術装置を更新

16. 1. 9	電子内視鏡システム更新
1. 31	市町村合併により神岡町病院を廃止
2. 1	神岡町、古川町、河合村、宮川村が合併し飛騨市となる 『国民健康保険飛騨市民病院』を開設（名称変更） 小田切春洋病院長に就任
16. 4. 1	院外処方箋を外来全科発行
17. 2. 1	病院総合情報システム（オーダーリングシステム）更新
17. 4. 1	黒木嘉人病院長に就任 小田切春洋病院管理者に就任
12. 27	省エネルギー対応型小型蒸気ボイラー 2 基更新
18. 1. 6	乳房 X 線撮影装置新規購入
2. 9	デジタル X 線テレビシステム更新
18. 10. 24	移動型外科用 X 線装置購入
11. 1	亜急性期入院医療管理料 10 床
19. 2. 28	リハビリ・透析棟完成
3. 12	人工透析装置（13 基）購入
3. 31	富山大学派遣医師引き揚げ 第2内科 2 名、整形外科 1 名、外科 1 名 常勤小児科医師退職
19. 4. 1	常勤医師による午後診療休止 非常勤医師による外来診療実施、 循環器、腎臓、小児科、整形外科診療（富山大学） 小児科外来 久美愛厚生病院 週1日 緩和ケア外来開始 火曜日午後 黒木院長
11. 1	入院患者への精神科診療開始 月2回 須田病院 本間医師
12. 1	小児科外来 高山赤十字病院 週1日
20. 3. 25	高圧蒸気滅菌装置更新
3. 25	酸化エチレンガス滅菌装置購更新
3. 25	医療療養型病床設置事業計画に基づく改修工事完成 特浴装置 2 台設置 病棟ナースコール設備更新
20. 4. 1	ケアミックス型病院へ転換 一般病床 58 床 療養病床 33 床 病棟 2 交替勤務へ変更 岐阜県から内科医師派遣 1 名（自治医大卒業医師） 内科（総合診療科）による午後診療開始

21. 4. 1	整形外科が非常勤に 月・水・金 午前診療 久美愛厚生病院派遣の小児科外来中止 富山大学派遣の小児科 診療日数増 週2日から週3日に 給食調理業務を全面委託化 (日清医療食品) 小田切春洋名誉院長に就任
5. 1	内科(総合診療科)による午後診療時間延長 13:30～17:00 高山赤十字病院派遣の整形外科診療開始 第1・3金曜日
9. 1	MRIを1.5T に更新 (旧連続撮影室へ設置)
11. 1	病院総合情報システム(電子カルテシステム) 運用開始
11. 30	省エネルギー改修工事 (空調、照明の省エネ化工事) 着工
	工期 23. 3. 23まで
22. 3. 1	循環器内科 月曜日午前診療 追加
22. 4. 1	呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科を標榜 整形外科 週4日診療 (月・水・木・金) 西能病院から整形外科医師派遣 第2. 4. 5木曜日 高山赤十字病院から整形外科医師派遣 第1. 3木曜日 (H23. 10. 31まで 11月以降は西能病院医師が木曜日診療)
23. 2. 1	婦人科 富山大学派遣 火曜日午前診療
3. 7	省エネルギー改修工事 (空調、照明の省エネ化工事)完成
23. 4. 1	小児科が月・水・金診療に変更 (月 午前・午後診療 高山日赤 水・金 午前診療 富山大学) 岐阜大学医学部附属病院・高山赤十字病院の 臨床研修協力施設として研修医受入
6. 1	眼科が非常勤に
12. 1	糖尿病外来 火曜日午前診療 追加
24. 4. 1	岐阜県から内科医師2名派遣 (自治医大卒業医師) 富山大学医学生 病院実習受入 <神通川プロジェクト開始> 岐阜大学医学生(3年生) 地域配属実習受入
25. 4. 1	岐阜県から内科医師1名派遣 (自治医大卒業医師) 富山大学附属病院の臨床研修協力施設として研修医受入
26. 3. 14	全身コンピューター断層撮影装置更新 東芝製 80列
26. 4. 1	岐阜県から外科医師1名、内科医師1名派遣 (自治医大卒業医師)
27. 3. 25	総合物流管理システムの更新
27. 4. 1	岐阜県から外科医師1名、内科医師1名派遣 (自治医大卒業医師)
28. 3. 24	電子カルテ及び関連システム更新事業 完了
28. 4. 1	
29. 1. 1	岐阜県から外科医師1名、内科医師1名派遣 (自治医大卒業医師) 地域包括ケア病床管理料 8床

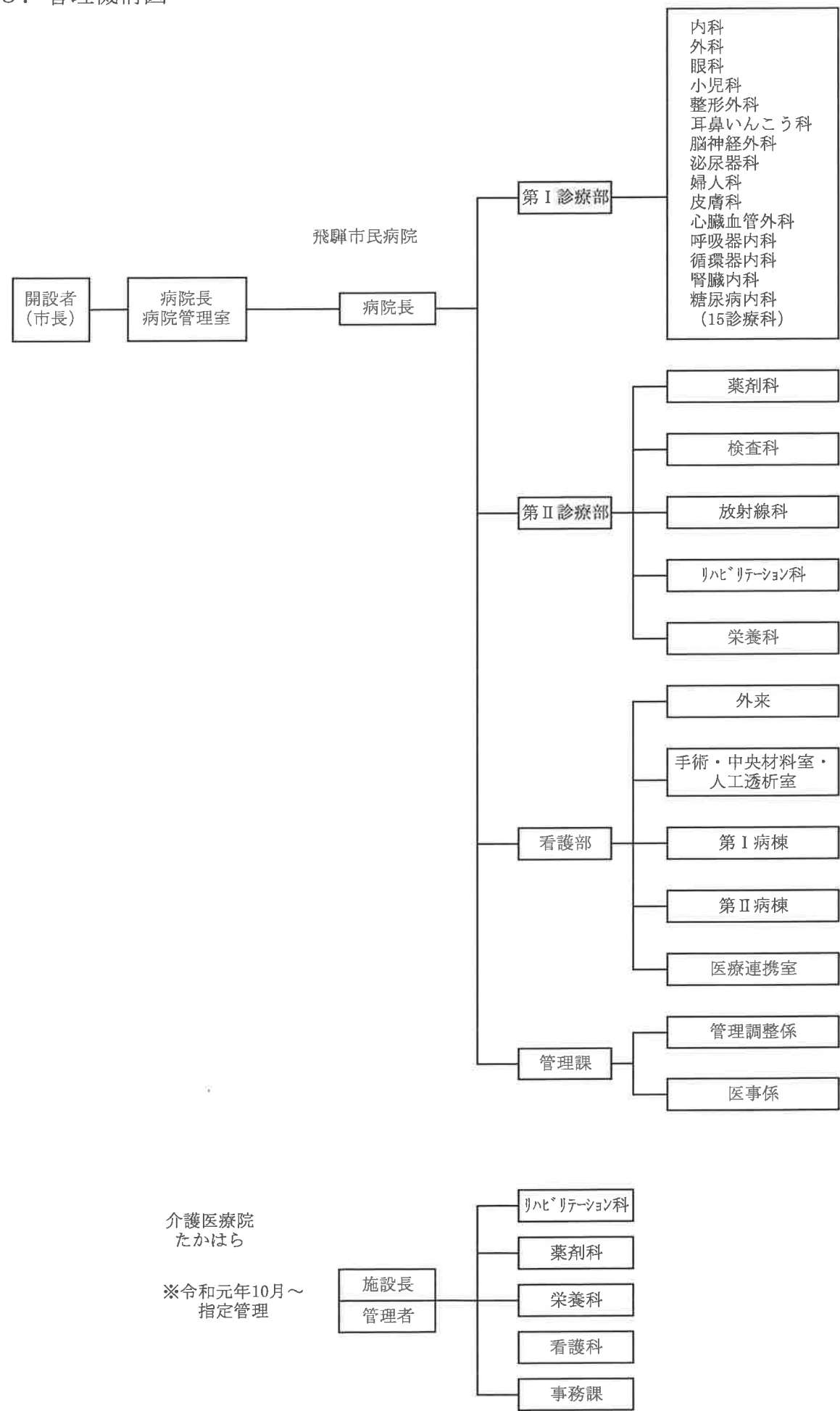
29. 4. 1	岐阜県から外科医師1名、内科医師1名派遣（自治医大卒業医師） 富山大学附属病院から総合診療科医師1名派遣
29. 4. 3	富山県立中央病院の臨床研修協力施設として研修医受入
29. 9. 30	岐阜県派遣内科医師1名が結婚協定により石川県に異動
29. 10. 2	岐阜大学附属病院の臨床研修協力施設として研修医受入
29. 10. 31	飛騨市訪問看護ステーション閉鎖
29. 11. 30	長時間心電図解析装置更新 日本光電製
29. 12. 8	高山労働基準監督署の立入検査
30. 3. 29	医事会計システム・訪問系介護請求システム更新
30. 4. 1	岐阜県から外科医師1名、内科医師1名派遣（自治医大卒業医師） 小児科医師常駐化 地域包括ケア病床管理料 4床増床
31. 4. 1	岐阜県から内科医師1名派遣（自治医大卒業医師） 富山大学附属病院から総合診療科医師1名派遣 皮膚科 金曜診療を増設し、月・金診療となる
令和元. 9. 17	医師宿日直及び看護師宿直業務について高山労働基準監督署長より労働基準法第41条第3号に基づく断続的な宿直又は日直勤務が許可された
9. 26	厚生労働省が『再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関等』として当院を含む全国424の公立・公的病院の名前を公表
10. 1	岐阜県から内科医師1名派遣（自治医大卒業医師）
11. 26	岐阜県からへき地医療拠点病院に指定される
2. 4. 1	岐阜県から内科医師1名派遣（自治医大卒業医師） 富山大学附属病院から総合診療科医師1名派遣
12. 08	宿直員業務について高山労働基準監督署長より断続的労働に従事する者に対する適用除外が許可された
3. 1. 1	一般病床54床、療養病床27床とする
3. 2. 1	地域包括ケア病床管理料8床増床し20床とする
3. 4. 1	岐阜県から内科医師1名派遣（自治医大卒業医師） 富山大学附属病院から総合診療科医師1名派遣
4. 3. 30	電子カルテ及び関連システム更新事業 完了

② 介護医療院たかはら

明治 7.	三井組が鉾山経営に進出
19.	三井組が全鉾区を一括経営、鹿間谷に機械選鉾場の建設に着手 ・明治20年制定の神岡鉾山療病科規則によると、大富(おおどめ)鉾山に医師2名が常駐し、交代で本山・支山を巡回するとあり、鉾山の「おかかえ医師」がいたと推測される。
22.	三井組が『鹿間医院』を開設
23. 2.	栃洞坑北盛事務所に出張診療所開設(大富鉾山の医師駐在は廃止)
28. 11.	『上平分院』を開設(場所：神岡町東茂住544-2) (この後鉾山が各地区に診療所を開設(閉鎖)するが、この関係は略)
40. 9.	鹿間医院を『神岡鉾業所医院』に名称変更(場所：神岡町鹿間162-1)
昭和 9. 1.	神岡鉾業所医院、病院認可 病床数 14床 医師 2名
22. 6. 14	鹿間工場の火災により医院類焼
26. 1. 19 10.	『神岡鉾山病院』に名称変更 病床数 23床 新病院完成(場所：神岡町東町608-1) 病床数 80床 診療科目 内科、外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科
31. 11.	殿診療所を廃止し、『夕陽ヶ丘病院』を開設(場所：神岡町殿531) 病床数 結核40床 診療科目 内科、外科(外来のみ)
38. 5.	神岡鉾山病院の耳鼻咽喉科閉鎖
40. 8.	〃 産婦人科閉鎖
42. 2	神岡鉾山病院の病床数を96床に変更
44. 8.	保険医療機関に指定(国保は除外)
49. 9	夕陽ヶ丘病院の病床を一般33床に変更
54. 8 12	夕陽ヶ丘病院の病床を41床に増床 国民健康保険指定医療機関に認定
61. 3. 31 7. 1	三井金属鉾業㈱が300余名の人員削減計画を発表する。 三井金属鉾業㈱から神岡鉾業㈱が分離発足
平成 9. 4. 1	神岡町に病院問題専任の担当職員を置く。
10. 2. 5 5. 31 12. 31	神岡鉾業㈱が神岡鉾山病院の経営移譲を神岡町に申し入れる。 神岡町と神岡鉾業㈱が移譲についての協定書を交換 神岡鉾山病院 外来診療を中止
11. 3. 31	神岡鉾山病院及び夕陽ヶ丘病院を閉鎖
11. 4. 1	『ケアホスピタルたかはら』開院(旧鉾山病院施設設備を借用) 病床数 76床(療養型病床 50床 特例許可老人病床 26床) 診療科 内科、リハビリテーション科(外来は行わない) 開設者 神岡町長 病院長 江尻倫昭

12. 4. 1 11. 1	介護療養型医療施設（療養型病床 50床）に指定 特例許可老人病床 26床を療養型病床に変更
13. 8.29 12. 1	新病院建築安全祈願祭(起工式)(場所：神岡町殿1081-19) 全床を介護療養型医療施設に変更
14.11.29	新病院完成（完成式12月10日）
15. 3.21 4. 1 8. 1	新病院開院(場所：神岡町殿1081-19) 給食調理業務を委託 今井英孝病院長に就任
16.1.31 2. 1 17. 4. 1	合併により『ケアホスピタルたかはら』廃止 神岡町、古川町、河合村、宮川村が合併し飛騨市となる 『ケアホスピタルたかはら』を開設 開設者 飛騨市長 病院長 今井英孝 千鳥哲也病院長に就任
18.11.30	自動入浴装置（車椅子用）更新
20. 3.31	ケアホスピタルたかはら 廃止 (介護療養型医療施設 76床)
20. 4. 1	老人保健施設たかはら 設置（介護老人保健施設） 入所定員 76人 千鳥哲也管理者兼施設長に就任
21. 4. 1 5. 1	リハビリテーション体制強化（理学療法士1名、作業療法士1名） 夜勤 4人体制
23. 1.31 2. 1	千鳥哲也管理者兼施設長退職 小田切春洋管理者兼施設長に就任
24. 4. 1	梶野厚子施設長に就任（小田切春洋管理者）
26. 4. 1 26.10.14	小森弘子施設長に就任（小田切春洋管理者） 移動型X線撮影装置 購入
29.10.12	電気式スチームコンベクションオーブン 購入
30. 9.28	監視カメラ装置 購入
31. 4. 1 令和元.10. 1 2. 3.31	下垣恵子施設長に就任（小田切春洋管理者） 社会福祉法人神東会に指定管理を委託（医療従事者等11名を在籍出向とする） 老人保健施設たかはら 廃止
2. 4. 1	介護医療院たかはら 開設（医療従事者等10名を在籍出向とする） 入所定員 58人
3. 1.12 2.19	全館Wi-Fi設備 設置 ブラストチラー 購入

3. 管理機構図



4. 診療科目等の推移

	飛騨市民病院													備 考	
	内 科	外 科	整 形 外 科	脳 神 経 外 科	産 婦 人 科	小 児 科	耳 鼻 い ん こう 科	泌 尿 器 科	眼 科	皮 膚 科	呼 吸 器 内 科	循 環 器 内 科	腎 臓 内 科	糖 尿 病 内 科	○は、通常診療 △は、曜日指定等での診療 ▽は、期間限定の診療 黒抜きは、診療の中止
36年度	○	○			○	○			●						7.31 眼科診療中止
42年度	○	○			○	●									11.30 小児科診療中止
44年度	○	○			●										9.30 産婦人科診療中止
45年度	○	○				△	▽								6.1 婦人科週1回で開始 夏休み期間に耳鼻科特別検診
46年度	○	○				▲	▽								7.31 婦人科診療中止
47年度	○	○					△								4.1 耳鼻咽喉科週1回で再開
49年度	○	●					△								4.30 外科診療中止
51年度	○						○								4.1 耳鼻咽喉科常駐に
53年度	○	○					○								4.1 外科再開
57年度	○	○	△				○	△							4.1 整形外科隔週1回で新設 泌尿器科週1回で新設
58年度	○	○	△			○	○	△							4.1 小児科再開
59年度	○	○	○			○	○	△							4.1 整形外科常駐
2年度	○	○	○	△		○	○	△							5.1 新病院開設により脳神経 外科を標榜
3年度	○	○	○	△		△	○	△							4.1 婦人科週1回で再開 耳鼻咽喉科が週2回に
6年度	○	○	○	△		△	○	△	△	△					4.1 眼科週2回で再開 7.1 眼科常駐に
11年度	○	○	○	△		△	○	△	△	○	△				4.1 皮膚科週1回開設
18年度	○	○	○	△		△	○	△	△	○	△				7.1 心臓血管外科月2回で開設
19年度	○	○	○	△		△	△	△	△	○	△				4.1 小児科が非常勤医師に
21年度	○	○	△	△		△	△	△	△	○	△				4.1 整形外科が非常勤医師に
22年度	○	○	△	△		△	△	△	△	○	△	△	△		4.1 呼吸器内科、循環器内科 腎臓内科 標榜
23年度	○	○	△	△		△	△	△	△	○	△	△	△	△	6.1 眼科非常勤 12.1 糖尿病内科
26年度	○	○	△	△		△	△	△	△	△	△	△	△	△	
30年度	○	○	△	△		△	○	△	△	△	△	△	△	△	4.1 小児科常駐
31年度 (元年度)	○	○	△	△		△	○	△	△	△	△	△	△	△	4.1 皮膚科週2回で開設
3年度	○	○	△	△		△	○	△	△	△	△	△	△	△	4.1 リウマチ膠原病内科月2回で開設

	たかはら													備 考	
	内 科	シ リ ハ ビ リ テ ー ル 科													○は、通常診療
11年度	○	○													4.1 たかはら開院
20年度	△	△													4.1 たかはらが老人保健施設に
元年度	△	△													10.1 社会福祉法人神東会が指定管理に
2年度	△	△													4.1 たかはらが介護医療院に

5. 職員数の推移

各年度4月1日現在(人)

職 種			30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
飛 騨 市	正 規 職 員	医師	5	5	5	5	7		
		看 護 師	看護師	37	38	37	40	36	
			准看護師	3	3	3	3	4	
			小 計	40	41	40	43	40	
			医 療 技 術 員	薬剤師	3	4	3	2	2
		診療放射線技師		3	3	3	3	3	
		臨床検査技師		2	2	2	2	2	
		臨床工学技士		2	2	2	3	3	
		理学療法士		6	8	8	8	8	
		作業療法士		0	1	1	1	2	
		視能訓練士		0	0	0	0	0	
		管理栄養士		1	1	1	1	1	
		小 計		17	21	20	20	21	
		そ の 他		事務員	5	5	5	6	7
			社会福祉士	0	0	1	1	1	
			調理員	0	0	0	0	0	
			小 計	5	5	6	7	8	
		正 規 職 員 計		67	72	71	75	76	
		民 病 院	嘱 託 ・ 臨 時 等	医師	0	0	0	0	0
	看 護 師			看護師	11	10	10	11	10
				准看護師	5	5	4	4	4
				小 計	16	15	14	15	14
				医 療 技 術 員	介護福祉士	1	1	0	1
	看護補助員				4	4	5	4	4
	臨床検査技師				1	1	1	1	1
	臨床工学技士				1	1	1	1	1
	管理栄養士				0	0	0	0	0
小 計	7				7	7	7	7	
そ の 他	事務員				18	15	17	18	18
	調理員			0	0	0	0	0	
	用務員等			10	5	5	5	5	
	小 計			28	20	22	23	23	
嘱 託 職 員 等 計				51	42	43	45	44	
派 遣 職 員 (医 療 ・ 金 融)				1	2	3	3	2	
合 計				119	116	117	123	122	

各年度4月1日現在(人)

職 種			30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
老 人 保 健 施 設 た か は ら	正 規 職 員	医師	0	0	0	0	0		
		看 護 師	看護師	4	4	4	5	5	
			准看護師	4	3	2	2	2	
			介護支援専門員	0	1	0	0	0	
			小計	8	8	6	7	7	
		医 療 技 術 員	薬剤師	0	0	0	0	0	
			診療放射線技師	0	0	0	0	0	
			臨床検査技師	0	0	0	0	0	
			理学療法士	2	2	2	2	2	
			作業療法士	0	0	0	0	0	
			管理栄養士	1	1	1	1	1	
			栄養士	1	0	0	0	0	
			小計	4	3	3	3	3	
		事務員	1	1	1	1	0		
	正規職員計		13	12	10	11	10		
	嘱 託 ・ 臨 時 等	医師	医師	1	1	0	0	0	
			看 護 師	看護師	1	1	0	0	0
				准看護師	4	3	0	0	0
				小計	5	4	0	0	0
		医 療 技 術 員	介護支援専門員	1	0	0	0	0	
			相談員	1	1	0	0	0	
			介護福祉士	16	13	0	0	0	
			看護補助員	9	8	0	0	0	
			歯科衛生士(兼事務)	1	1	0	0	0	
			管理栄養士	0	0	0	0	0	
			小計	28	23	0	0	0	
そ の 他			事務員	2	2	0	0	0	
		相談員	0	0	0	0	0		
		用務員等	7	7	0	0	0		
		小計	9	9	0	0	0		
嘱託職員等計		43	37	0	0	0			
合 計		56	49	10	11	10			

職 種			30年度	31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
訪 看	看護師		0	0	0	0	0
	臨 時	看護師	0	0	0	0	0
		事務員	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0
施 設 総 計			175	165	127	134	132

6. 主な医療機器等の整備状況

年度	機器名	形式・規格	区分	数量	取得月日	設置場所
29	公用自動車	トヨタ カローラフィールダー DBA-NZE164G	更新	1	5. 24	管理課
	ライトガイド	オリンパス WA03300A	更新	1	6. 26	外来
	一酸化炭素ガス分析装置	フクダ電子 マイクロCOモニター	新規	1	9. 25	外来
	クリーンコンテナ	恒温侵漬洗浄機 クリーンケミカルCWセット	新規	1	9. 29	中央材料室
	長時間心電図解析装置	日本光電 DSC-5300	更新	1	11. 30	検査科
	マスク専用手動式自動販売機	竹虎 090188	新規	1	12. 14	管理課
	臨床検査システム改修	日立 尿定性ワライ項目追加	更新	1	12. 20	検査科
	医事会計システム・訪問系介護請求システム（更新）	NEWTON新版医事会計システム訪問系介護請求システム	更新	1	3. 29	管理課
30	電気手術器	エネルギー・プラットフォーム	更新	1	6. 19	手術室
	非接触式眼圧計	ノンコンタクトタイプトノメーター	新規	1	6. 29	外来
	エアウェイスコープ	AWS-S200	新規	1	8. 31	手術室
	エアーストレッチャー	CYN-11R	新規	2	8. 31	管理課
	適温配膳車	NFRW-E II-36	更新	1	9. 11	栄養科
	ハイローストレッチャー	パラムウントベッド KK-728B	新規	1	9. 19	第2病棟
	デジタル身長体重計・昇降補助すり	A&D AD6351 タニタ OP-501	新規	2	11. 5	外来・第1病棟
	X線透視診断装置	SONIALVISION G4 D150BC-40S	更新	1	11. 26	放射線科
	メガライトルミビュー	ML-500B	更新	1	11. 30	外来
	NetViewPro	アキュラ Optovue i-vue100画像	新規	1	12. 12	外来
	マスク専用手動式自動販売機	竹虎 090188	新規	1	1. 31	管理課
	輸液ポンプ	テルモ TE-281N	新規	1	2. 12	管理課
	抗悪性腫瘍剤無菌調整用陰圧アイソレーター	CS500	新規	1	3. 26	薬剤科
元	シャッター鍵付ボックスセット	サカセ化学工業(株) HA5-SB021L	新規	1	6. 20	薬剤科
	電動診察台	タカラベルモント(株) EX-CS6	更新	1	8. 15	外来
	内視鏡スコープ	富士フイルム(株) EG-L580NW他2本	更新	1	9. 27	内視鏡室
	超音波画像診断装置	コニカミノルタ(株) SONOVISTA GX-30	更新	1	12. 16	外来
	人工呼吸器	日本光電工業(株) HAMILTON-C1	更新	1	12. 23	看護部
	医用テレメーター	日本光電工業(株) WEP-1400-Z04	更新	1	12. 23	看護部
元	デスクトップパソコン	富士通(株)ESPRIMO D588/BX D4300JP	更新	1	1. 9	管理課
	検食用冷凍庫	(株)日立製作所 RF-U11AFK	更新	1	2. 7	栄養科
	全自動尿統合型分析システム	シーメンスヘルスケア・ドイツ・ノスティクス(株)	更新	1	2. 20	検査科
	タブレット型超音波画像診断装置	キャノンメディカルシステムズ(株)Viamo sv7 CUS-VSV7	更新	1	2. 20	人工透析室
	キャスター付油圧式昇降ベッド	(株)高田ベッド製作所 TB-1350	更新	1	3. 11	リハビリ
	全自動血圧計	フクダコーリン(株) HBP-9035	更新	1	3. 31	外来
2	バリアフリースケール	(株)エー・アンド・デイ AD-6107R	新規	1	5. 8	透析室
	コンパクト視力計	(株)トメコーポレーション CA-2000	新規	1	5. 12	外来
	ハイローストレッチャー	パラムウントベッド(株) KK-728B	更新	1	5. 19	看護科
	HEPAフィルター付きクリーンパーテーション	オリエンタル技研工業(株)CP-C 1700610001	新規	1	6. 5	外来
	麻薬管理システム	PHC(株) KM-ZSNTAYK、KM-ZSFTTKYK	更新	1	7. 15	薬剤科
	電動診察台	タカラベルモント(株) EX-CS6	更新	1	8. 17	外来
	HEPAフィルター付きクリーンパーテーション	オリエンタル技研工業(株)CP-C 1700610001	新規	1	8. 27	外来
	薬用冷蔵ショーケース	福島工業(株) FMS-400GH 494L	更新	1	9. 24	薬剤科
	業務用冷凍冷蔵庫	ホシザキ(株) HRF-120A	更新	1	11. 13	栄養科
	消毒保管庫（電気式）	(株)フジマック FEDBW40	更新	1	12. 23	栄養科
	インターネット用ノートパソコン	HP(株) ProBook 430 G6	新規	12	12. 28	管理課

6. 主な医療機器等の整備状況

年度	機器名	形式・規格	区分	数量	取得月日	設置場所
2	タブレット端末	iPad Pro12.9インチ(5) iPad Air10.9インチ(22) Apple Pencil(27)	新規	27	1.19	管理課
	感染症遺伝子検査装置	アボットディアグノスティクス(株)ID NOW インストUMENT	新規	1	2.2	検査科
	全自動血液凝固測定装置	シスメックス(株) CA-650	更新	1	3.23	検査科
	HEPAフィルター付きクリーンパーテーション	日本エアテック(株) ACP-897AH	新規	2	3.23	外来
	医療用陰圧式エアータント	アキレス(株) NP-45	新規	1	3.26	管理課
	薬剤在庫管理システム	(株)メディセオ MEDiCEO-Q1zig	更新	1	3.26	薬剤科
	感染症遺伝子検査装置	アボットディアグノスティクス(株)ID NOW インストUMENT	新規	1	3.26	検査科
	オンライン資格確認等システム	エフソングイレクト(株) Endeavor	新規	1	3.29	管理課
3	診察用組立式ドーム型ハウス	(株)TCL EZ DOME HOUSE	新規	1	3.29	管理課
	業務用電子レンジ	(株)フジマック NE-1802FM	更新	1	5.25	栄養科
	インターネット用ノートパソコン	Acer A315-56-F58Y/M	更新	1	6.17	管理課
	干渉電流型低周波治療器	JC-2701	新規	1	9.16	リハビリ
	高度救急処置訓練人形	(株)高研 セーブマンスタンドTM-119S	新規	1	11.22	看護科
	看護師当直室エアコン	日立 RSRK22MW	更新	1	2.28	看護科
	栄養管理システム	マクロビオスジャパン(株) MacroBiosExtension	更新	1	3.1	栄養科
	赤血球沈降速度測定装置	(株)テクノメディア Quick eye-8	新規	1	3.3	検査科
	臨床検査システムサーバー	(株)日立製作所 Labolute8	更新	1	3.15	検査科
	医用画像情報システム	富士フイルムメディカル SYNAPSE EX	更新	1	3.18	放射線科
	PCA機能付き小型シリンジポンプ	テルモ(株) TE-362PCA	新規	1	3.18	管理課
	フロア型冷却遠心機	久保田商事(株) S500FR	新規	1	3.25	検査科
	看護師寮エアコン	パナソニック CS-281DFL	更新	1	3.28	管理課
	病院情報システム	(株)ソフトウェアサービス 病院情報システム	更新	1	3.30	管理課
	医師住宅C棟 エアコン	パナソニック CS-401DFL	更新	2	3.30	管理課

年度	機器名	形式・規格	区分	数量	取得年月日	設置場所
29	電気式スチームコンベクションオーブン	ニチワ電気 SCOC-101RH	更新	1	10.12	たかはら
	ケアマネ支援システム用ノートパソコン	富士通 FMVA1602TP	更新	2	12.4	たかはら
30	公用自動車	トヨタ カローラフィールダー DBA-NZE164G	更新	1	5.29	たかはら
	監視カメラ装置	JVCケンウッド・公共産業システム 装置一式	新規	1	9.28	たかはら
	電磁調理器	ニチワ電気 MIR-5T	更新	4	1.17	たかはら
元	介護支援ソフト	NDソフトウェア ほのぼのNEXT	更新	1	6.6	たかはら
	液晶テレビ	ソニー KJ-49X8000G	更新	1	9.20	たかはら
	自動輸液ポンプ	ニプロ FP-970EX	更新	1	11.29	たかはら
	間仕切りパネル	スライド式 W1400×H1250	新規	28	3.5	たかはら
2	自動体外式除細動器	フクダ電子(株) AEDハートスタートHS1+e	更新	1	1.12	たかはら
	ブラストチラー	フクシマリレイ(株) QXF-006SFLV2	更新	1	2.19	たかはら
3	冷凍・冷蔵機器一式	ホシザキ(株) HRF-150AF、RT-150SDG、	更新	3	12.24	たかはら

Ⅱ 業 務 の 概 況

1. 業務実績

(人・円)

年度	飛 騨 市 民 病 院				たかはら		訪 問 看 護	
	入 院		外 来		入院・入所		訪 問	
	延患者数 1 日平均	事業収入 1 人 1 日平均	延患者数 1 日平均	事業収入 1 人 1 日平均	延患者数 1 日平均	事業収入 1 人 1 日平均	延患者数 1 日平均	事業収入 1 人 1 日平均
平成	23,940	416,708,500	76,494	507,775,876				
2	65.6	17,406	263.8	6,638				
7	30,144	762,486,869	95,957	749,476,428				
	82.4	25,295	390.1	7,811				
10	28,678	708,902,438	87,525	832,099,167				
	78.6	24,719	355.8	9,507				
11	28,486	741,128,689	90,396	919,735,049	27,554	415,134,073		
	77.8	26,017	369.0	10,175	75.3	15,066		
13	28,273	713,376,971	87,331	882,893,706	27,618	429,406,570		
	77.5	25,232	356.5	10,110	75.7	15,548		
14	29,677	776,595,364	89,488	903,579,237	27,595	429,783,680		
	81.3	26,168	365.3	10,097	75.6	15,575		
15	28,089	770,103,589	84,354	916,594,644	27,640	423,391,676	3,237	25,082,416
	76.7	27,416	342.9	10,866	75.5	15,318	13.2	7,748
16	28,728	739,611,699	79,018	577,412,612	27,360	417,419,998	3,661	28,360,979
	78.7	25,745	325.1	7,307	74.9	15,256	14.9	7,746
17	26,272	724,911,307	79,632	569,328,837	26,890	402,595,485	3,274	23,636,036
	72.0	27,592	326.4	7,149	73.7	14,972	13.4	7,219
18	24,431	694,974,824	76,060	528,247,560	27,568	408,187,586	3,776	28,425,659
	66.9	28,446	310.4	6,945	75.5	14,807	15.4	7,527
19	21,610	584,848,620	63,716	479,300,599	27,351	410,550,420	3,736	30,248,072
	59.0	27,064	259.0	7,522	74.7	15,010	15.2	8,096
20	24,250	603,033,752	60,382	452,620,457	26,358	306,819,490	3,322	26,909,463
	66.4	24,867	248.5	7,496	72.2	11,673	13.7	8,100
21	25,411	639,229,028	60,783	450,157,392	27,247	330,314,370	2,917	22,488,631
	69.6	25,156	251.2	7,406	74.6	12,123	12.1	7,710
22	23,729	643,125,095	63,511	456,184,784	27,333	331,568,707	2,315	19,345,502
	65.0	27,103	261.4	7,183	74.9	12,131	9.5	8,357
23	24,282	628,241,632	59,204	434,402,746	26,643	321,287,689	1,817	15,013,517
	66.3	25,873	242.6	7,337	72.8	12,059	7.4	8,263
24	22,844	586,204,318	55,457	394,805,915	25,650	304,283,100	2,190	17,427,362
	62.6	25,661	226.4	7,119	70.1	11,863	8.9	7,958
25	21,892	563,939,449	53,517	391,216,504	26,832	314,804,564	2,224	18,216,184
	60.0	25,760	219.3	7,310	73.5	11,732	9.1	8,191
26	23,734	625,536,030	53,138	404,690,558	26,007	307,350,380	1,796	13,552,365
	65.0	26,356	217.8	7,616	71.3	11,818	7.4	7,546
27	22,473	619,580,399	52,601	399,428,123	26,844	317,441,902	2,255	16,792,751
	61.4	27,570	216.5	7,594	73.3	11,825	9.3	7,447
28	24,007	635,074,115	51,699	387,064,796	26,088	306,301,757	2,317	17,251,451
	65.8	26,454	212.8	7,487	71.5	11,741	6.3	7,446
29	23,508	660,741,508	51,754	399,480,802	25,258	295,459,830	1,061	11,734,855
	64.4	28,107	212.1	7,719	69.2	11,698	5.8	11,060
30	25,372	702,414,902	54,522	412,402,405	22,963	272,791,992	0	0
	69.5	27,685	223.5	7,564	62.9	11,880	0.0	0
元	22,531	627,804,373	56,015	436,349,407	9,515	113,443,438	0	0
	61.6	27,864	232.4	7,790	52.0	11,923	0.0	0
2	21,131	538,649,573	51,030	412,003,348	0	0	0	0
	57.9	25,491	210.0	8,074	0.0	0	0.0	0
3	21,758	620,889,986	53,770	433,679,284	0	0	0	0
	59.6	28,536	22.2	8,065	0.0	0	0.0	0

※ 訪問看護は、平成29年10月末に事業所を閉鎖した。

※ 老人保健施設たかはらは令和元年10月に指定管理となった。

2. 診療科別患者数

(人)

区 分			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛 騨 市 民 病 院	入 院	内 科	12,887	17,187	18,423	16,833	19,188
		外 科	10,621	8,185	4,108	4,298	2,570
		眼 科	0	0	0	0	0
		計	23,508	25,372	22,531	21,131	21,758
		1 日 平 均	64.4	69.5	61.6	57.9	59.6
	外 来	内 科	27,422	28,377	30,217	28,289	31,146
		外 科	5,359	5,218	3,907	3,222	3,084
		眼 科	1,722	1,777	1,806	1,644	1,521
		整 形 外 科	6,465	6,782	6,668	6,316	6,176
		小 児 科	2,579	4,053	4,506	3,286	3,891
		耳鼻いんこう科	2,038	1,900	2,058	1,714	1,867
		脳神経外科	1,671	1,690	1,660	1,535	1,174
		泌 尿 器 科	1,846	2,055	2,240	1,998	1,583
		婦 人 科	522	506	637	656	810
		皮 膚 科	1,824	1,870	2,081	2,192	2,351
		心臓血管外科	306	294	235	178	167
		計	51,754	54,522	56,015	51,030	53,770
		1 日 平 均	212.1	223.5	232.4	210.0	222.2
た か は ら	入 所	老人保健施設	25,258	22,963	9,515	0	0
		計	25,258	22,963	9,515	0	0
		1 日 平 均	69.2	62.9	52.0	0.0	0.0

3. 年代別患者数

(人)

区 分			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛 騨 市 民 病 院	入 院	0～9歳	0	0	0	0	0
		10～19	33	19	12	10	6
		20～29	67	98	39	13	72
		30～39	85	144	40	16	116
		40～49	817	498	73	186	148
		50～59	1,085	1,585	1,292	1,235	801
		60～69	2,100	2,244	1,745	1,290	1,519
		70～79	4,502	4,457	4,241	5,212	5,590
		80～89	9,655	10,820	9,591	9,140	9,531
		90歳以上	5,164	5,507	5,498	4,029	3,975
		計	23,508	25,372	22,531	21,131	21,758
	外 来	0～9歳	3,004	4,095	4,448	3,138	3,818
		10～19	948	1,277	1,318	1,202	1,373
		20～29	510	610	623	516	668
		30～39	1,065	1,081	1,110	981	1,269
		40～49	2,246	2,020	2,198	1,919	2,165
		50～59	4,276	4,079	4,670	3,863	3,909
		60～69	8,304	7,861	7,565	6,892	6,947
		70～79	14,153	14,536	14,975	14,535	14,945
		80～89	14,483	15,708	15,804	14,740	14,968
		90歳以上	2,765	3,255	3,304	3,244	3,708
		計	51,754	54,522	56,015	51,030	53,770
た か は ら	入 所	60～64	0	0	0	0	0
		65～69	0	66	0	0	0
		70～74	609	218	0	0	0
		75～79	2,330	2,277	889	0	0
		80～84	3,678	3,648	1,541	0	0
		85～89	7,314	6,803	2,635	0	0
		90歳以上	11,327	9,951	4,450	0	0
		計	25,258	22,963	9,515	0	0

4. 地域別患者数

(人)

区 分			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛騨市民病院	入院	神岡町	19,155	21,060	18,364	16,792	16,436
		高山市(旧上宝村内)	2,858	3,141	2,509	2,816	3,410
		飛騨市(神岡町以外)	437	473	902	1,022	941
		岐阜県(飛騨市旧上宝以外)	748	422	331	413	862
		富山県	95	96	335	0	13
		県外(富山県以外)	215	180	90	88	96
		計	23,508	25,372	22,531	21,131	21,758
	外来	神岡町	42,991	45,133	46,157	42,297	43,994
		高山市(旧上宝村内)	6,574	6,943	7,308	6,497	7,243
		飛騨市(神岡町以外)	910	1,049	1,200	1,208	1,411
		岐阜県(飛騨市旧上宝以外)	436	501	545	450	519
		富山県	351	360	328	267	238
		県外(富山県以外)	492	536	477	311	365
		計	51,754	54,522	56,015	51,030	53,770
たかはら	入院・入所	神岡町	22,740	20,297	8,946	0	0
		高山市(旧上宝村内)	1,064	1,236	183	0	0
		飛騨市(神岡町以外)	1,454	1,279	386	0	0
		岐阜県(飛騨市旧上宝以外)	0	85	0	0	0
		富山県	0	0	0	0	0
		県外(富山県以外)	0	66	0	0	0
		計	25,258	22,963	9,515	0	0

5. 病床利用率

(床・人・%)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛騨市民病院	許可病床数	91	91	91	81	81
	延許可病床数	33,215	33,215	33,306	32,315	29,565
	延患者数	23,508	25,372	22,531	21,131	21,758
	1日平均者数	64.4	69.5	61.5	57.9	59.6
	病床利用率	70.8	76.4	67.6	65.4	73.6
たかはら	許可病床数	76	76	4～9月 76	0	0
	延許可病床数	27,740	27,740	4～9月 13,908	0	0
	延患者数	25,258	22,963	4～9月 9,515	0	0
	1日平均者数	69.2	62.9	4～9月 52.0	0	0
	病床利用率	91.1	82.8	4～9月 68.4	0	0

6. 飛騨市民病院の病床別利用状況

(床・人・%)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般病床	患者数	14,785	16,452	14,209	13,551	14,321
	1日平均患者数	40.5	45.1	38.8	37.1	39.2
	病床利用率	69.8	77.7	66.9	65.1	72.7
	平均在院日数	17.3	15.4	14.5	15.1	14.9
療養病床	患者数	8,723	8,920	8,322	7,580	7,437
	1日平均患者数	23.9	24.4	22.8	20.9	20.4
	病床利用率	72.4	74.1	68.9	65.9	75.5

7. 休日・時間外の患者受入状況

①. 入院・外来別患者数

(人)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入院	救急車	113	129	159	157	133
	その他	126	14	149	136	113
外来	救急車	124	112	159	100	134
	外来	1,227	1,423	1,421	816	968
計	救急車	237	241	318	257	267
	外来	1,353	1,437	1,570	952	1,081
	計	1,590	1,678	1,888	1,209	1,348

②. 地域別の患者数

(人)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域別	飛騨市	1,155	1,322	1,362	1,000	1,029
	高山市	237	286	338	156	233
	白川村	1	0	0	0	0
	その他	197	200	188	53	86
	計	1,590	1,808	1,888	1,209	1,348

8. 救急車受入件数

(人)

区 分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
救急車受入件数	351	386	318	257	267

9. 飛騨市消防の救急搬送の状況

①. 神岡消防署(飛騨市民病院診療圏)

(件)

区 分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛騨市民病院	231	265	218	201	199
高山赤十字病院	51	55	61	50	99
久美愛厚生病院	14	15	17	21	39
垣内病院	0	0	0	0	0
須田病院	1	2	0	0	0
その他の病院 私的	1	0	0	0	0
その他の病院 公的	0	0	0	0	0
その他の場所	0	0	0	0	0
富山大学附属病院	31	49	47	39	33
富山市民病院	2	3	2	1	0
富山県立中央病院	19	2	5	4	8
富山赤十字病院	0	0	1	2	0
済生会富山病院	0	2	0	0	0
八尾総合病院	0	0	0	0	0
管外 公立病院	0	0	0	0	0
管外 公的病院	0	1	1	0	0
管外 私的病院			2	0	0
Drへリ	13	17	14	8	9
医師搬送	0	0	0	0	1
不搬送	16	20	17	13	16
計	379	431	385	339	404

②. 古川消防署・北分署(宮川)

(件)

区 分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛騨市民病院	12	14	9	5	9
高山赤十字病院	288	301	269	251	309
久美愛厚生病院	250	334	292	326	319
垣内病院	12	6	9	2	0
古川病院	0	0	0	0	0
須田病院	1	0	0	0	1
私的診療所	0	1	0	0	1
その他の病院 私的	1	0	0	0	0
その他の病院 公的	1	0	0	0	0
その他の場所	0	0	0	0	0
富山大学附属病院	0	0	0	0	0
富山市民病院	0	2	0	0	1
富山県立中央病院	0	1	0	1	1
富山赤十字病院	0	0	0	0	0
八尾総合病院	0	0	0	0	0
管外 公立病院			0	0	0
管外 公的病院			0	0	0
管外 私的病院			1	1	0
Drへリ	3	0	6	0	1
医師搬送	0	0	0	0	0
不搬送	28	32	37	25	32
計	596	691	623	611	674

10. 調剤処方箋枚数等

(枚・件)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛騨市民病院	入院処方	9,329	11,320	10,277	10,419	10,340
	外来処方	34,284	36,784	37,458	33,461	34,863
	内 院外処方	33,555	35,911	36,574	32,991	34,304
	院外処方率	97.9%	97.6%	97.6%	98.6%	98.4%
	計	43,613	48,104	47,735	43,880	45,203
	薬剤管理指導	557	495	376	269	67
たかはら	処方	1,606	1,460	567	0	0
	計	1,606	1,460	567	0	0

11. 放射線撮影件数

(件)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛騨市民病院	直 接	9,838	10,914	10,095	9,225	9,216
	マ ン モ	325	186	191	198	222
	透 視	226	184	96	80	80
	C T	2,729	2,847	2,546	2,480	3,011
	M R I	867	922	993	938	919
	計	13,985	15,053	13,921	12,921	13,448

12. 検査取扱件数

(件)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛騨市民病院	尿 糞 検 査	8,802	9,668	9,791	9,183	8,601
	微 生 物	3,265	4,123	4,760	3,029	4,829
	生 化 学 I	115,796	158,477	162,655	129,685	127,227
	血 液 学	18,701	25,595	26,470	24,382	22,563
	病 理 学	756	690	728	552	738
	生 化 学 II・免疫	11,598	17,674	16,637	16,457	14,342
	内 視・超 音 波	2,835	3,186	2,984	2,468	2,652
	生 体 検 査	23,306	20,188	19,183	19,646	19,933
	そ の 他	1,555	1,831	763	955	2,380
	計	186,614	241,432	243,971	206,357	203,265

13. 手術件数

平成22年度以降は、手術室で行なった手術件数

(件)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛驒市民病院	皮膚・皮下組織	13	5	4	3	5
	筋骨格系・四肢体幹	54	54	25	10	1
	腹部	33	29	5	10	6
	胸部	2	1	2	1	2
	顔面・口腔・頸部	0	0	0	0	0
	眼	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	計	102	89	36	24	14
閉鎖循環式全身麻酔		60	56	18	4	1

14. 給食数

(食)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
飛驒市民病院	一般食	45,270	47,091	42,215	40,298	42,906
	特別食	18,165	22,175	18,708	17,770	21,853
	その他	1,562	1,516	1,192	1,150	1,183
	計	64,997	70,782	62,115	59,218	65,942
たかはら	一般食	72,767	67,494	27,626	0	0
	特別食	3,596	2,175	1,424	0	0
	計	76,363	69,669	29,050	0	0

15. 透析件数

(回)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入院		172	243	234	373	513
外来	4時間未満	646	498	740	934	779
	4～5時間未満	2,308	2,048	2,079	2,315	2,032
	5時間以上	5	2	22	32	1
	その他	0	0	0	0	31
計		3,131	2,791	3,075	3,654	3,356

注:市民病院のみ

16. リハビリ件数

(回)

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入院	運動器	3,489	4,646	3,964	3,549	4,545
	脳血管	2,322	2,788	3,134	2,551	1,721
	呼吸器	410	143	202	136	137
	がん	595	485	532	381	579
	廃用症候群	5,577	5,101	6,269	6,511	6,127
	退院時指導	114	169	78	24	13
	退院前訪問指導	2	1	2	7	1
	計画提供料	-	2	1	1	1
	総合計画評価	(569)	(650)	(686)	(298)	(204)
	計	12,509	13,335	14,182	13,160	13,124
外来	運動器	1,256	1,077	1,098	1,234	1,592
	脳血管	493	488	384	407	427
	呼吸器	41	67	60	108	32
	廃用症候群	96	133	134	48	103
	計画提供料	-	1	0	0	0
	心身医学療法	0	0	0	0	0
	総合計画評価	(405)	(369)	(296)	(235)	(276)
	訪問リハ	1,242	1,337	2,065	2,671	2,498
	計	3,128	3,103	3,741	4,468	4,652

17. 健康診断

(人)

区 分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
健康診断	2,386	2,044	2,087	1,922	1,877
短期ドック	933	870	828	816	899
内 脳ドック	70	92	126	92	65

18. 研修医・学生実習

区 分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
前期研修医 合計	28	31	36	29	34
高山赤十字病院	7	2	7	3	5
富山大学附属病院	2	5	4	1	1
名古屋掖済会病院	9	7	9	10	10
大垣市民病院	4	6	2	4	4
岐阜県総合医療センター	1	2	2	1	3
富山県立中央病院	4	6	6	6	3
岐阜大学附属病院	1	3	2	0	1
中部国際医療センター			4	3	3
富山市民病院				1	4
学生実習 合計	13	16	14	10	10
岐阜大 地域配属 2年	0	3	2	0	2
富山大 神通川 6年	0	0	0	0	0
神通川4・5年	12	13	11	10	6
神通川 1年	0	0	0	0	0
自治医科大学 5年	0	0	0	0	0
夏期実習 岐阜大	1	0	1	0	2
夏期実習 富山大	0	0	0	0	0

Ⅲ 財 務 の 概 況

1. 年度別損益計算書

① 飛騨市民病院

単位:千円

区 分	29年度 金 額	30年度 金 額	令和元年度 金 額	令和2年度 金 額	令和3年度 金 額
総 収 益	1,349,954	1,409,089	1,459,425	1,400,096	1,525,163
医業収益	1,152,214	1,210,815	1,166,115	1,061,874	1,197,916
入院収益	660,741	702,415	627,804	538,650	620,890
外来収益	399,481	412,402	436,350	412,003	433,679
その他医業収益	91,992	95,998	101,961	111,221	143,347
うち救急輪番負担金	15,782	16,066	15,782	15,782	15,965
医業外収益	197,740	198,274	265,651	338,222	327,095
受取利息・配当金	1,707	1,280	988	817	657
国・県補助金	0	0	0	57,671	33,735
他会計補助金	161,617	164,548	236,063	251,934	262,624
患者外給食収益	0	0	0	0	0
長期前受金戻入	27,552	26,411	22,450	21,081	15,958
その他医業外収益	6,864	6,035	6,150	6,719	6,511
寄附金	0	0	0	0	7,610
特別利益	0	0	27,659	0	152
総 費 用	1,402,480	1,461,684	1,464,414	1,468,970	1,494,304
医業費用	1,357,695	1,416,010	1,390,170	1,404,647	1,419,202
給与費	847,326	891,550	871,478	761,034	756,920
材料費	141,111	145,996	137,305	126,324	152,220
薬品費	63,141	63,437	68,090	52,230	54,092
診療材料費	75,298	79,294	65,191	70,617	94,126
給食材料費	2,148	2,095	1,970	2,033	2,695
医療消耗備品費	524	1,170	2,054	1,444	1,307
経 費	227,239	238,363	245,844	393,278	402,184
光熱水費	19,410	21,427	19,198	19,646	19,617
燃料費	22,766	23,443	23,173	25,787	29,635
賃借料	29,292	27,234	29,053	30,342	30,332
委託料	119,054	131,364	136,826	138,109	148,939
その他	36,717	34,895	37,594	179,394	173,661
減価償却費	138,550	134,365	131,765	122,421	104,734
資産減耗費	706	2,563	654	172	1,600
研究研修費	2,763	3,173	3,124	1,418	1,544
医業外費用	44,785	45,674	48,994	64,323	75,102
支払利息・企業債諸費	3,665	3,229	2,800	2,417	2,096
患者外給食材料費	0	0	0	0	0
雑支出	41,120	42,445	46,194	61,906	73,006
特別損失	0	0	25,250	0	0
当 年 度 純 利 益	△ 52,526	△ 52,595	△ 4,989	△ 68,874	30,859

② 介護医療院たかはら

単位:千円

区 分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
総 収 益	325,954	301,641	187,976	84,812	90,286
介護収益	298,307	275,321	114,334	0	0
介護収益	295,460	272,792	113,443	0	0
その他介護収益	2,847	2,529	891	0	0
介護外収益	27,647	26,320	56,685	84,812	90,286
受取利息・配当金	0	0	0	0	0
他会計補助金	2,278	2,145	2,011	1,874	1,736
県補助金	0	0	353	0	0
長期前受金戻入	17,257	17,390	17,524	18,057	18,196
その他介護外収益	8,112	6,785	36,797	64,881	70,354
特別利益	0	0	16,957	0	0
総 費 用	331,079	325,644	207,447	104,918	107,520
介護費用	319,232	313,187	197,791	99,980	102,919
給与費	212,100	199,893	125,704	73,890	77,273
材料費	7,537	6,678	3,877	0	0
薬品費	1,662	1,358	548	0	0
診療材料費	5,017	4,411	2,572	0	0
給食材料費	836	829	489	0	0
医療消耗備品費	22	80	268	0	0
経 費	71,369	79,087	42,991	1,329	1,011
光熱水費	8,707	9,521	4,669	0	0
燃料費	6,320	6,892	3,264	0	0
賃借料	2,910	2,585	1,285	0	0
委託料	45,054	48,241	26,608	0	0
その他	8,378	11,848	7,165	1,329	1,011
減価償却費	28,095	27,375	25,102	24,761	24,558
資産減耗費	21	43	0	0	77
研究研修費	110	111	117	0	0
介護外費用	11,847	12,457	9,106	4,938	4,601
支払利息・企業債諸費	5,695	5,364	5,029	4,687	4,341
雑支出	6,152	7,093	4,077	251	260
特別損失	0	0	550	0	0
当 年 度 純 利 益	△ 5,125	△ 24,003	△ 19,471	△ 20,106	△ 17,234

2. 年度別資本的収支

(税込み)

単位:千円

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
飛騨市民病院	資本的収入	16,628	17,332	12,646	31,309	126,507
	企業債	0	0	0	0	121,700
	一般会計繰入金	14,078	14,187	11,471	10,700	4,807
	寄付金	2,550	3,145	1,175	2,490	0
	一般会計補助金	0	0	0	0	0
	国・県補助金	0	0	0	18,119	0
	国保事業会計補助金	0	0	0	0	0
	資本的支出	83,527	104,598	81,743	75,237	183,057
	建設改良費	23,063	43,698	33,665	30,670	175,104
	企業債償還金	60,464	60,900	48,078	44,567	7,953
	資本的収入が資本的支出に対して不足する額	66,899	87,266	69,097	43,928	56,550
たかはら	資本的収入	9,117	9,220	12,882	9,490	9,629
	企業債	0	0	0	0	0
	一般会計繰入金	9,087	9,220	9,354	9,490	9,629
	寄付金	30	0	0	0	0
	補助金	0	0	3,528	0	0
	資本的支出	24,065	28,616	28,304	25,256	25,072
	建設改良費	1,346	5,566	4,918	1,529	998
	企業債償還金	22,719	23,050	23,386	23,727	24,074
	資本的収入が資本的支出に対して不足する額	14,948	19,396	15,422	15,766	15,443
	資本的収入が資本的支出に対して不足する額の計	81,847	106,662	84,519	59,694	71,993
源 補 の て 内 ん 財 財	消費税資本的収支調整額	357	896	179	171	1,255
	建設改良積立金	0	0	0	0	0
	減債積立金	0	0	0	0	0
	過年度分損益勘定留保資金	81,490	105,766	84,340	59,522	70,738
	当年度分損益勘定留保資金	0	0	0	0	0

注:補てん財源内訳は、一括で計上している。

3. 年度別貸借対照表

単位:千円

区 分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
固定資産	1,782,816	1,663,493	1,541,431	1,423,519	1,452,948
有形固定資産	1,782,816	1,663,493	1,541,431	1,423,519	1,452,948
建物	3,450,714	3,450,714	3,450,714	3,450,714	3,450,714
減価償却累計額	△ 1,897,210	△ 2,000,773	△ 2,100,825	△ 2,196,303	△ 2,289,660
構築物	57,792	57,792	57,792	57,792	57,792
減価償却累計額	△ 54,023	△ 54,298	△ 54,380	△ 54,433	△ 54,485
機器及び備品	990,789	985,268	1,016,093	1,045,364	1,177,986
減価償却累計額	△ 768,439	△ 779,127	△ 831,102	△ 882,225	△ 891,480
車両	10,443	11,349	11,349	11,349	11,349
減価償却累計額	△ 8,243	△ 7,680	△ 8,210	△ 8,739	△ 9,268
リース資産	4,470	4,469	0	0	0
減価償却累計額	△ 3,477	△ 4,221	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	0	0
流動資産	1,747,528	1,693,513	1,681,956	1,684,675	1,890,966
現金預金	1,294,898	1,248,433	1,424,675	1,391,513	1,598,713
未収金	438,151	428,456	242,373	277,705	277,190
貯蔵品	9,479	11,624	9,908	10,457	10,063
前払金					
保管有価証券	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
(資産合計)	3,530,344	3,357,006	3,223,387	3,108,194	3,343,914
固定負債	538,560	466,851	398,557	366,529	431,323
企業債	538,312	466,851	398,557	366,529	431,323
リース債務	248	0	0	0	0
引当金	0	0	0	0	0
流動負債	233,463	225,681	199,261	203,415	380,432
企業債	83,954	71,465	68,294	32,028	56,907
リース債務	745	248	0	0	0
未払金	103,359	106,693	82,265	109,816	262,377
引当金	40,405	42,275	43,702	56,571	55,088
その他流動負債	5,000	5,000	5,000	5,000	6,060
繰延収益	363,556	343,162	327,542	329,203	309,486
長期前受金	846,231	869,637	893,991	934,790	949,226
長期前受金収益化累計額	△ 482,675	△ 526,475	△ 566,449	△ 605,587	△ 639,740
資本金	2,133,448	2,133,448	2,133,448	2,133,448	2,133,448
自己資本金	2,133,448	2,133,448	2,133,448	2,133,448	2,133,448
借入資本金	0	0			
企業債	0	0			
剰余金	261,317	187,864	164,579	75,599	89,224
資本剰余金	135,130	138,275	139,450	139,450	139,450
他会計補助金	0	0			
寄付金	118,275	121,420	122,595	122,595	122,595
その他補助金	16,855	16,855	16,855	16,855	16,855
利益剰余金	126,187	49,589	25,129	△ 63,851	△ 50,226
減債積立金	284,669	284,669	284,669	284,669	284,669
建設改良積立金	129,558	129,557	129,558	129,558	129,558
当年度未処分利益剰余金	△ 288,040	△ 364,637	△ 389,098	△ 478,078	△ 464,453
(負債・資本合計)	3,530,344	3,357,006	3,223,387	3,108,194	3,343,913

飛騨市病院事業会計 キャッシュ・フロー計算書 (間接法)

飛騨市民病院

(単位:円)

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
I 業務活動によるキャッシュ・フロー					
当期純利益 (△は当期純損失)	△ 52,525,658	△ 52,594,398	△ 4,989,371	△ 68,873,929	30,859,171
減価償却費	138,549,950	134,364,574	131,764,501	122,421,296	104,733,998
賞与引当金の増減額 (減少は△)	2,733,498	2,959,595	2,020,419	11,508,634	△ 54,897
その他引当金の増減額 (減少は△)	△ 5,363,550	0	0	0	0
長期前受金戻入額	△ 27,551,914	△ 26,410,876	△ 22,449,324	△ 21,080,790	△ 15,957,553
長期前受金除却額	0	0	0	0	0
貸倒引当金増加額	0			2,325,801	871,059
受取利息及び配当金	△ 1,707,397	△ 1,280,000	△ 988,068	△ 816,925	△ 657,000
支払利息	3,665,004	3,229,021	2,800,001	2,416,763	2,096,560
固定資産除却費	453,705	2,431,800	209,500	0	1,296,178
固定資産除却損 (国県市補助金分)	0				
固定資産除却益	0				
未収金の増減額 (増加は△)	△ 19,339,783	△ 1,421,584	196,376,672	△ 8,699,688	5,101,645
貯蔵品の増減額 (増加は△)	277,887	△ 2,108,815	1,121,425	△ 548,992	393,949
未払金の増減額 (減少は△)	6,855,251	△ 905,332	△ 11,063,596	17,927,272	884,274
引当金の増加額	-	-	-	-	-
寄附金の増加額	-	-	-	-	-
その他流動資産の増加額	0	0	0		
その他流動負債の減少額	0	0	0	△ 1,709,384	1,060,294
小 計	46,046,993	58,263,985	294,802,159	54,870,058	130,627,678
利息及び配当金の受取額	1,707,397	1,280,000	988,068	816,925	657,000
利息の支払額	△ 3,665,004	△ 3,229,021	△ 2,800,001	△ 2,416,763	△ 2,096,560
業務活動によるキャッシュ・フロー	44,089,386	56,314,964	292,990,226	53,270,220	129,188,118
II 投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の購入による支出	△ 20,629,812	△ 39,737,000	△ 34,575,508	△ 11,194,172	△ 7,304,499
国庫補助金等による収入				18,119,280	0
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	14,078,000	14,187,000	11,471,000	10,700,000	4,807,000
有形固定資産の売却による収入	0	0	0	0	0
無形固定資産の取得による支出	0	0	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,551,812	△ 25,550,000	△ 23,104,508	17,625,108	△ 2,497,499
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
企業債による収入	0	0	0	0	121,700,000
建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 60,464,282	△ 60,900,265	△ 48,078,337	△ 44,566,527	△ 7,953,150
出資金による収入	0				
一般会計からの繰入金	-	-	-	-	-
リース債務の返済による支出	△ 744,960	△ 744,960	△ 248,320	0	0
寄付による収入	2,550,000	3,145,000	1,175,000	2,490,000	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 58,659,242	△ 58,500,225	△ 47,151,657	△ 42,076,527	113,746,850
IV 資金増加額 (又は減少額)	△ 21,121,668	△ 27,735,261	222,734,061	28,818,801	240,437,469
V 資金期首残高	450,996,614	429,874,946	455,892,088	678,626,149	707,444,950
VI 資金期末残高	429,874,946	455,892,088	678,626,149	707,444,950	947,882,419

飛騨市病院事業会計 キャッシュ・フロー計算書 (間接法)

介護医療院 たかはら

(単位:円)

	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
I 業務活動によるキャッシュ・フロー					
当期純利益 (△は当期純損失)	△ 5,125,343	△ 24,003,265	△ 19,470,872	△ 20,106,135	△ 17,233,432
減価償却費	28,095,036	27,375,110	25,102,059	24,761,017	24,557,583
賞与引当金の増減額 (減少は△)	393,936	△ 1,090,209	△ 592,790	1,360,101	△ 1,427,983
その他引当金の増減額 (減少は△)	0				
長期前受金戻入額	△ 17,256,891	△ 17,389,891	△ 17,523,891	△ 18,056,791	△ 18,195,791
長期前受金除却額	0				
貸倒引当金増加額	0				
受取利息及び配当金	0				
支払利息	5,695,177	5,364,521	5,028,620	4,687,383	4,340,717
固定資産除却損 (除却費)	21,430	43,500	0	0	77,390
固定資産除却益	0				
未収金の増減額 (増加は△)	6,321,700	11,116,553	△ 10,293,540	△ 27,248,419	△ 5,458,522
貯蔵品の増減額 (増加は△)	△ 143,968	△ 36,192	594,316	0	0
未払金の増減額 (減少は△)	402,870	4,239,865	△ 9,324,045	△ 7,063,140	△ 204,142
引当金の増加額	-	-	-	-	-
寄附金の増加額	-	-	-	-	-
その他流動資産の増加額	0	0	0	0	0
その他流動負債の減少額	0	0	0	0	0
小 計	18,403,947	5,619,992	△ 26,480,143	△ 41,665,984	△ 13,544,180
利息及び配当金の受取額	0	0	0	0	0
利息の支払額	△ 5,695,177	△ 5,364,521	△ 5,028,620	△ 4,687,383	△ 4,340,717
業務活動によるキャッシュ・フロー	12,708,770	255,471	△ 31,508,763	△ 46,353,367	△ 17,884,897
II 投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の購入による支出	△ 1,246,000	△ 5,154,000	△ 4,479,920	△ 1,390,000	△ 908,000
国庫補助金等による収入	0	0	3,528,000	0	0
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	9,087,000	9,220,000	9,354,000	9,490,000	9,629,000
有形固定資産の売却による収入	0	0	0	0	0
無形固定資産の取得による支出	0	0	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,841,000	4,066,000	8,402,080	8,100,000	8,721,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー					
企業債による収入	0	0	0	0	0
建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 22,719,423	△ 23,050,079	△ 23,385,980	△ 23,727,217	24,073,883
出資金による収入	0				
一般会計からの繰入金	-	-	-	-	-
リース債務の返済による支出	0				
寄付による収入	30,000	0	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,689,423	△ 23,050,079	△ 23,385,980	△ 23,727,217	△ 24,073,883
IV 資金増加額 (又は減少額)	△ 2,139,653	△ 18,728,608	△ 46,492,663	△ 61,980,584	△ 33,237,780
V 資金期首残高	813,409,388	811,269,735	792,541,127	746,048,464	684,067,880
VI 資金期末残高	811,269,735	792,541,127	746,048,464	684,067,880	650,830,100

4. 年度別補助事業等明細

企業債、補助金充当事業等

① 市民病院

税込(円)

年度	事業名	事業費	企業債	補助金	備考	
18	人工透析装置	39,795,000		2,625,000	国保	調整交付金
18	リハビリ・透析棟増築工事	177,925,650	100,000,000			
19	医療療養型病床設置工事	98,578,200				
19	高圧蒸気滅菌装置 酸化エチレンガス滅菌装置	26,670,000				
21	新MRI室等改修工事	36,718,500				
21	超電導磁気共鳴画像診断装置(MRI)	92,925,000	90,000,000			
21	プラズマ滅菌装置	16,107,000		2,625,000	国保	調整交付金
21	生化学自動分析装置	7,287,000		7,287,000	市	地域活性化・経済危機 対策臨時交付金
21	全自動総合血液学分析装置	4,042,500		4,042,500	市	地域活性化・経済危機 対策臨時交付金
21	血液ガス分析装置	3,307,500		3,307,500	市	地域活性化・経済危機 対策臨時交付金
21	省エネルギー改修工事	60,627,000	30,000,000	27,282,000	市	地域住宅交付金
22	省エネルギー改修工事	283,773,000	130,000,000	127,697,850	市	地域住宅交付金
22	上部消化管経鼻スコープ 十二指腸処置用スコープ	4,777,500		1,592,000	国保	調整交付金
24	衛星通信機器 2式	648,900		648,000	市	医療機関等災害時通信 確保事業費補助金
25	全身コンピューター 断層撮影装置	66,990,000	50,000,000	10,500,000	市	岐阜県救急医療施設 整備整備費補助金
27	電子カルテシステム(更新)	120,939,359	100,000,000			
28	電子内視鏡システム	13,284,000				
29	公用自動車	1,907,261				
29	長時間心電図解析装置	10,793,854				
29	医事会計システム・訪問系介 護請求システム(更新)	8,705,880				
30	X線透視診断装置	25,790,400				
30	適温配膳車	1,296,000				
30	非接触式眼圧計	2,030,400				
30	電気手術器	4,428,000				
30	抗悪性腫瘍剤無菌調整用陰 圧アイソレーター	4,428,000				
元	内視鏡スコープ	8,802,000				
元	超音波画像診断装置	4,268,000				
元	人工呼吸器	4,290,000				
元	医用テレメーター	4,730,000				
元	全自動尿統合型分析システム	6,380,000				
元	タブレット型超音波画像診断装置	3,278,000				
2	バリアフリースケール	209,000				
2	コンパクト視力計	220,000				
2	ハイローストレッチャー	308,000				

2	H E P A フィルター付き クリーンパーテーション	726,000		451,000	県	新型コロナウイルス感染症 院内感染防止対策設備整備費 補助金
2	麻薬管理システム（更新）	775,500				
2	電動診察台	302,500				
2	H E P A フィルター付き クリーンパーテーション	726,000		451,000	県	新型コロナウイルス感染症 院内感染防止対策設備整備費 補助金
2	薬用冷蔵ショーケース	447,920				
2	業務用冷凍冷蔵庫	473,000				
2	消毒保管庫（電気式）	795,300				
2	インターネット用ノートパソコン	937,200				
2	タブレット端末	2,992,000				
2	感染症遺伝子検査装置	1,606,000		1,606,000	県	新型コロナウイルス感染症 院内感染防止対策事業費 補助金
2	全自動血液凝固測定装置	5,060,000		5,060,000	県	新型コロナウイルス感染症 院内感染防止対策事業費 補助金
2	H E P A フィルター付き クリーンパーテーション	673,508		673,508	県	新型コロナウイルス感染症 院内感染防止対策事業費 補助金
2	医療用陰圧式エアートント	7,590,000		7,590,000	県	新型コロナウイルス感染症 院内感染防止対策事業費 補助金
2	薬剤在庫管理システム（更新）	550,000				
2	感染症遺伝子検査装置	1,606,000		1,606,000	県	新型コロナウイルス感染症 院内感染防止対策事業費 補助金
2	オンライン資格確認等システム	2,178,000				
2	診察用組立式ドーム型ハウス	2,493,700		2,493,700	県	新型コロナウイルス感染症 院内感染防止対策事業費 補助金
3	業務用電子レンジ	231,000				
3	インターネット用ノートパソコン	550,000				
3	干渉電流型低周波治療器	321,200				
3	高度救急処置訓練人形	1,777,600				
3	看護師当直室エアコン	192,000				
3	栄養管理システム	1,870,000				
3	赤血球沈降速度測定装置	825,000				
3	臨床検査システムサーバー	2,388,705				
3	医用画像情報システム	14,795,000				
3	P C A 機能付き小型シリンジポンプ	275,000				
3	フロア型冷却遠心機	946,000				
3	看護師寮エアコン	146,300				
3	病院情報システム	150,436,000	129,000,000			
3	医師住宅C棟 エアコン	349,800				

年度	事業名	事業費	企業債	補助金	備考	
18	車いす入浴装置	6,709,500				
21	福祉車両	3,808,000		3,808,000	市	地域活性化・経済危機 対策臨時交付金
23	抑臥位機械浴	5,082,000				
23	配膳車	2,184,000				
29	電気式スチームコンベクション オープン	1,047,600				
30	公用自動車	1,918,080				
30	監視カメラ装置	2,808,000				
30	電磁調理器	840,240				
元	間仕切りパネル	4,180,000		3,528,000	県	
2	自動体外式除細動器	198,000				
2	ブラストチラー	1,331,000				
3	冷凍・冷蔵機器一式	998,800				

IV 経営分析

1 飛騨市民病院 経営分析

項 目			29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	総収益対総費用比率		96.3%	96.4%	99.7%	95.3%	102.1%
2	経常収支比率		96.3%	96.4%	99.5%	95.3%	102.1%
3	医業収支比率		84.9%	85.5%	83.9%	75.6%	84.4%
4	実質収益対経常費用比率		84.7%	85.1%	83.1%	78.2%	84.5%
5	繰入金の医業収益に対する割合		14.0%	13.6%	20.2%	23.7%	21.9%
6	繰入金の経常収益に対する割合		12.0%	11.7%	16.5%	18.0%	17.2%
7	1病床当たり他会計繰入金	千円	1,776.0	1,808.2	2,594.1	2,845.6	2,966.4
8	給与費対医業収益		73.5%	73.6%	74.7%	71.7%	63.2%
9	材料費対医業収益		12.2%	12.1%	11.8%	11.9%	12.7%
10	薬品費対医業収益		5.5%	5.2%	5.8%	4.9%	4.5%
11	経費対医業収益		19.7%	19.7%	21.1%	37.0%	33.6%
12	委託費対医業収益		10.3%	10.8%	11.7%	13.0%	12.4%
13	減価償却費対医業収益		12.0%	11.1%	11.3%	11.5%	8.7%
14	支払利息対医業収益		0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%
15	企業債元利償還金対医業収益比率		5.6%	5.3%	4.4%	4.4%	0.8%
16	医業収益増加率		3.3%	5.1%	-3.7%	-8.9%	12.8%
17	医業費用増加率		1.7%	4.3%	-1.8%	1.0%	1.0%
18	病床100床当たり医業収益	百万円	1,266.2	1,330.6	1,281.4	1,311.0	1,478.9
19	入院収益対外来収益		1.65	1.70	1.44	1.31	1.43
20	病床利用率		70.8%	76.4%	67.6%	65.4%	73.6%
21	一日平均入院患者数	人	64.4	69.5	61.6	57.9	59.6
22	一日平均外来患者数	人	212.1	223.5	232.4	210.0	222.2
23	外来入院患者比率		329.3%	321.6%	377.3%	362.7%	372.8%
24	患者一人一日当たり入院収入	円	28,107	27,685	27,864	25,491	28,536
25	患者一人一日当たり外来収入	円	7,719	7,564	7,790	8,074	8,065
	(以下は事業合算)						
26	固定資産構成比率		50.5%	49.6%	47.8%	45.8%	43.5%
27	流動資産構成比率		49.5%	50.4%	52.2%	54.2%	56.5%
28	固定負債構成比率(～H25)		-	-	-	-	-
	固定負債構成比率(H26～)		15.3%	13.9%	12.4%	11.8%	12.9%
29	流動負債構成比率		6.6%	6.7%	6.2%	6.5%	11.4%
30	自己資本構成比率(～H25)		-	-	-	-	-
	自己資本構成比率(H26～)		78.1%	79.3%	81.4%	81.6%	75.7%
31	固定比率(～H25)		-	-	-	-	-
	固定比率(H26～)		64.6%	62.4%	58.7%	56.1%	57.4%
32	流動比率		748.5%	750.4%	844.1%	828.2%	497.1%
33	当座(酸性試験)比率		742.3%	743.0%	836.6%	820.6%	493.1%
34	現金預金比率		554.6%	553.2%	715.0%	684.1%	420.2%
35	負債比率		36.2%	32.5%	28.0%	26.7%	38.0%
36	不良債務	百万円	-1,514.1	-1,467.8	-1,482.7	-1,481.3	-1,510.5

	経営指標	計算式
1	総収益対総費用比率	総収益/総費用×100
2	経常収支比率	医業収益+医業外収益/医業費用+医業外費用×100
3	医業収支比率	(医業収益÷医業費用)×100
4	実質収益対経常費用比率	[(医業収益+医業外収益-他会計繰入金)÷ 医業費用+医業外費用]×100
5	繰入金の医業収益に対する割合	(繰入金/医業収益)×100
6	繰入金の経常収益に対する割合	(繰入金/医業収益+医業外収益)×100
7	1病床当たり他会計繰入金	(繰入金/許可病床数)
8	給与費対医業収益	給与費/医業収益×100
9	材料費対医業収益	材料費/医業収益×100
10	薬品費対医業収益	薬品費/医業収益×100
11	経費対医業収益	経費費/医業収益×100
12	委託費対医業収益	委託費/医業収益×100
13	減価償却費対医業収益	減価償却費/医業収益×100
14	支払利息対医業収益	支払利息/医業収益×100
15	企業債元利償還金対医業収益比率	企業債元金・利子/医業収益×100
16	医業収益増加率	(n 年度医業収益-n-1年度医業収益)/n-1年度医業収益
17	医業費用増加率	(n 年度医業費用-n-1年度医業費用)/n-1年度医業費用
18	病床100床当たり医業収益	(医業収益÷病床数)×100
19	入院収益対外来収益	入院収益÷外来収益
20	病床利用率	在院患者延べ数×100/病床数×365
21	一日平均入院患者数	在院患者延べ数/365
22	一日平均外来患者数	在院患者延べ数/診療日数
23	外来入院患者比率	1日平均外来患者数/1日平均在院患者数×100
24	患者一人一日当たり入院収入	入院収益/在院患者延べ数
25	患者一人一日当たり外来収入	外来収益/外来患者延べ数
(以下は事業合算)		
26	固定資産構成比率	固定資産+繰延資産/総資産×100
27	流動資産構成比率	流動資産/総資産×100
28	固定負債構成比率(～H25)	(固定負債+借入資本金)/負債資本合計×100
	固定負債構成比率(H26～)	固定負債/負債資本合計×100
29	流動負債構成比率	流動負債/負債資本合計×100
30	自己資本構成比率(～H25)	(自己資本金+剰余金)/負債資本合計×100
	自己資本構成比率(H26～)	(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)/負債資本合計×100
31	固定比率(～H25)	固定資産÷(自己資本金+剰余金)×100
	固定比率(H26～)	固定資産÷(資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益)×100
32	流動比率	(流動資産÷流動負債)×100
33	当座(酸性試験)比率	現金預金+未収金/流動負債×100
34	現金預金比率	(現金預金÷流動負債)×100
35	負債比率	(固定負債+流動負債+借入資本金÷自己資本)×100
36	不良債務	流動負債-流動資産

2. 医業収益・医業費用増加率

① 飛騨市民病院

区 分		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
総 収 益		3.5%	4.4%	3.6%	-4.1%	8.9%
医業収益		3.3%	5.1%	-3.7%	-8.9%	12.8%
	入院収益	4.0%	6.3%	-10.6%	-14.2%	15.3%
	外来収益	3.2%	3.2%	5.8%	-5.6%	5.3%
	その他医業収益	-1.6%	4.4%	6.2%	9.1%	28.9%
	うち救急輪番負担金	-1.3%	1.8%	-1.8%	0.0%	1.2%
医業外収益		4.6%	0.3%	34.0%	27.3%	-3.3%
	受取利息・配当金	-45.1%	-25.0%	-22.8%	-17.3%	-19.6%
	他会計補助金	29.4%	1.8%	43.5%	6.7%	4.2%
	患者外給食収益	皆減	—	—	—	—
	長期前受金戻入	-41.5%	-4.1%	-15.0%	-6.1%	-24.3%
	その他医業外収益	-0.9%	-12.1%	1.9%	9.3%	-3.1%
特別利益		—	—	皆増	皆増	皆増
総 費 用		-0.3%	4.2%	0.2%	0.3%	1.7%
医業費用		1.7%	4.3%	-1.8%	1.0%	1.0%
	給与費	4.2%	5.2%	-2.3%	-12.7%	-0.5%
	材料費	-0.7%	3.5%	-6.0%	-8.0%	20.5%
	薬品費	6.1%	0.5%	7.3%	-23.3%	3.6%
	診療材料費	-5.6%	5.3%	-17.8%	8.3%	33.3%
	給食材料費	-9.9%	-2.5%	-6.0%	3.2%	32.6%
	医療消耗備品費	11.7%	123.3%	75.6%	-29.7%	-9.5%
	経 費	-1.6%	4.9%	3.1%	60.0%	2.3%
	光熱水費	4.8%	10.4%	-10.4%	2.3%	-0.1%
	燃料費	4.8%	3.0%	-1.2%	11.3%	14.9%
	賃借料	3.1%	-7.0%	6.7%	4.4%	0.0%
	委託料	-3.3%	10.3%	4.2%	0.9%	7.8%
	その他	-6.4%	-5.0%	7.7%	377.2%	-3.2%
	減価償却費	-4.0%	-3.0%	-1.9%	-7.1%	-14.4%
	資産減耗費	-54.3%	263.0%	-74.5%	-73.7%	830.2%
	研究研修費	-15.3%	14.8%	-1.5%	-54.6%	8.9%
医業外費用		-15.2%	2.0%	7.3%	31.3%	16.8%
	支払利息・企業債諸費	-12.1%	-11.9%	-13.3%	-13.7%	-13.3%
	患者外給食材料費	皆減	—	—	—	—
	雑支出	-15.5%	3.2%	8.8%	34.0%	17.9%
特別損失		皆減	—	皆増	皆増	皆増

② 介護医療院たかはら

区 分	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
総 収 益	-5.3%	-7.5%	-37.7%	-54.9%	6.5%
介護(医業)収益	-3.6%	-7.7%	-58.5%	—	—
入院収益	-3.5%	-7.7%	-58.4%	—	—
その他医業収益	-7.8%	-11.2%	-64.8%	—	—
介護(医業)外収益	-20.3%	-4.8%	115.4%	49.6%	6.5%
受取利息・配当金	—	—	—	—	—
他会計補助金	-43.2%	-5.8%	-6.2%	-6.8%	-7.4%
長期前受金戻入	10.1 社会	0.8%	0.8%	3.0%	0.8%
その他医業外収益	6.9%	-16.4%	442.3%	76.3%	8.4%
特別利益	—	—	皆増	—	—
総 費 用	-1.2%	-1.6%	-36.3%	-49.4%	2.5%
介護(医業)費用	-0.2%	-1.9%	-36.8%	-49.5%	2.9%
給与費	-0.8%	-5.8%	-37.1%	-41.2%	4.6%
材料費	1.8%	-11.4%	-41.9%	—	—
薬品費	27.1%	-18.3%	-59.6%	—	—
診療材料費	-4.5%	-12.1%	-41.7%	—	—
給食材料費	13.9%	-0.8%	-41.0%	—	—
医療消耗備品費	-80.2%	263.6%	235.0%	—	—
経 費	2.1%	10.8%	-45.6%	-96.9%	-23.9%
光熱水費	7.5%	9.3%	-51.0%	—	—
燃料費	22.9%	9.1%	-52.6%	—	—
賃借料	-11.7%	-11.2%	-50.3%	—	—
委託料	-2.3%	7.1%	-44.8%	—	—
その他	15.1%	41.4%	-39.5%	-81.5%	-23.9%
減価償却費	-1.3%	-2.6%	-8.3%	-1.4%	-0.8%
資産減耗費	—	—	—	—	—
研究研修費	-17.9%	0.9%	5.4%	—	—
介護(医業)外費用	-1.1%	5.1%	-26.9%	-45.8%	-6.8%
支払利息・企業債諸費	-5.4%	-5.8%	-6.2%	-6.8%	-7.4%
雑支出	3.2%	15.3%	-42.5%	-93.8%	3.6%
特別損失	皆減	—	皆増	—	—

神岡・上宝の人口と患者数
各年 10月1日

	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
神岡町 人口	8,491	8,263	8,109	7,924	7,793	7,620
前年との増減	-180	-228	-154	-185	-131	-173
前年度増減率	-2.12%	-2.76%	-1.90%	-2.33%	-1.68%	-2.27%
H18年からの増減	-2,217	-2,445	-2,599	-2,784	-2,915	-3,088
延外来患者数	43,125	42,991	45,133	46,157	42,297	43,994
前年との増減	-329	-134	2,142	1,024	-3,860	1,697
前年度増減率	-0.76%	-0.31%	4.75%	2.22%	-9.13%	3.86%
H18年との増減	-19,282	-19,416	-17,274	-16,250	-20,110	-18,413
患者数/人口	5.08	5.20	5.57	5.82	5.43	5.77
	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
旧上宝村 人口	3,086	3,033	3,019	2,938	2,837	2,768
前年との増減	-57	-53	-14	-81	-101	-69
前年度増減率	-1.85%	-1.75%	-0.46%	-2.76%	-3.56%	-2.49%
H18年からの増減	-644	-697	-711	-792	-893	-962
延外来患者数	6,627	6,574	6,943	7,308	6,497	7,243
前年との増減	-233	-53	369	365	-811	746
前年度増減率	-3.52%	-0.81%	5.31%	4.99%	-12.48%	10.30%
H18年との増減	-4,362	-4,415	-4,046	-3,681	-4,492	-3,746
患者数/人口	2.15	2.17	2.30	2.49	2.29	2.62

2021 年度 病院年報編集委員会

委員長	病院長	黒木 嘉人
委員	看護師	宮本 洋子
委員	臨床工学技士	富本 善教
委員	管理調整係	古田 幸嗣
委員	管理調整係	上葛 健介

飛騨市民病院年報 第 11 号 (2021 年度)

2022 年 10 月発行 ISSN 2435-8142

発行 国民健康保険飛騨市民病院
〒506-1111 岐阜県飛騨市神岡町東町 725
TEL 0578-82-1150 FAX 0578-82-1631
<https://hida-hp.jp>
